

令和6年4月1日
中部地方整備局

令和6年度中部地方整備局関係予算の概要について

配分総額： 7,744億円

令和6年度中部地方整備局関係配分予算は、中部圏経済や国民の命と暮らしを守り抜くとともに、「新しい資本主義」の加速、「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現を図るため、令和6年度予算では、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」の3点を柱に、令和5年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を目指します。

1. 添付資料

令和6年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局WEBサイトにも掲載されております。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/R6.htm>

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、山梨県政記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

3. 問合せ先 国土交通省

中部地方整備局

＜ 総 括 ＞	企 画 課 長	北川 洋平	電話	052-953-8127
	会 計 課 長	秋山 茂久	電話	052-953-8136
＜ 公園関係 ＞	都 市 整 備 課 長	後藤 直紀	電話	052-953-8573
＜ 住宅関係 ＞	住 宅 整 備 課 長	天艸 開	電話	052-953-8574
＜ 河川関係 ＞	河 川 計 画 課 長	奥山 聡俊志	電話	052-953-8148
＜ 道路関係 ＞	道 路 計 画 課 長	柴田 康晴	電話	052-953-8168
＜ 港湾関係 ＞	港 湾 計 画 課 長	鬼頭 孝明	電話	052-209-6321
＜ 海岸関係 ＞	河 川 計 画 課 長	奥山 聡俊志	電話	052-953-8148
	港 湾 計 画 課 長	鬼頭 孝明	電話	052-209-6321
＜ 官庁営繕関係 ＞	計 画 課 長	田中 裕涼	電話	052-953-8185

令和6年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和6年4月

国土交通省中部地方整備局

令和6年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和6年度 中部地方整備局関係予算の基本方針	P. 1
2. 令和6年度 中部地方整備局関係予算の配分額	P. 7
3. 実施事例	
3-1. 実施事例（位置図）	P. 8
3-2. 整備事例（個 票）	P. 11
3-3. 施策事例（個 票）	P. 78
4. 県別の整備箇所事例一覧	P. 79
(参考資料)	
水道整備・管理行政の移管について	P. 84
令和6年度の道路調査の見通しについて	P. 85

1. 令和6年度 中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和6年度中部地方整備局関係配分予算は、中部圏経済や国民の命と暮らしを守り抜くとともに、「新しい資本主義」の加速、「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現を図るため、令和6年度予算では、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」の3点を柱に、令和5年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を目指します。

その際、「5か年加速化対策」後の国土強靱化の着実な推進に向け、施策の実施状況の調査など、「実施中期計画」の策定に向けた検討も進めます。また、令和6年度に厚生労働省より移管される水道行政についても上下水道一体で取り組みます。

①国民の安全・安心の確保

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりのため、気候変動による水害や土砂災害の激甚化に対抗する「流域治水」の加速化・強化、南海トラフ巨大地震、災害時における物流・人流の確保、盛土の安全確保対策等に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。

■^{かのがわ ぬまづ おおひら}狩野川の沼津市大平地区は、堤防の高さ及び断面が不足しており、地域からの河川改修の要望が強い地区であることから、令和6年度より「狩野川大平地区堤防整備事業」に着手します。

■^{かけがわ きくがわ しもおがさがわ}掛川市を流れる菊川水系下小笠川は、橋梁上流部の堰上げによる浸水被害が発生し、地域からの河川改修の要望が強い地区であることから、令和6年度より「下小笠川水位低下対策事業」に着手します。

■^{くもすがわ つ すがせ そのむら まつさか うれしのなかがわ}雲出川水系の津市須ヶ瀬・其村地区、松阪市嬉野中川地区では、「流域治水」の本格的な実践に向け、特定都市河川に指定した中村川・波瀬川流域において、今年度から「流域治水整備事業」により、河川の整備を計画的・集中的に実施します。

■^{しょうないがわ なごや びわじま きよす にしびわじま}庄内川の名古屋市枇杷島地区・清須市西枇杷島地区では、狭窄部であるとともに桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架していることから、国・県・市が協働し、庄内川枇杷島橋架替事業（特定構造物改築）を推進します。

■^{てんりゅうがわ しもいなぐんたかもりまちやまぶき}天竜川の下伊那郡高森町山吹地区では、国・町が協働し、天竜川山吹地区MI ZBEステーション整備事業を推進します。

■^{きそがわ まきたがわ おおがき よこそね すいもんがわ}木曾川水系牧田川の大垣市横曽根地区では、国・県が協働し、水門川流域の内水安全度の向上を図るため、牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業（特定構造物改築）を推進します。



牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業(イメージ図)

■ 矢作川の豊田市水源地区では、川幅が狭く狭窄部となっている鶴の首狭窄部の抜本的対策として、矢作川鶴の首地区水位低下対策事業を推進します。



新丸山ダム建設事業(イメージ図)

■ 宮川水系勢田川の伊勢市田尻・河崎地区では、国・県・市が連携し、勢田川流域の治水安全度向上を図るため、検尻川排水機場のポンプ増強を推進します。

■ ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、引き続き、本体工事、付替道路工事等を推進します。



由比地区地すべり対策事業

■ 設楽ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、引き続き、本体工事、付替道路工事等を推進します。

■ 木曾川水系直轄砂防事業及び越美山系直轄砂防事業では、重要交通網や要配慮者利用施設等に対する土砂・洪水氾濫被害、土石流被害を軽減するため、砂防施設整備を推進します。

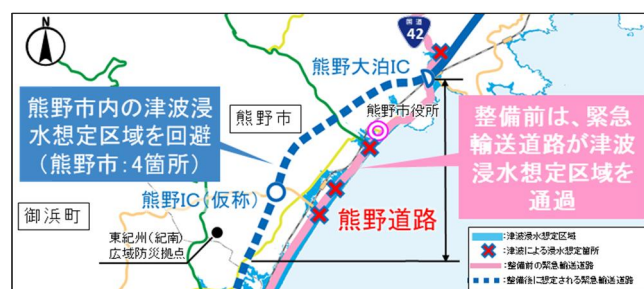
■ 静岡市由比地区では、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりの発生により、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。

■ 天竜川中流地区では、近年の豪雨の増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により、地すべりの発生リスクが高まっているため、地すべり対策を推進します。

■ 小笠ダムでは、中長期的なダム貯水池機能維持のための土砂バイパストンネルにおける分派機能の向上対策、トンネル施設延命化のための貯砂堰における大粒径土砂捕捉対策を実施する堰堤改良事業に着手します。

■ 長島ダムでは、ダム貯水池機能(洪水調節容量)を回復するための堆砂対策(堆砂除去)を計画的・集中的に実施する堰堤改良事業(ダムリフレッシュ事業)に着手します。

■ 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムに基づき、高規格道路の未整備区間の整備等を推進し、地方部における生活圏人口の維持や大規模災害リスクへの対応に不可欠な災害に強い幹線道路ネットワークの構築を推進します。国道42号熊野道路、紀宝熊野道路、国道414号伊豆縦貫自動車道、国道474号三遠南信自動車道等の整備を推進します。



国道42号熊野道路
津波浸水想定区域を回避

■道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を推進します。



【対策事例】橋梁の再塗装

■道路防災点検の結果に基づき、のり面等の落石・崩壊等危険箇所の防災対策を推進します。

■大規模地震による落橋・倒壊の防止に加え、橋としての機能を速やかに回復させるための橋梁の耐震対策を推進します。



【対策事例】橋梁の耐震補強

■道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光の観点から、無電柱化を推進します。



【整備事例】国道23号 伊勢北電線共同溝

■交通事故が多発している箇所やETC2.0プローブデータ等のビッグデータから判明した潜在的な危険箇所等に基づき、国土交通省と警察庁が合同で指定した「事故危険箇所」における交通事故対策を推進します。



【整備事例】交差点内の交通事故対策

■通学路における交通安全を一層確保するため、教育委員会、警察等と連携した通学路合同点検に基づく歩道整備などの対策を推進します。

■安全で快適な自転車利用環境の創出に向け、自転車通行空間の整備を推進します。

■四日市港海岸では背後地域の貴重な生命・財産を守るとともに、地域経済への被害を防ぐため、既存海岸保全施設の耐震対策等を推進します。

■港湾施設（岸壁、防波堤）の経年劣化が進行しているため、定期点検等の結果を踏まえ、将来にわたり港湾施設の機能を発揮できるように老朽化対策を推進します。

■津波来襲時の背後地域の浸水被害低減及び来襲後の港内静穏度確保のため、御前崎港女岩地区等において、防波堤の「粘り強い化」を推進します。

■官庁施設について、所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。

■国営木曾三川公園について、所要の耐震性能を満たしていない既存施設の耐震化や老朽化への対応を図るため、水と緑の館等の再整備を推進します。

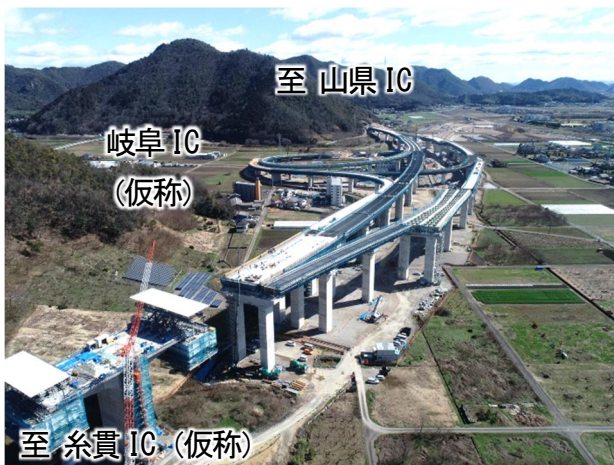
②持続的な経済成長の実現

現在を生きる我々や将来世代が安全・安心に活力ある日々を送るため、ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進、サプライチェーンの強靱化や物流の生産性向上、グリーンインフラの推進、技術開発、持続可能な建設業の実現、担い手確保・育成等を推進します。

■^{たじみ とよおか}多治見市^{しょうないがわ ときがわ}豊岡地区上流部水辺整備(庄内川水系土岐川)では、国と多治見市が連携し散策路や多目的広場等の整備を実施し、アウトドアや環境学習、マルシェ、散策、ジョギングなどの利活用により賑わいのある地域づくりを推進します。

■^{みやがわたまき}宮川玉城地区水辺整備事業(宮川水系宮川)では、国と玉城町が連携し、既存施設「たまき水辺の楽校」の更なるにぎわい向上のため、「宮川玉城地区水辺整備事業(親水護岸、散策路、多目的空間の整備等)」を推進します。

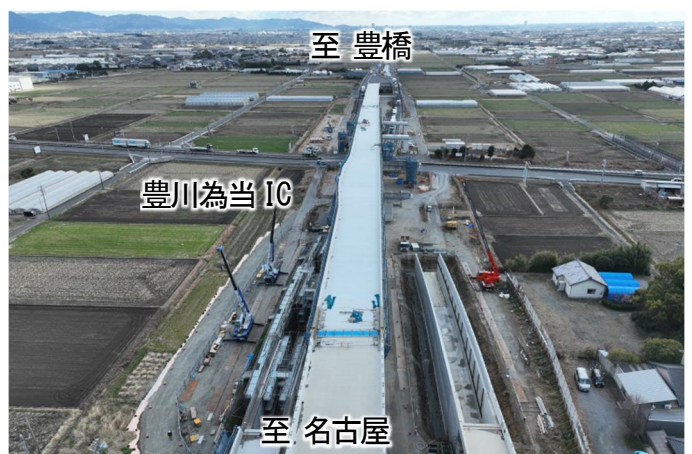
■シームレスな高規格道路ネットワークの構築に向けて、主要都市間の時間距離の短縮を図る道路ネットワークの強化、迅速かつ円滑な物流を実現する都市圏環状道路の整備、空港・港湾・高速鉄道駅等へのアクセス道路の整備を推進します。国道475号^{とうかいかんじょう}東海環状自動車道、国道158号^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道、国道23号^{がまごおり}蒲郡バイパス等の整備を推進し、国道158号^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道では^{たかやまひがし ひらゆ}高山東道路(平湯〜久手)を新たに事業化します。



東海環状自動車道



中部縦貫自動車道 (高山清見道路)



蒲郡バイパス

③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

豊かで活力ある地方を創るため、良好な環境や景観等を備えた、持続可能で賑わいのある地域、魅力ある地域づくりを促進します。

- ^{きんてつよっかいち}近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所^{きんてつよっかいちえき}に分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。
- ^{しみず しんおきつ}清水港新興津地区、^{なごや とびしま}名古屋港飛島^{みかわ じんの}ふ頭地区、^{よっかいち}三河港神野地区、^{かすみがうら}四日市港霞ヶ浦地区等の港湾機能の強化を推進します。



清水港新興津地区
国際物流ターミナル整備事業



名古屋港飛島再編整備事業
(飛島ふ頭地区)



三河港神野地区
国際物流ターミナル整備事業



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業

- ^{きそさんせんこうえん}国営木曾三川公園のさらなる利用促進を図るため、^{きそさんせんこうえん}木曾三川公園センターの再整備等を推進します。

<中部地方整備局関係予算の配分額>

配分事業費 7, 7 4 4億円

内 訳 (歳出 : 直轄 2, 9 8 0億円)
補助等 4, 7 6 4億円)

国庫債務負担行為 (ゼロ国債) 1 8 2億円

内 訳 (歳出 : 直轄 1 7 4億円)
補助等 7億円)

(注) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 令和6年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R6年度					R5年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	67,595	18,724	86,320	7,031	1,540	65,218	19,665	84,883
海 岸	3,217	0	3,217	260	0	1,893	0	1,893
道 路	118,562	66,279	184,841	8,554	0	119,389	67,518	186,907
港 湾	18,915	0	18,915	0	0	20,782	0	20,782
都 市 水 環 境 整 備	340	843	1,183	63	0	246	853	1,099
国 営 公 園 等	1,748	0	1,748	0	0	1,891	0	1,891
官 庁 営 繕	0	1,791	1,791	0	0	0	1,054	1,054
合 計	210,377	87,638	298,015	15,908	1,540	209,419	89,090	298,509

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R6年度					R5年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	19,494	0	19,494	0	0	18,345	0	18,345
海 岸	2,192	70	2,262	0	0	2,244	160	2,404
道 路	102,634	0	102,634	0	0	91,695	0	91,695
港 湾	5,979	589	6,568	0	730	4,819	1,015	5,834
空 港 整 備	1,618	0	1,618	0	0	956	0	956
住 宅 対 策	0	4,926	4,926	0	0	0	6,122	6,122
市 街 地 整 備	29,982	0	29,982	0	0	25,192	0	25,192
上 下 水 道	112	264	376	0	0	—	—	—
水 道	2,147	635	2,782	0	0	2,565	0	2,565
下 水 道	9,698	6,324	16,022	0	0	11,463	7,822	19,286
国 営 公 園 等	899	0	899	0	0	1,756	0	1,756
社 会 資 本 整 備 総 合 交 付 金	144,369	0	144,369	0	0	143,210	0	143,210
防 災 ・ 安 全 交 付 金	143,950	0	143,950	0	0	147,205	0	147,205
推 進 費 等	531	0	531	0	0	118	0	118
合 計	463,604	12,808	476,412	0	730	449,570	15,119	464,689

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R6年度					R5年度		
	補助	交付金	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		補助	交付金	計
				平準化等	事業加速円滑化			
岐阜県	23,464	38,587	62,051	0	0	21,804	40,604	62,408
静岡県	52,868	72,872	125,740	0	0	47,946	73,909	121,855
愛知県	91,430	127,685	219,114	0	730	82,932	126,841	209,773
三重県	20,331	49,175	69,506	0	0	21,591	49,061	70,652
合 計	188,093	288,319	476,412	0	730	174,274	290,415	464,689

(注1) 数字は、事業費ベースです。

(注2) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計です。

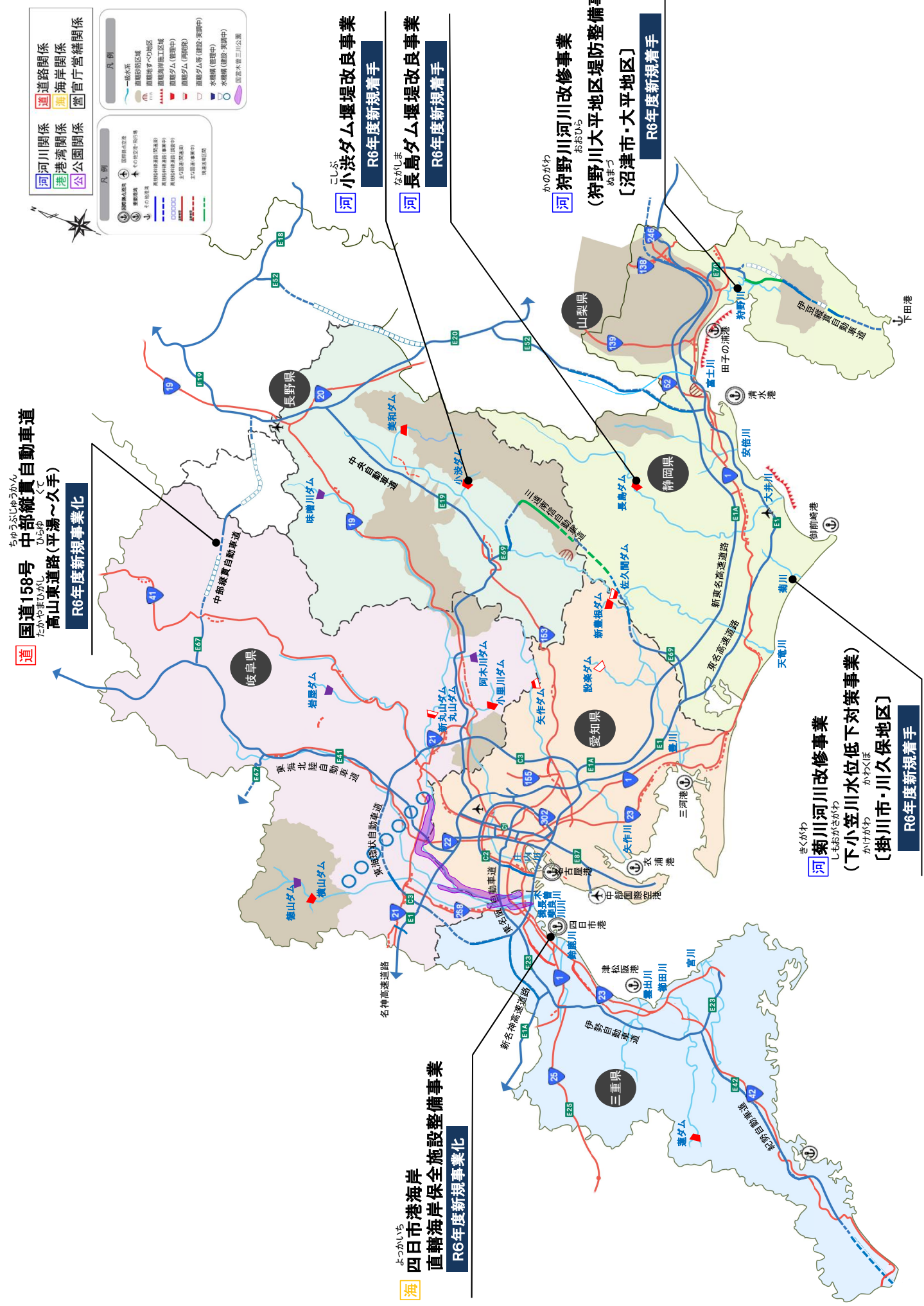
(注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4) 本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

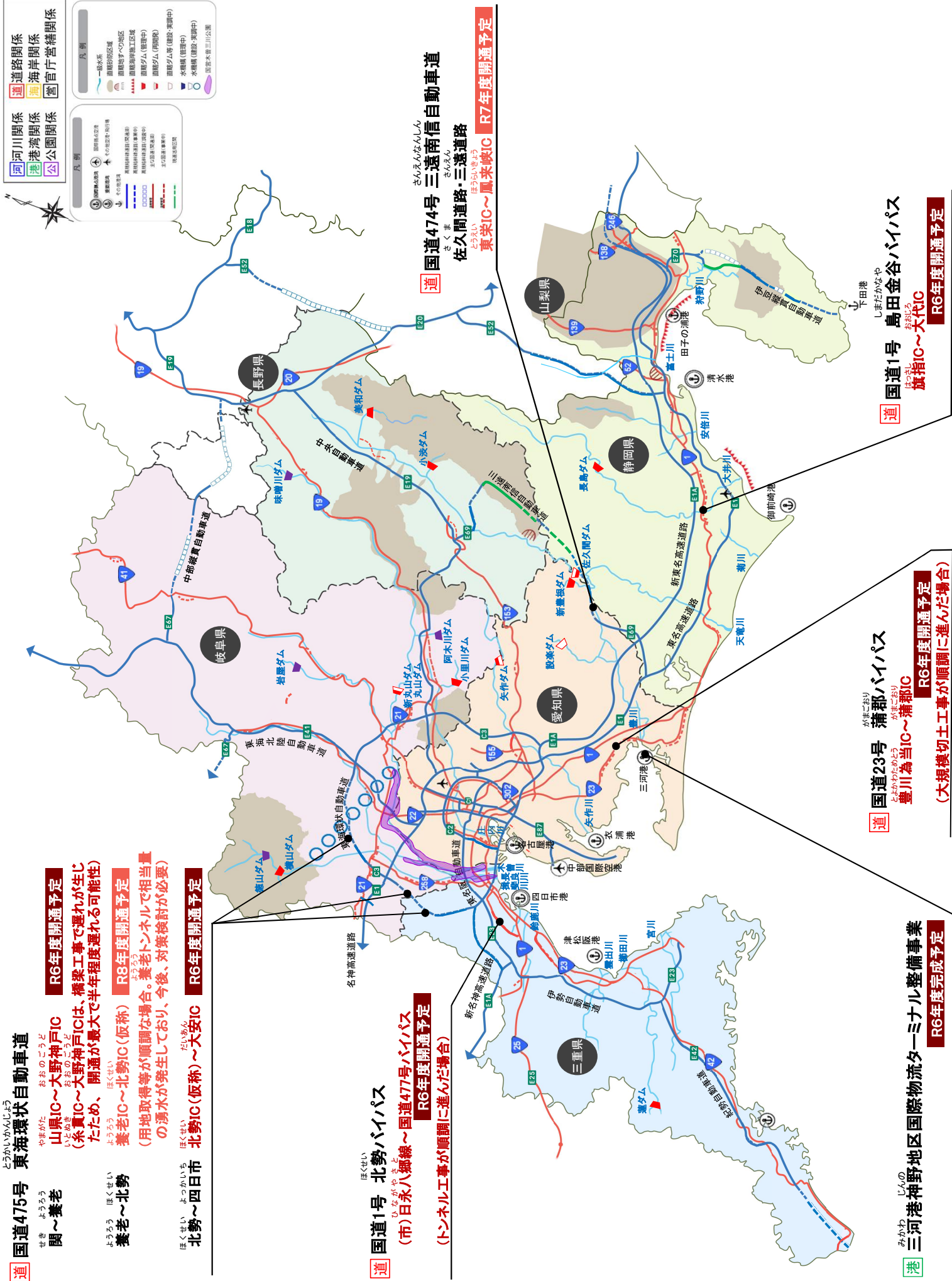
(注5) 当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

(注6) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)の「平準化等」は公共工事等の実施の時期の平準化等を図るためのものとし、「事業加速円滑化」は防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づく事業等について計画的かつ円滑な事業執行を図るためのものをさします

3-1. 実施事例(位置図) R6年度 新規事業箇所



3-1. 実施事例(位置図) R6年度完成事業、今後の完成予定事業



道 国道475号 東海環状自動車道
 せき 養老 関～養老
 やまがた おおのこうど
 山梨IC～大野神戸IC
 (赤貫IC～大野神戸ICは、橋梁工事で遅れが生じたため、開通が最大で半年程度遅れる可能性)
 ようろう 養老～北勢
 北勢IC～北勢(仮称)
 (用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要)
 ようらい 北勢～四日市
 北勢IC(仮称)～大安IC

道 国道1号 北勢バイパス
 ひながた 日永八郷線～国道477号バイパス
 (トンネル工事が順調に進んだ場合)

道 国道23号 蒲郡バイパス
 豊川為当IC～蒲郡IC
 (大規模切土工事が順調に進んだ場合)

道 国道474号 三遠南信自動車道
 さくま 佐久間道路・三遠道路
 東栄IC～鳳来峡IC R7年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 旗指IC～大代IC
 R6年度開通予定

港 三河港
 国際物流ターミナル整備事業
 R6年度完成予定

道 国道23号 蒲郡バイパス
 R6年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 R6年度開通予定

道 国道474号 三遠南信自動車道
 R7年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 R6年度開通予定

道 国道23号 蒲郡バイパス
 R6年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 R6年度開通予定

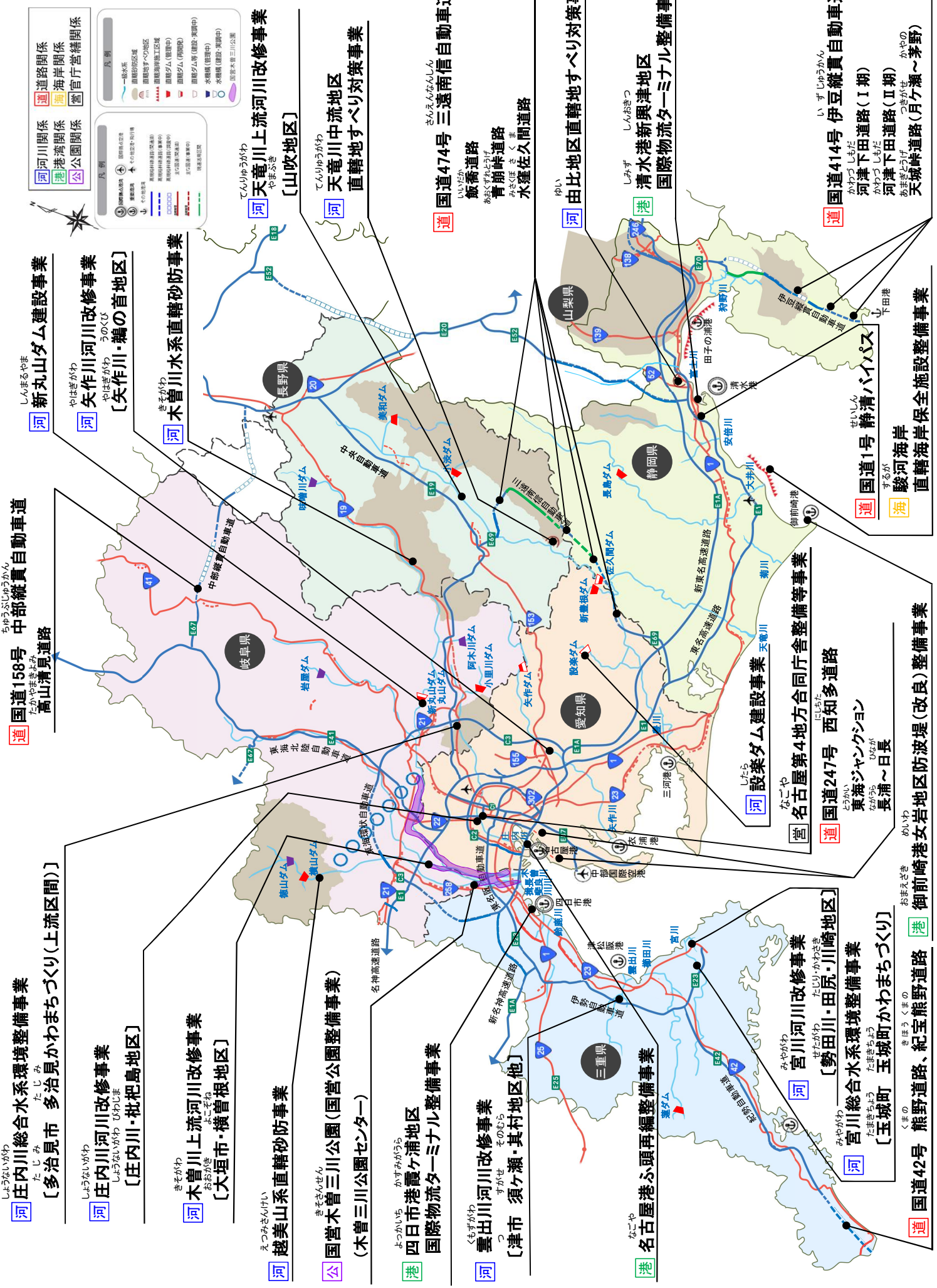
道 国道474号 三遠南信自動車道
 R7年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 R6年度開通予定

道 国道23号 蒲郡バイパス
 R6年度開通予定

道 国道1号 島田金谷バイパス
 R6年度開通予定

3-1. 実施事例(位置図) 主な河川事業



3-2. 整備事例（個 票）

- (岐阜県) 岐1【河川】^{きそがわ}木曾川上流河川改修事業
 岐2【河川】^{しょうないがわ}庄内川総合水系環境整備事業
 岐3【河川】^{しんまるやま}新丸山ダム建設事業
 岐4【河川】^{えつみさんけい}越美山系直轄砂防事業
 岐5【道路】^{とうかいかんじょう}国道475号 東海環状自動車道 ほか
 岐6【公園】^{きそさんせん}国営木曾三川公園
- (静岡県) 静1【河川】^{かのがわ}狩野川河川改修事業
 静2【河川】^{きくがわ}菊川河川改修事業
 静3【河川】^{ゆい}由比地区 直轄地すべり対策事業
 静4【河川】^{ながしま}長島ダム堰堤改良事業
 静5【海岸】^{するが}駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業
 静6【道路】^{いずじゅうかん}国道1号 国道414号 伊豆縦貫自動車道 ほか
 静7【港湾】^{しみず しんおきつ}清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業
 静8【港湾】^{おまえざき めいわ}御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業
- (愛知県) 愛1【河川】^{やはぎがわ}矢作川河川改修事業
 愛2【河川】^{しょうないがわ}庄内川河川改修事業
 愛3【河川】^{したら}設楽ダム建設事業
 愛4【道路】^{さんえんなんしん}国道474号 三遠南信自動車道 ほか
 愛5【港湾】^{なごや}名古屋港ふ頭再編整備事業
 愛6【港湾】^{みかわ じんの}三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業
 愛7【営繕】^{なごや}名古屋第4地方合同庁舎整備等事業
- (三重県) 三1【河川】^{くもずがわ}雲出川河川改修事業
 三2【河川】^{みやがわ}宮川河川改修事業
 三3【河川】^{みやがわ}宮川総合水系環境整備事業
 三4【道路】^{とうかいかんじょう}国道475号 東海環状自動車道 ほか
 三5【港湾】^{よっかいち かすみがうら}四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業
 三6【海岸】^{よっかいち}四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業
- (長野県) 長1【河川】^{てんりゅうがわ}天竜川上流 河川改修事業
 長2【河川】^{きそがわ}木曾川水系直轄砂防事業
 長3【河川】^{てんりゅうがわ}天竜川中流 直轄地すべり対策事業
 長4【河川】^{こしぶ}小渋ダム 堰堤改良事業
 長5【道路】^{さんえんなんしん}国道474号 三遠南信自動車道

きそがわ よこぞね
木曾川上流河川改修事業[横曽根地区]

まきたがわ すいもんがわ
牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業(特定構造物改築)

令和6年度当初:31.5億円
(岐阜県分:29.2億円、愛知県分2.3億円)

1. 事業の必要性及び概要

新・旧水門川排水機場が位置する牧田川左岸堤防は、計画堤防断面に対して現況堤防の断面及び高さが不足しています。また、そこに整備されている複数の排水機場は、老朽化が著しく、出水時に機能停止すれば、広範囲で浸水被害の発生が想定されます。そのため、排水機場の更新、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図ります。

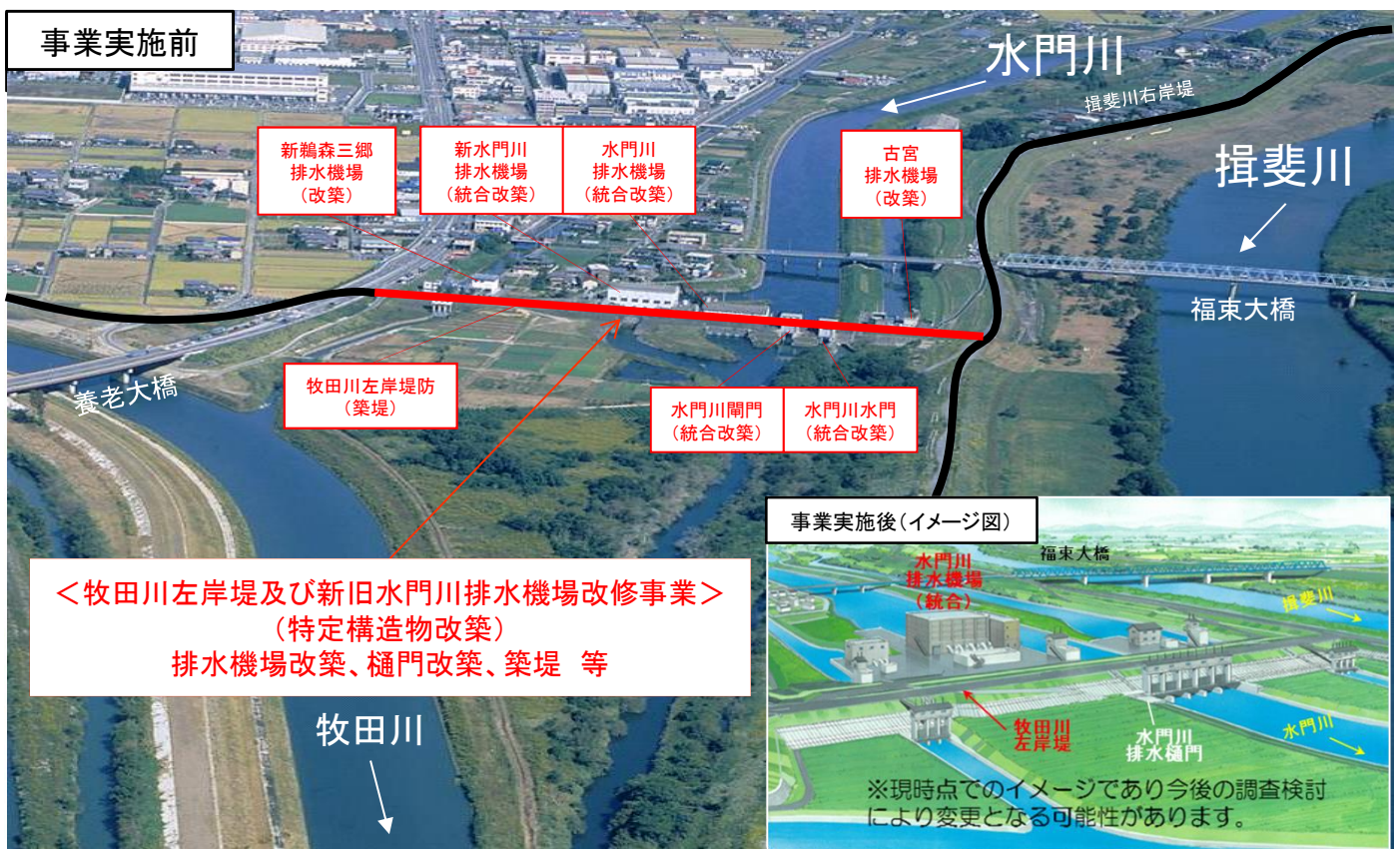
2. 事業箇所

おおがき
岐阜県大垣市



3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

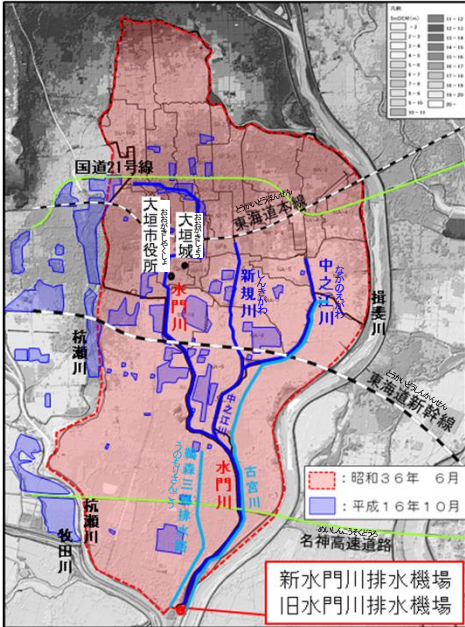
うのもりさんごう
引き続き、鵜森三郷排水樋門等の整備を実施。



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 昭和36年6月洪水をはじめ、近年(平成16年10月、平成25年9月)の洪水においても、水門川流域で大規模な浸水被害が発生しています。



出典:「岐阜県提供資料」

◆ 浸水実績図

(昭和36年6月洪水, 平成16年10月洪水)



出典:「一級河川木曾川水系 牧田川圏域河川整備計画(付属資料・治水計画編) 水門川治水計画、岐阜県」

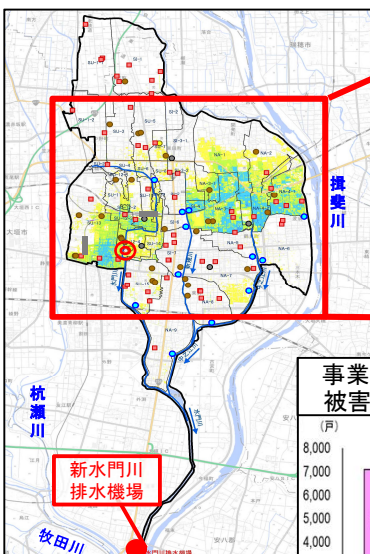
◆ 水門川(八島地区)の浸水状況(平成16年10月洪水)



◆ 牧田川、杭瀬川、揖斐川の出水状況(平成16年10月洪水)

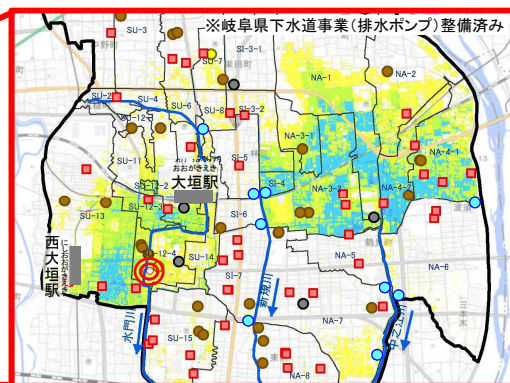
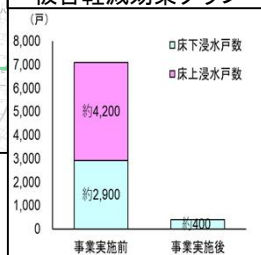
- 昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約7,100世帯の被害が想定されます。
- 本事業により、昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約400世帯に減少し、床上浸水被害が解消されます。

昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域及び重要施設位置



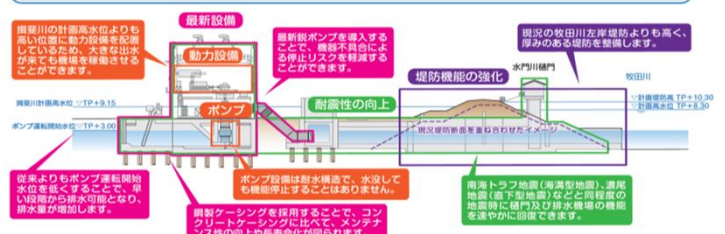
背景図出典: 国土地理院(淡色地図)

事業実施による浸水被害軽減効果グラフ



【対策】

- 1 最新鋭ポンプ導入による洪水初期の排水能力強化、機器停止リスクの軽減、長寿命化
- 2 動力設備のかさあげ、耐水構造の強化により、排水機場周辺が浸水しても機能停止しない
- 3 耐震性が向上(南海トラフ地震と同程度の地震発生時に樋門及び排水機場の機能を速やかに回復)
- 4 牧田川左岸堤防の整備(堤防の高さと厚みを十分に確保)



しょうないがわ とよおか
庄内川総合水系環境整備事業 [豊岡地区上流部地区]
 たじみ
多治見かわまちづくり (上流区間)

1. 事業の必要性及び概要

令和6年度当初:0.7億円

土岐川は、多治見市の中心を流れる河川として、古くから沿川地域の生活に密着し、親しまれ、地域住民の憩いの場となっています。

豊岡地区上流部地区では、国と多治見市が連携し、土岐川を活かした新たなまちの魅力づくりのため、「豊岡地区上流部地区水辺整備事業(多目的広場、散策路の整備等)」を推進します。

2. 事業箇所

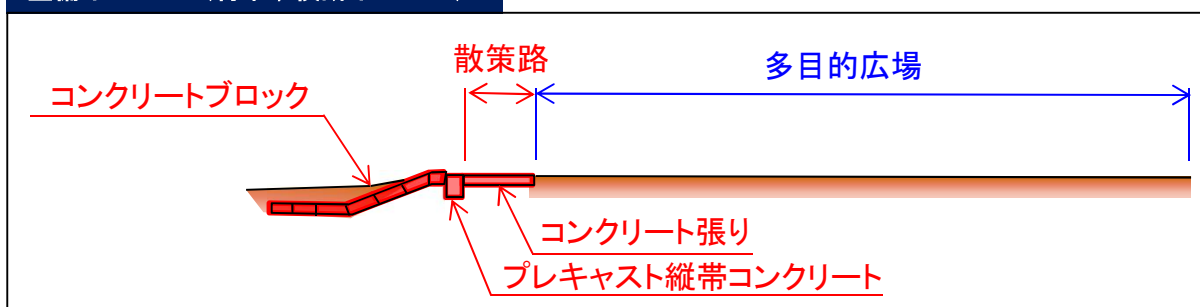
岐阜県 多治見市

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

管理用通路(散策路)整備を実施。



整備イメージ (将来; 横断イメージ)



4. 整備効果

重点: ②持続的な経済成長の実現

- 多治見市では、土岐川周辺の歴史資源が集積するエリアにおいて、自然と歴史・人を繋ぎ、まちと川の広域的な回遊性を高め、交流・体験や健康増進の機会の提供により、癒しと安らぎを感じる水辺空間の創出を目指しています。
- これまでに「土岐川水辺の楽校」や「多治見地区かわまちづくり」により、病院と河川を繋ぐブリッジや下流域の散策路整備などを実施しており、当該施設を活用した地元団体、高校等の連携によるイベント等が実施され、川と地域資源を活かしたまちづくりの機運が高まり、『多治見かわまちづくり計画(上流区間)』を新規登録しました。(令和4年8月)
- まちと水辺が一体となったにぎわいある空間づくりによる地域活性化を目指し、多目的広場、散策路整備等を推進します。

■位置図

■現状の課題

整備前

草木が繁茂しており、

河川敷を人が往来できない。

更なる
地域活性化

整備イメージ (将来)

散策路の整備

散策路の整備

高水敷整正、舗装、樹木伐開、張芝、手摺等

※整備内容は、一部変更する場合があります

■豊岡地区上流部地区水辺整備事業の効果

- 整備後は地域住民による日常的な散策・休憩、市民団体等と連携した環境学習やイベントなどへの利活用が期待されます。
- 周辺市街地や隣接する福祉施設と河川敷が散策路等により往来できるようになり、日常的な運動やリハビリテーション利用が促進され、健康・福祉へ寄与することが期待されます。
- 多治見駅や本町オリベストリート等のまちの拠点と沿川を回遊させることでまちの活性化に寄与することが期待されます。

まちの賑わい創出



こども釣り大会



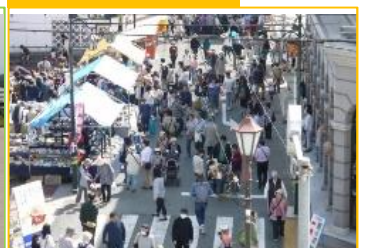
岐阜ジムニーイベント

健康・福祉への効果



福祉施設による河川敷利用

まちの回遊性向上



本町オリベストリート

しんまるやま
新丸山ダム建設事業

令和6年度当初:162.2億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸:岐阜県加茂郡八百津町
左岸:岐阜県可児郡御高町
(木曾川水系木曾川)



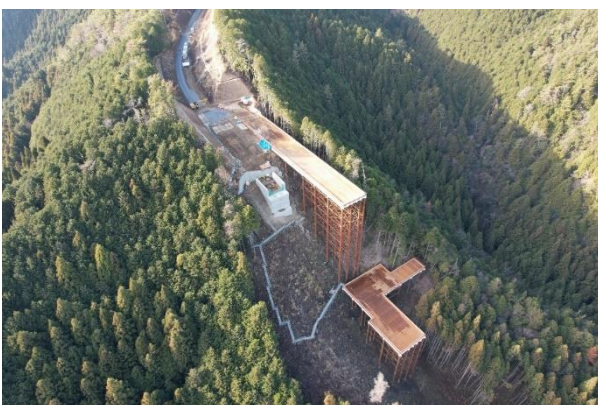
3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況
引き続き、本体工事、付替道路工事等を実施。



新丸山ダム完成予想図



新丸山ダム本体付近施工状況



付替道路418号(7号橋)



転流工呑口部施工状況

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水により、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。河川改修と合わせて新丸山ダムを整備することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。



昭和58年9月洪水での浸水範囲



写真1:軒下まで浸水した家屋



写真2:消防団員により救出される被災者

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮となります。

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分

付替国道418号(丸山バイパス)経由：約35分

また、社会インフラを活用した地域振興の取組として、付替道路事業として建設した「新旅足橋」で八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジージャンプを開始しています。



越美山系直轄砂防事業(三倉大谷第1砂防堰堤)

令和6年度当初:18.0億円

1. 事業の必要性及び概要

越美山系砂防事務所管内のある揖斐川・根尾川の上流は、急峻な地形、脆弱な地質に加え、国内最大級の内陸地震である濃尾地震の際に活動した根尾谷断層をはじめとする幾つもの活断層が存在しています。河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫被害や、土石流災害による人的、財産被害に対し、下流域を含め地域が安全となるよう砂防施設整備を進めています。



2. 事業箇所

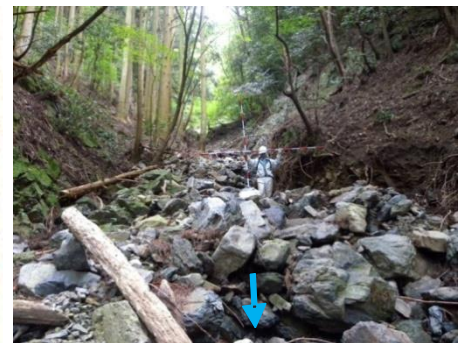
岐阜県揖斐郡揖斐川町

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、砂防堰堤工を実施。



【保全対象】
県道254号
三倉集落(19戸)、三倉公民館 など



上流域の荒廃状況



下流の保全対象



保全対象
三倉公民館
(避難所)



施工状況(令和6年3月現在)

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■ 想定される被害

・越美山系砂防事務所管内のある揖斐川・根尾川の上流には、急峻で脆弱な地質が広く分布し、大規模崩壊地や土石流危険渓流等の荒廃地が分布しています。

・そのため、毎年のように土砂災害が発生し、河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫被害や、土石流災害による人的、財産被害の発生が想定されます。

・また、過去には河道閉塞を伴う大規模崩壊が幾度も発生しています。

■ 災害発生時の影響（令和元年度事業評価説明資料より）

想定氾濫面積	土砂・洪水氾濫： 約 31.6km ² (11.1km ²) 土石流氾濫： 約 3.7km ² (1.5km ²)	主要公共施設等	国道21号、国道157号、国道303号、国道417号 JR東海道本線、樽見鉄道樽見線 等 小学校 5 (0) 中学校 1 (0)
想定氾濫区域内人口	土砂・洪水氾濫： 約 30,900人 (1,500人) 土石流氾濫： 約 1,800人 (800人)	要配慮者利用施設	土砂・洪水氾濫： 老人福祉施設 11 (2) 児童福祉施設 7 (0) 医療関係施設 5 (1) 障がい者福祉施設 3 (0) 幼稚園 1 (1)
想定被害家屋数	土砂・洪水氾濫： 約 11,500戸 (600戸) 土石流氾濫： 約 662戸 (284戸)		土石流氾濫： 医療関係施設 1 (0) 幼稚園 1 (0)

※()書きは中期計画完了時の想定被害状況

■ 事業効果

砂防施設の整備により、河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫被害や、土石流災害による人的、財産被害に対し、下流域を含め地域が安全となります。

施設効果事例

越美山系砂防事務所管内において、令和5年台風7号の影響により、連続雨量約550mmを記録。岐阜県揖斐川町の瀬戸谷第1砂防堰堤で土砂・流木を捕捉し、下流の集落等を保全しました。



出水前: 令和3年6月14日撮影



出水後: 令和5年8月16日撮影

国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
 国道158号 ちゅうぶじゅうかん 中部縦貫自動車道

令和6年度当初【東海環状自動車道】：343.9億円
 【岐阜県分】：166.2億円
 【中部縦貫自動車道】：45.8億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 中部縦貫自動車道は、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された高規格道路です。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 中部縦貫自動車道：岐阜県高山市清見町夏厩～高山市丹生川町坊方
：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯～丹生川町久手

3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道

【関～養老(延長44.2km)】 【養老～北勢(延長18.0km うち岐阜県9.0km)】

- 山県IC～大野神戸IC(延長18.5km)の改良工事等を推進。

《令和6年度開通予定

(糸貫IC～大野神戸ICは、橋梁工事で遅れが生じたため、開通が最大で半年程度遅れる可能性)》

- 養老IC～北勢IC(仮称)(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。

《令和8年度開通予定

(用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要)》

■ 中部縦貫自動車道

- 高山IC～丹生川IC(仮称)(延長9.5km)の橋梁工事、トンネル工事等を推進。

- 平湯IC～久手IC(仮称)(延長5.6km)の調査設計を推進。《令和6年度新規事業化》



至 山県 IC (仮称) R6.2 撮影



至 北勢 IC (仮称) 海津 PA/SIC (仮称) R6.2 撮影



至 丹生川 IC (仮称) R6.2 撮影

東海環状自動車道
岐阜IC付近

東海環状自動車道
海津PA付近

中部縦貫自動車道
高山清見道路 下切高架橋付近

4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

(東海環状自動車道)

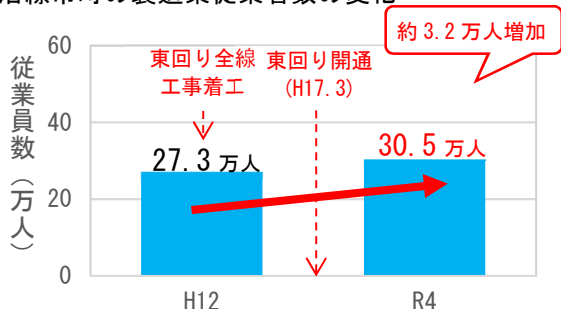
民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- 東海環状自動車道の整備進展に伴い、沿線地域の民間需要を喚起し、沿線地域の従業者数は約3.2万人増加、製造品出荷額等は約1.6倍増加。
- 沿線地域の工業団地数は約1.8倍増加。西回り沿線の^{こまの}駒野工業団地では進出企業が決定するなど、整備が進む。
- 東海環状自動車道の令和8年度全線開通により、沿線地域の産業振興を支援。

■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地

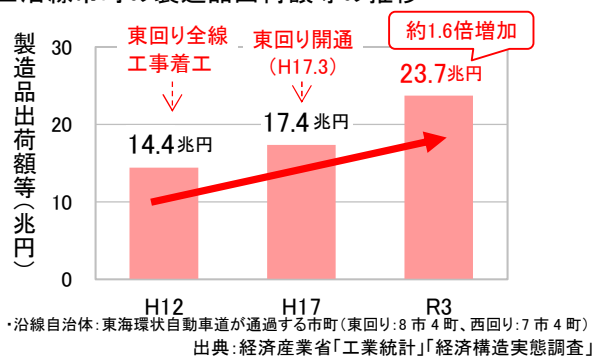


■沿線市町の製造業従業者数の変化



沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町 (東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)
 出典: 経済産業省「工業統計」「経済構造実態調査」

■沿線市町の製造品出荷額等の推移

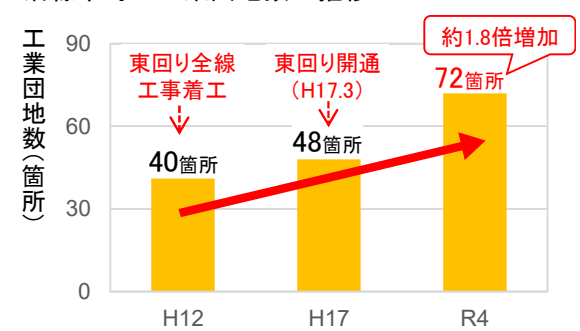


沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町 (東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)
 出典: 経済産業省「工業統計」「経済構造実態調査」

■岐阜県海津市にて整備が進む^{こまの}駒野工業団地



■沿線市町の工業団地数の推移



沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町 (東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)
 出典: 自治体調査結果 (R4.11)

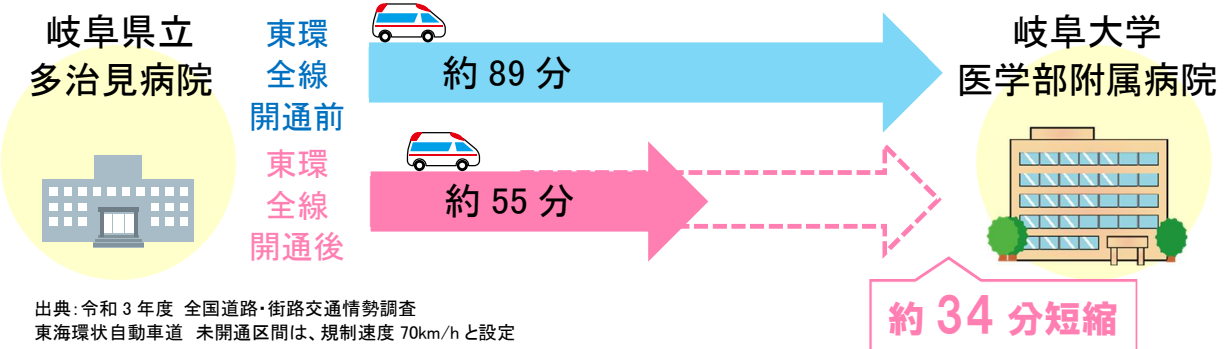
4. 整備効果

重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

(東海環状自動車道)搬送時間短縮による高度救急医療活動を支援！

- 東海環状自動車道の岐阜 IC(仮称)直近にある**岐阜大学医学部附属病院は、岐阜県で唯一の高度救命救急センターを保有**する病院。
- 高度な医療技術を必要とする場合、県内病院からの転院搬送の連携も行っている。
- また、近年、医療体制・病院間のアクセス性を踏まえ、**東海環状自動車道の IC 付近に病院が移転**。
- **東海環状自動車道の令和8年度全線開通によって、搬送時間が短縮し、高度救急医療への支援が期待**。

■ 転院搬送時の所要時間の変化 (事例)



■ 岐阜大学医学部附属病院の時間圏域拡大エリア



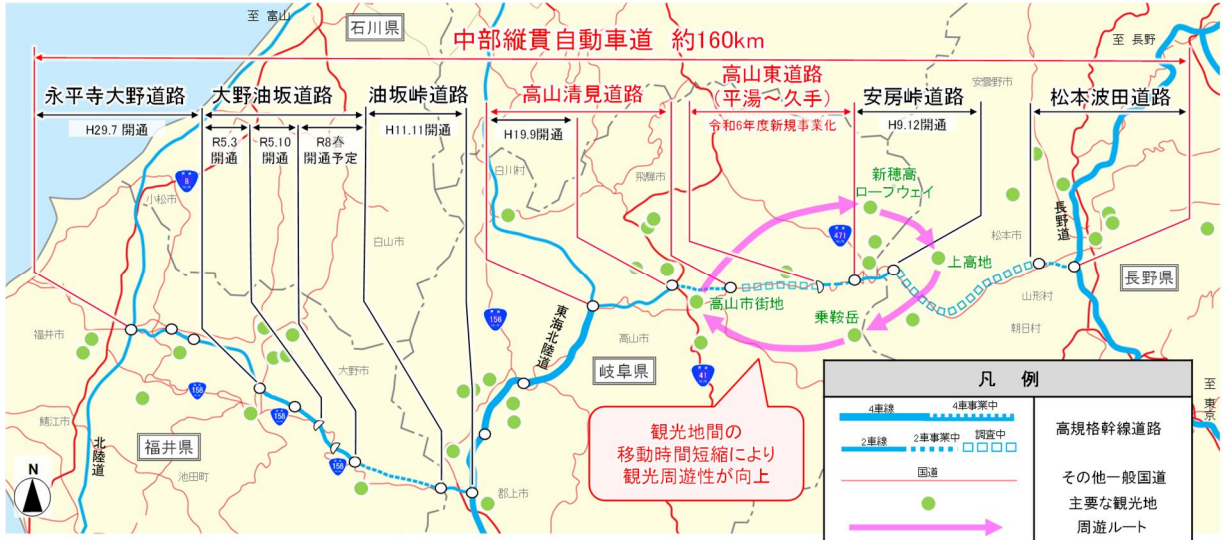
4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

(中部縦貫自動車道) 広域ネットワーク整備による地域産業活性化の支援！

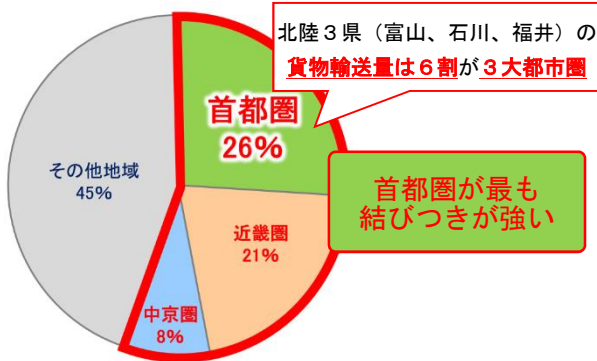
- 北陸圏は首都圏との結びつきが強いが、最短経路の高規格道路ネットワークが未整備のため、輸送距離が長く、非効率な輸送となっている。
- また、中部縦貫自動車道の沿線は、**国内外から注目される観光資源が多数存在**。
- 中部縦貫自動車道の整備により、**首都圏と北陸圏が最短経路で繋がり、効率的な物流網が構築されるとともに、主要な観光資源間の移動時間短縮が図られ、観光周遊性の高いネットワークを構築し、地域産業の活性化に寄与**。

■ 中部縦貫自動車道と観光資源

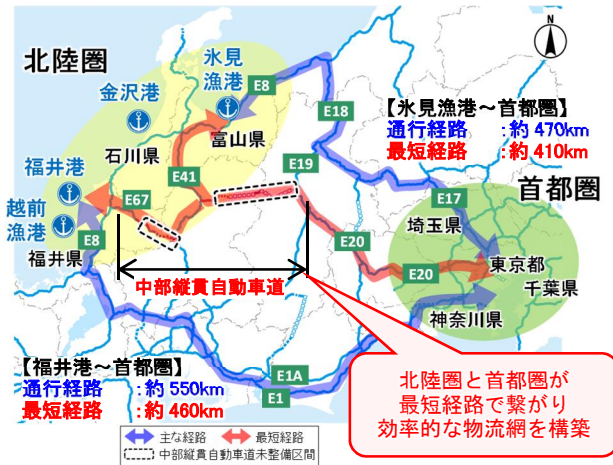


出典：R4 福井県観光入込客数（推計）、R4 岐阜県観光入込客統計調査、R4 観光地利用者統計調査結果（長野県）より、中部縦貫自動車道・東海北陸自動車道沿線市町村で利用客数が10万人以上の観光地をプロット

■ 北陸3県（富山、石川、福井）の貨物輸送割合と広域物流の主な流動



出典：第11回全国貨物純流動調査（2021年）[3日間流動調査]
 ※北陸3県から各都道府県への貨物輸送件数を集計（内々貨物輸送を除く）
 ※首都圏：埼玉・千葉・東京・神奈川、近畿圏：京都・大阪・兵庫、中京圏：愛知



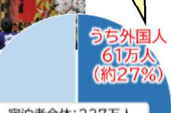
■ 観光宿泊客数と外国人宿泊客数 (H31・R元)

<高山市>
 高山祭り



高山市
 観光宿泊客割合

■ 宿泊者(外国人) ■ 宿泊者(国内)



<松本市>



出典：環境省HP (上高地ビジターセンター)

松本市
 観光宿泊客割合

■ 宿泊者(外国人) ■ 宿泊者(国内)



出典：高山市 観光統計、松本市 観光統計

■ 周遊ルートの所要時間

(高山市街地→新穂高→上高地→乗鞍高原→高山市街地)



出典：ET2.0 プローブ情報（2023年9月休日7-19時間平均）
 【現況】現道利用ルート
 【整備後】事業中含む中部縦貫自動車道+高山東道路(平湯〜久手)利用ルート
 (未開通区間は設計速度を用いて算出
 (高山清見道路(高山〜丹生川)・対象区間は設計速度80km/hとして算出

きそさんせん
国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

令和6年度当初：4.7億円
 （岐阜県分：4.2億円、愛知県分：0.2億円、三重県分：0.3億円）

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、平成27年度には部分開園を含む13拠点の全てを開園しました。その後も順次整備エリアを拡げ、令和4年11月にフラワーパーク江南Ⅱ期地区を追加供用し、令和5年7月にアクアワールド水郷パークセンター堀田エリアの芝生広場を追加供用することにより、令和5年度末現在、開園面積は約301.2haとなっています。令和4年度には年間約830万人に来園いただきました。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

令和6年度は、木曾三川公園センターの再整備等を推進します。



2. 事業箇所

岐阜県海津市海津町、愛知県稲沢市祖父江町祖父江、三重県桑名市三之丸 等

3. 令和6年度事業予定内容

- ・木曾三川公園センター 管理施設再整備、展示物設計設置
- ・ワイルドネイチャープラザ 園路整備
- ・桑名七里の渡し公園 用地取得 等

国営木曾三川公園の主な整備箇所

河川環境楽園（木曾川水園）

桜堤サブセンター

かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

木曾三川公園センター（岐阜県海津市）

138タワーパーク

フラワーパーク江南

管理施設再整備、展示物設計設置

アクアワールド水郷パークセンター

長良川サービスセンター

ワイルドネイチャープラザ（愛知県稲沢市）

園路整備

東海広場

船頭平河川公園

カルチャービレッジ

桑名七里の渡し公園（三重県桑名市）

用地取得

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

○国営木曾三川公園について、所要の耐震性能を満たしていない既存施設の耐震化や老朽化への対応を図ります。



水と緑の館

耐震化対策
老朽化対策



水と緑の館（イメージパース図）

重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

地域活性化と観光振興

○木曾三川公園の新たなエリアの開園へ向けた整備推進や施設の再整備により公園の魅力が向上し、入園者数の増加による公園周辺への波及効果につなげます。

○地域と連携したイベントの実施により地域の観光振興や賑わいの創出に、また、公園ボランティアの参画を進める事で、地域コミュニティの活性化にも貢献します。



スラックライン体験会
(アクアワールド水郷パークセンター)



公園ボランティアによる園芸活動
(フラワーパーク江南)



海津アクアマルシェ &
ハンドメイド市
(アクアワールド水郷パークセンター)

自然環境や歴史・文化への理解の深化

○河川ならではの自然環境に配慮した公園整備を行う事で広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献します。

○水辺に囲まれた公園の立地条件を生かした環境教育プログラムなどを実施し、訪れる人に対しての木曾三川の自然環境・歴史文化への理解の深化に貢献します。



復元した堀田における
田植え体験
(アクアワールド水郷パークセンター)

地域における防災・減災の寄与

○沿川自治体の地域防災計画における広域避難地・一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献します。



公園を利用した防災訓練
(東海広場)

かのがわ おおひら
狩野川河川改修事業 [大平地区]
 狩野川大平地区堤防整備事業

令和6年度 新規着手

令和6年度当初:11.7億円

1. 事業の必要性及び概要

令和元年東日本台風において、狩野川中流部では、氾濫危険水位を超過し、計画洪水水位に迫る水位を記録しました。狩野川大平地区の堤防は、高さ及び断面が不足しており、地域からの河川改修の要望が強い地区であることから、令和6年度より、狩野川大平地区堤防整備事業(築堤、揚水機場移設等)に新たに着手します。

2. 事業箇所

静岡県 ^{ぬまづ} 沼津市

3. 令和6年度実施予定内容

堤防整備等に必要な用地取得等を実施。

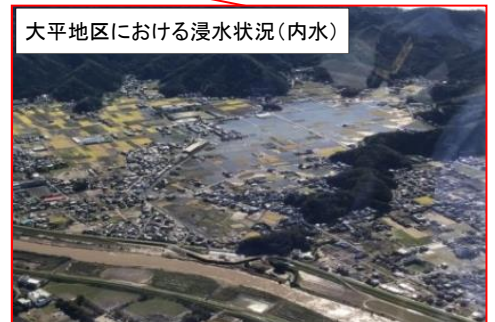
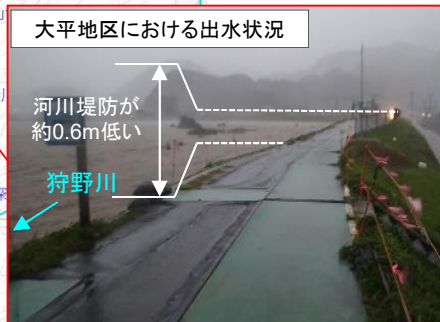
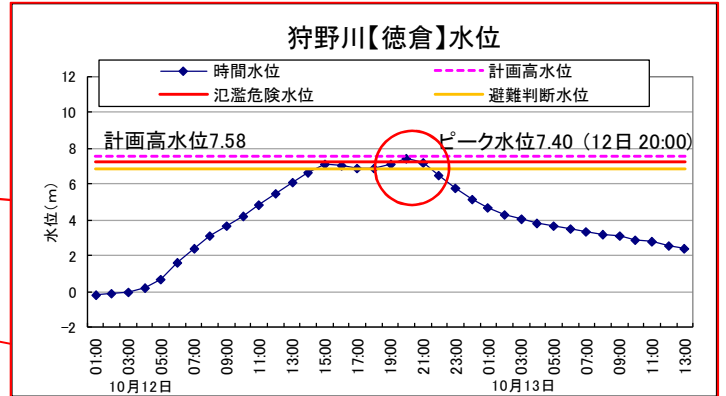
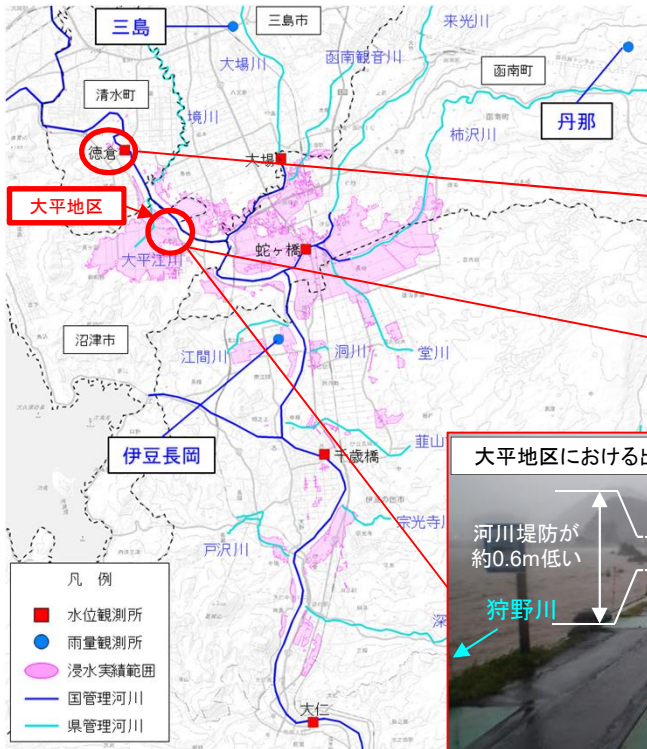


4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

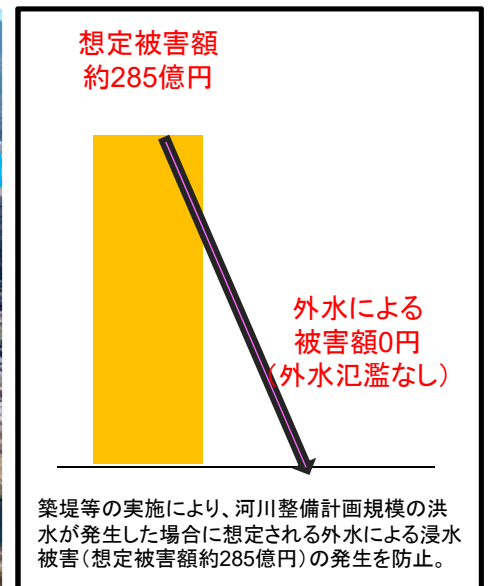
■ 令和元年10月(台風第19号)における狩野川中流部の出水状況

- 令和元年10月台風19号では、狩野川流域において、床上浸水623戸、床下浸水627戸の被害が発生しました。



■ 狩野川大平地区堤防整備事業の効果

- これまでに狩野川中流部で実施してきた河道掘削と狩野川大平地区堤防整備事業を実施することで、大平地区では、河川整備計画の目標である、狩野川台風に次ぐ規模の洪水(概ね1年に1/50の確率で発生する規模の洪水に相当)が発生した場合でも洪水を計画高水位以下で安全に流下させることができるようになります。
- 当該地区で決壊し、氾濫が発生した場合の浸水想定面積は約170ha、想定被害額は約285億円と推定されます。



きくがわ かわくぼ
菊川河川改修事業 [川久保地区]
 しもおがさがわ
下小笠川水位低下対策事業

令和6年度 新規着手

令和6年度当初:5.0億円

1. 事業の必要性及び概要

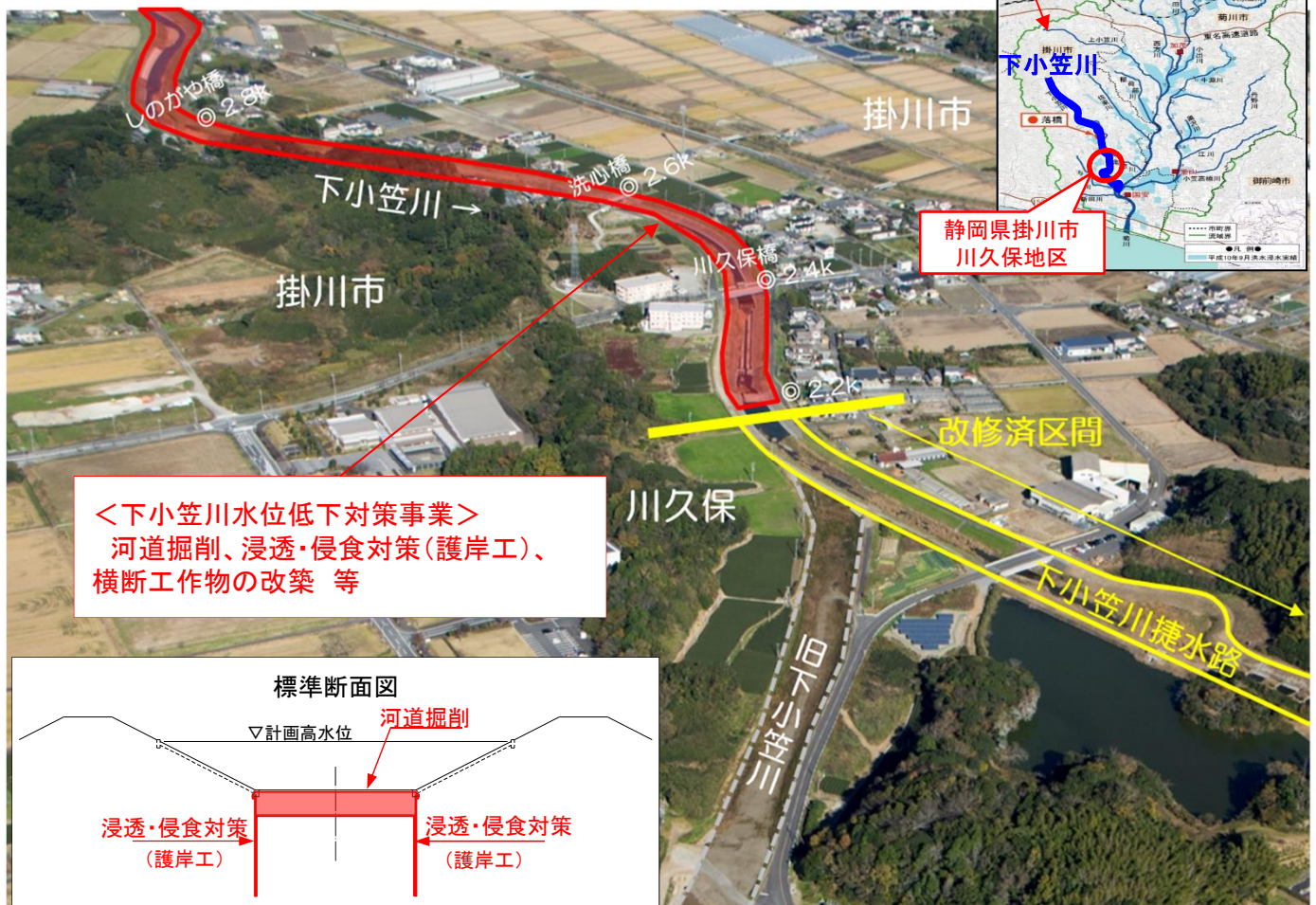
きくがわ しもおがさがわ
 菊川水系下小笠川では、平成10年9月洪水において、橋梁上流部で堰上げにより水位上昇し、浸水被害が発生。地域から河川改修の要望が強い地区であることから、今年度より、「下小笠川水位低下対策事業(河道掘削、浸透・侵食対策、横断工作物の改築等)」に新たに着手します。

2. 事業箇所

かけがわ
 静岡県 掛川市

3. 令和6年度実施予定内容

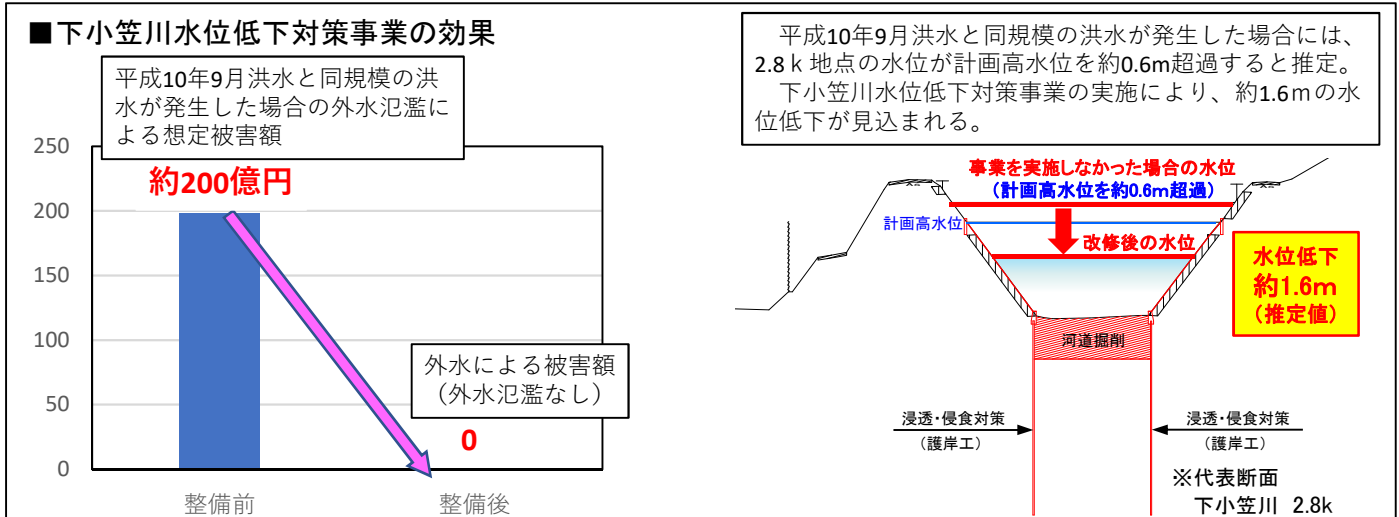
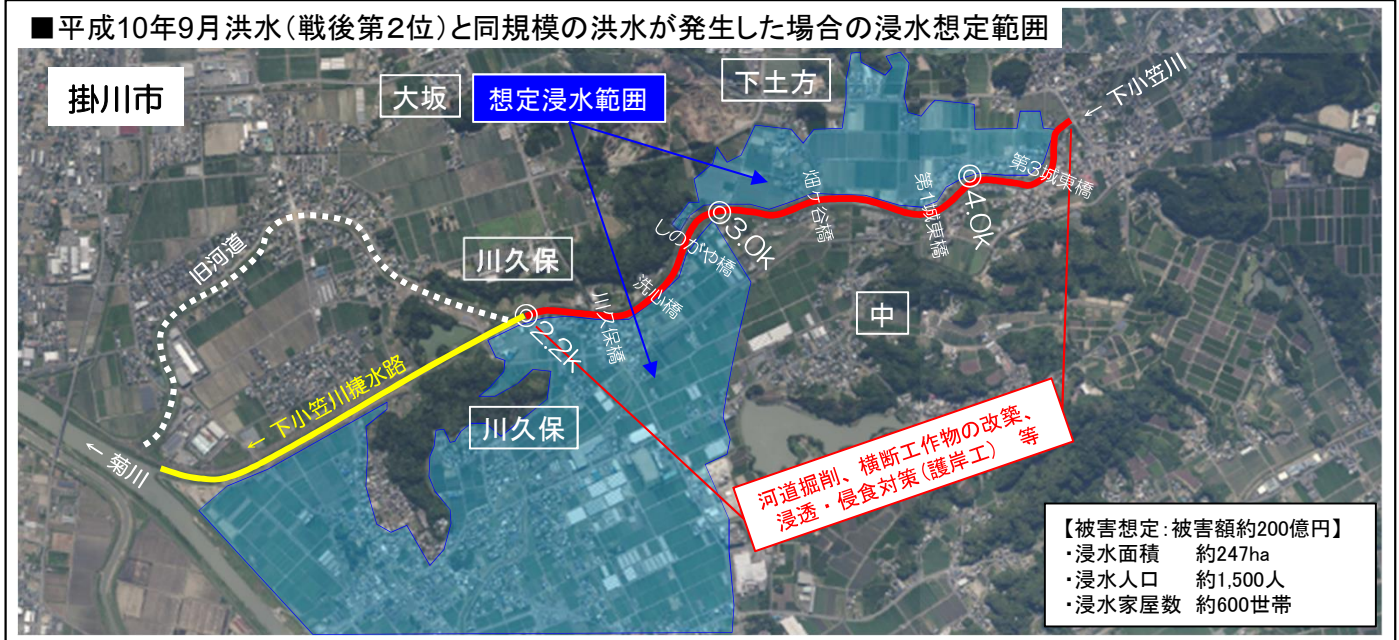
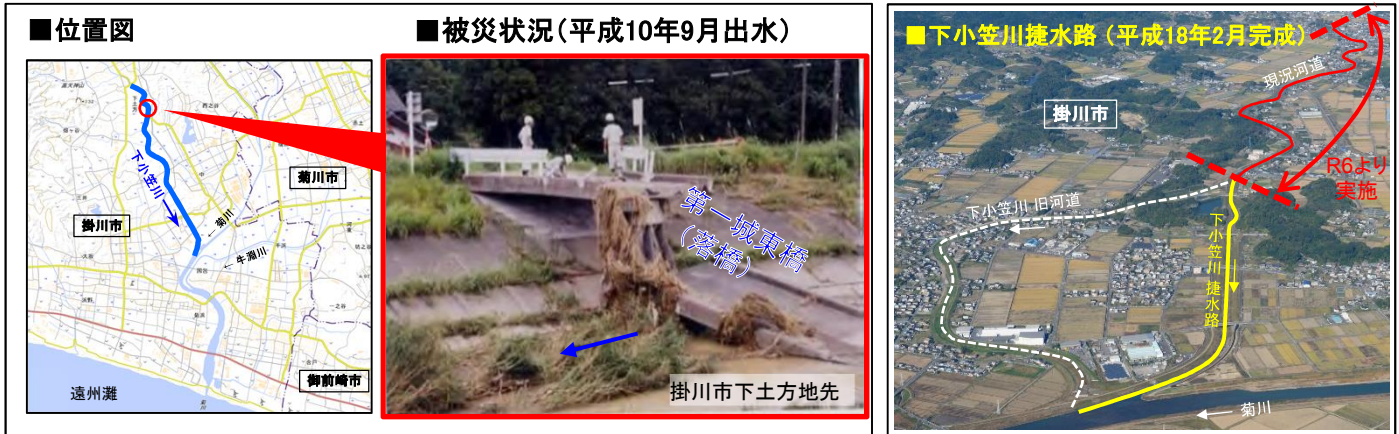
河道掘削、浸透・侵食対策(護岸工)等を実施。



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 下小笠川は天井川の上、蛇行が著しいことから、外水氾濫や内水による浸水被害を受けてきました。昭和57年9月(台風第18号)出水が既往最大被害となったことを契機に、下小笠川下流部の抜本的な改修に着手し、捷水路事業を実施しました。(平成18年2月完成)
- 平成10年9月出水(戦後第2位)においては、菊川水系全体で、浸水面積476ha、浸水家屋数345戸の被害が発生。下小笠川では橋梁上流部で堰上げにより水位上昇し、浸水被害が発生。第一城東橋が落橋しました。
- 平成10年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、外水氾濫による家屋浸水被害を防止するため、令和6年度より、捷水路より上流部の河道掘削等に着手します。



ゆい
由比地区直轄地すべり対策事業

令和6年度当初:23.1億円

1. 事業の必要性及び概要

由比地区には日本の大動脈(東名高速道路、国道1号、JR東海道本線)が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



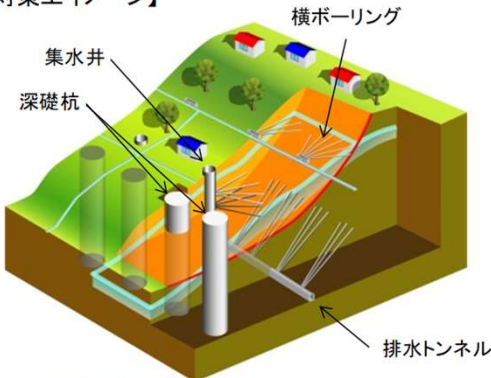
2. 事業箇所

しみずく ゆい にしくらさわ
静岡県静岡市清水区由比西倉沢

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

しんそ
引き続き、深礎工、集水ボーリング工を実施。

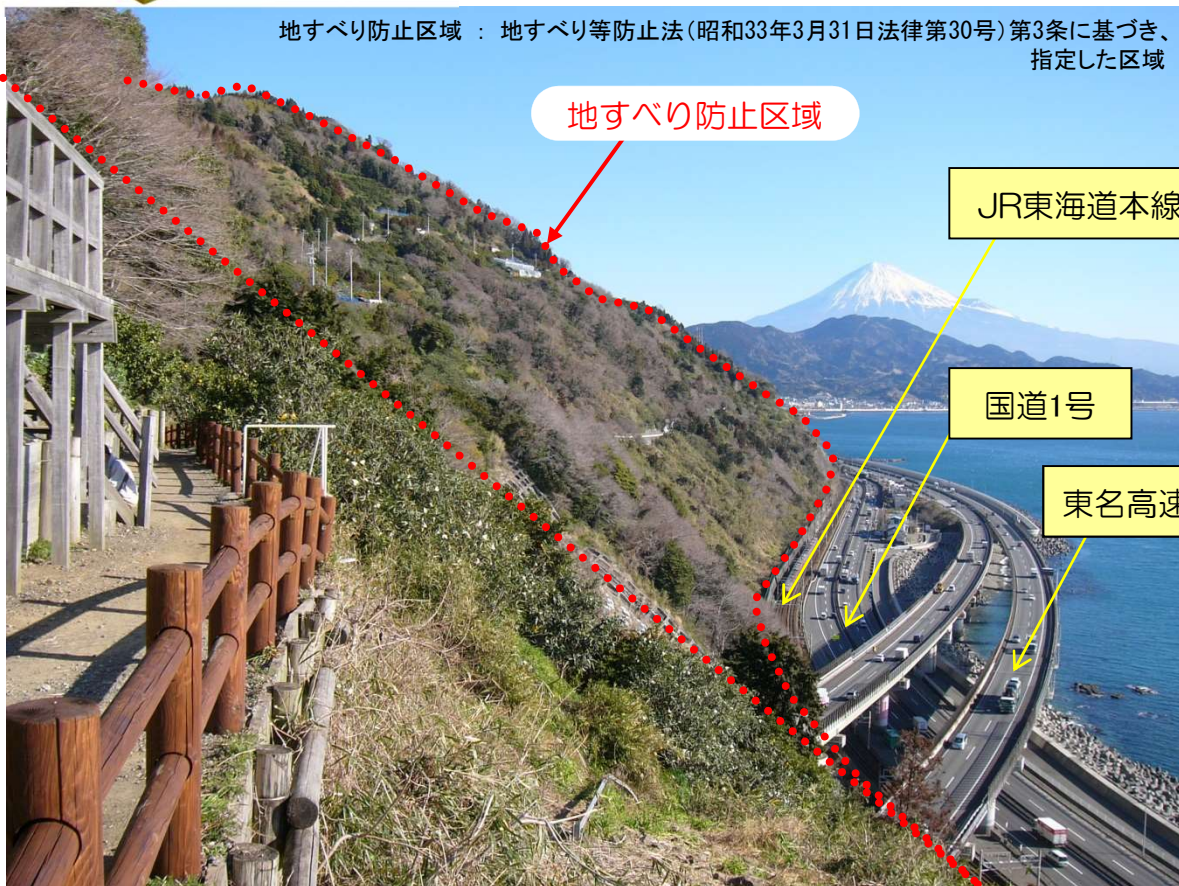
【対策イメージ】



深礎工



集水ボーリング工



地すべり防止区域 : 地すべり等防止法(昭和33年3月31日法律第30号)第3条に基づき、指定した区域

地すべり防止区域

JR東海道本線

国道1号

東名高速道路

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■ 由比地区において想定される被害

- ・由比地区地すべりの直接想定被害は、地すべり崩落土砂により重要交通網が埋没することです。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。

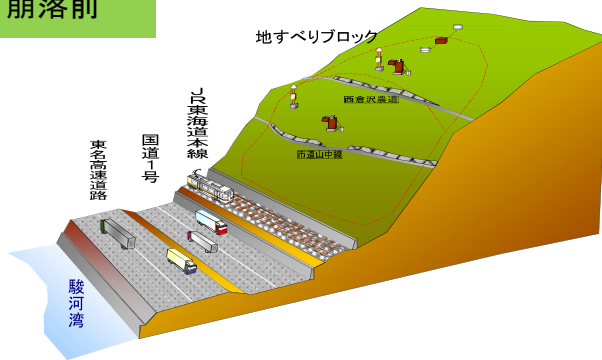


重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))

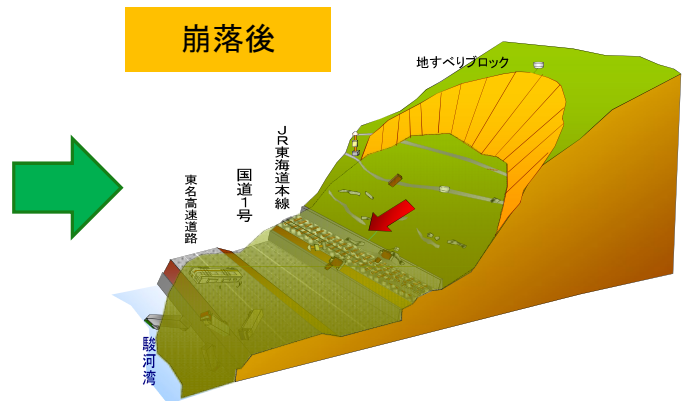
■ 重要交通網の交通量

交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約60,000台/日
東名高速道路 平均交通量	約42,000台/日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本/日

崩落前



崩落後



■ 災害発生時の影響

地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、JR東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



■ 事業効果

日本経済全体への影響が懸念される重要交通網である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の交通が確保されます。

地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

ながしま
長島ダム堰堤改良事業

令和6年度 新規着手

1. 事業の必要性及び概要

令和6年度当初:2.1億円

長島ダムは、洪水調節容量内の堆砂が進行しており、洪水調節機能に支障を及ぼす恐れがあるため、堆砂対策が喫緊の課題となっています。

そのため、長島ダムでは、ダム貯水池機能(洪水調節容量)を回復するための堆砂対策(堆砂除去)を計画的・集中的に実施する堰堤改良事業(ダムリフレッシュ事業)に着手します。

<位置図>



2. 事業箇所

はいばら かわねほんちょう
静岡県 榛原郡 川根本町

3. 令和6年度実施予定内容

土砂掘削、一時仮置き場整備等を実施。



長島ダム全景

<長島ダム貯水池 対策箇所図>

犬間ストックヤード
(一時仮置き場整備)



土砂掘削状況



土砂掘削前



土砂掘削後

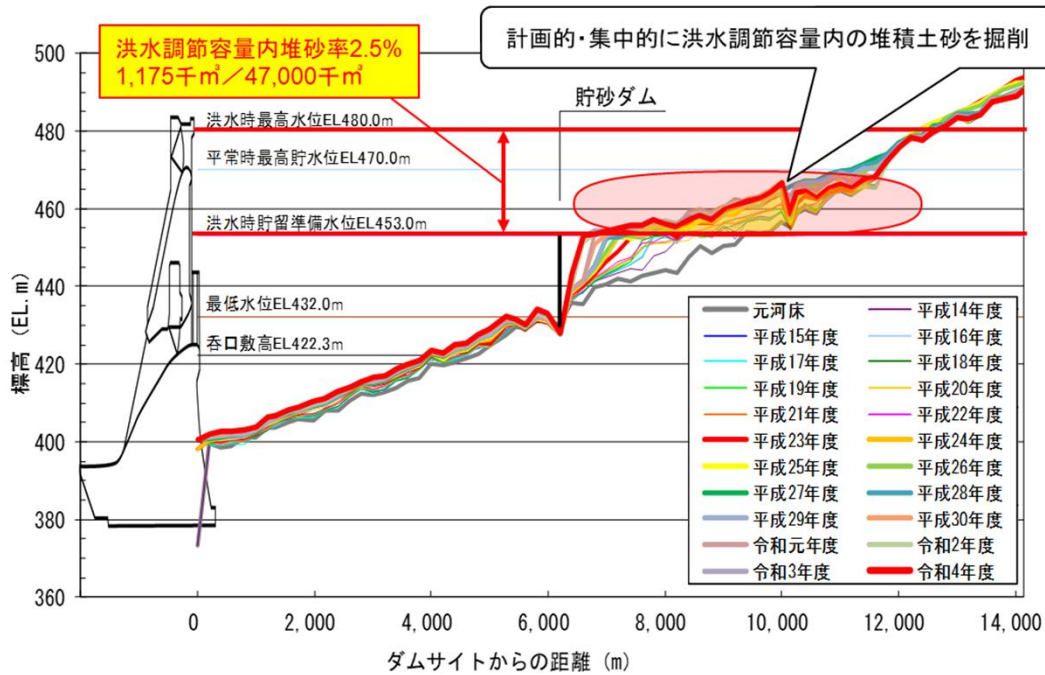
4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

- 他事業との更なる連携(掘削土砂の海岸養浜材への活用等)により、計画的・集中的に堆砂対策を実施し、ダム貯水池機能(洪水調節容量)の回復を図る。

<堆砂状況>

- 長島ダムは、洪水調節容量内の堆砂が令和4年度時点で1,175千 m^3 (洪水調整容量内堆砂率2.5%)と進行しており、洪水調節機能に支障を及ぼす恐れがあるため、堆砂対策が喫緊の課題となっている。
- 長島ダム貯水池への流入土砂の多くは貯砂ダム上流に堆積しており、貯砂ダム下流の堆砂形状は安定している。



<流域内の事業間連携を通じた総合的な土砂管理の推進>

- 長島ダム貯水池の掘削土砂の有効活用として、他事業との更なる連携(海岸養浜材への活用等)により、計画的・集中的に堆砂対策を実施する。



するが
駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業

令和6年度当初:13.5億円

1. 事業の必要性及び概要

駿河海岸は、切迫する南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波の第1波が地震発生後に最短2~4分で到達するため、避難に可能な時間が極めて短い地域です。このため、最大クラスの津波が堤防を乗り越えた場合でも、浸水被害の軽減と避難までの時間を稼ぐ減災機能を発揮する“粘り強い構造の海岸堤防”の整備を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

2. 事業箇所

静岡県
焼津市

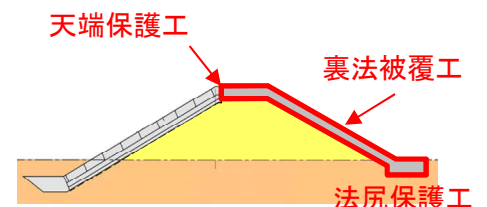


3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

粘り強い構造の海岸堤防の整備等を実施。



粘り強い構造の海岸堤防(焼津市)



粘り強い構造の海岸堤防
構造イメージ図

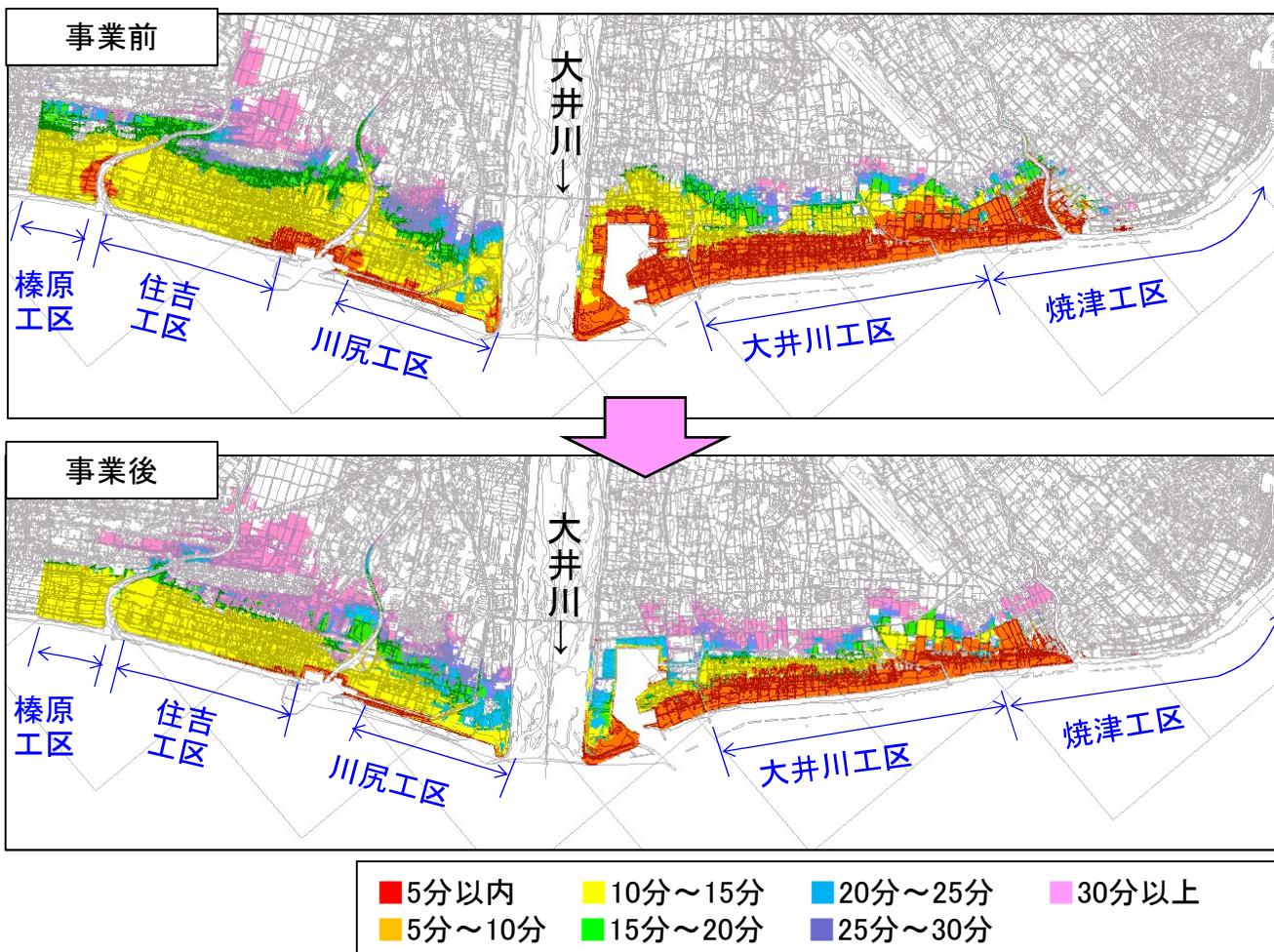
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

駿河海岸における南海トラフ巨大地震の津波による想定被害者数(想定死者数)※は約5,000人と想定されますが、粘り強い構造の海岸堤防を整備することにより、想定被害者数を約5割低減することができます。

※想定死者数は、津波浸水域における滞留者のうち津波が到達する時間(浸水深30cm以上となる)までに浸水区域外、高台や高層階、津波避難施設等への避難が完了できなかったものを津波に巻き込まれたものとして、死亡か負傷かを判定

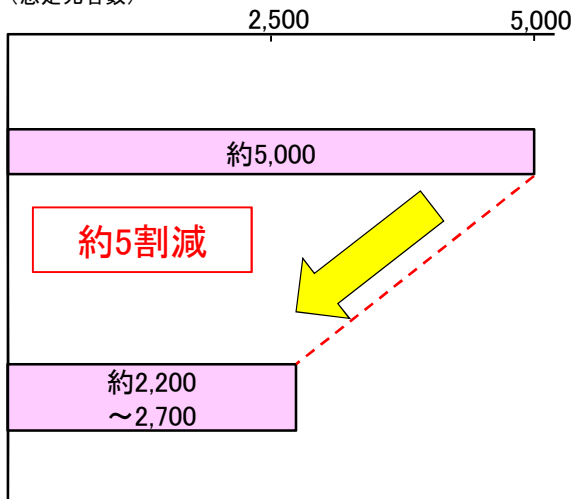
■津波到達時間分布図(浸水深30cm)



※被害想定は、津波シミュレーションを用いて焼津工区～榛原工区間のみ被害軽減効果を試算
 ※粘り強い構造の海岸堤防整備により避難時間をさらに3～5分確保できると仮定

■想定被害者数(人)

(想定死者数)



“粘り強い構造の海岸堤防”により、最大クラスの津波が堤防を越流した場合でも、堤防の効果が粘り強く発揮し、破堤に至るまでの時間を遅らせることで、浸水被害の軽減や避難のためのリードタイムを長くする効果等が期待されます。

国道1号 国道414号 ^{いずじゅうかん}伊豆縦貫自動車道
 国道1号 ^{せいしん}静清バイパス
 国道1号 ^{しまだかなや}島田金谷バイパス

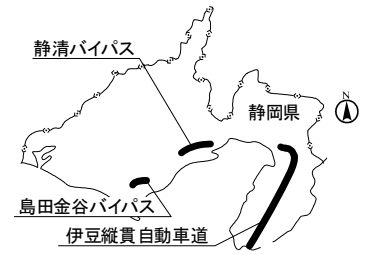
令和6年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 32.6億円
 【静清バイパス】： 66.3億円
 【島田金谷バイパス】： 14.6億円

1. 事業の必要性及び概要

- ^{いずじゅうかん}伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約60kmの高規格道路です。
- ^{せいしん}静清バイパスは、高規格道路「^{しずおかとうざい}静岡東西道路」の一部を構成し、^{しずおか}静岡市の環状道路の一部として、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、^{せいしん}静清都市圏の発展の支援を目的に計画された道路です。
- ^{しまだかなや}島田金谷バイパスは、国道1号における東西軸の交通需要に対して不足する交通容量を確保し、物流の効率化を図るとともに交通渋滞の解消及び交通安全性の向上・沿道環境の改善を目的に暫定2車線から完成4車線化を図る拡幅事業です。

2. 事業箇所

- ^{いずじゅうかん}伊豆縦貫自動車道： ^{ぬまづ}静岡県沼津市～^{しもだ}静岡県下田市
- ^{せいしん}静清バイパス： ^{しずおか}静岡県静岡市清水区興津東町
～^{するが}静岡市駿河区丸子二軒屋
- ^{しまだかなや}島田金谷バイパス： ^{しまだ}静岡県島田市野田～^{かけがわ}掛川市佐夜鹿



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ ^{いずじゅうかん}伊豆縦貫自動車道

【^{あまぎとうげ}東駿河湾環状道路(延長15.0km)】 【^{つきがせ}天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)(延長5.7km)】

- 調査設計を推進。

【^{かわづしもだ}河津下田道路(Ⅱ期)(延長6.8km)】 【^{かわづしもだ}河津下田道路(Ⅰ期)(延長5.7km)】

- ^{かわづさかさかわ}河津逆川IC～^{しもだ}下田IC(仮称)(延長12.5km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。

■ ^{せいしん}静清バイパス

- 清水立体区間(延長2.4km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。

■ ^{しまだかなや}島田金谷バイパス

- ^{はっさし}旗指IC～^{おおじろ}大代IC(延長4.3km)の舗装工事を推進。《令和6年度開通予定》
- ^{のだ}野田IC～^{はっさし}旗指IC、^{おおじろ}大代IC～^{かけがわ}掛川市佐夜鹿(延長6.1km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。



^{いずじゅうかん}伊豆縦貫自動車道
^{かわづしもだ}河津下田道路(Ⅱ期) ^{しもだ}下田北IC(仮称)付近



^{せいしん}静清バイパス(清水立体)
^{にしくぼ}西久保交差点付近



^{しまだかなや}島田金谷バイパス
^{しんおおいがわ}新大井川橋付近

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

(伊豆縦貫自動車道)

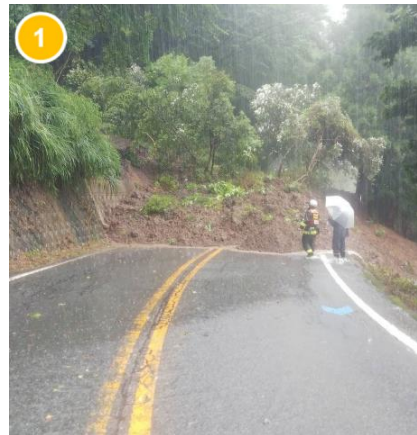
災害に強い道路ネットワークを構築し、災害時にも機能する道路を整備！

- 伊豆半島は、南海トラフ巨大地震等の津波による浸水等、災害リスクの高い地域であるとともに、災害時に連絡できる道路が脆弱で、台風、大雨等で通行止めが発生。
- 災害時には、東名・新東名高速道路からのルートに加え、防災拠点港湾である下田港からの海上ルートが緊急輸送ルートとなる。
- 伊豆縦貫自動車道の整備により、「災害に強い道路ネットワーク」が構築され、災害時の救命救急・復旧活動等の支援に寄与することが期待。

■南海トラフ巨大地震発生時の被害想定



■台風、大雨等による伊豆南部の法面被災状況



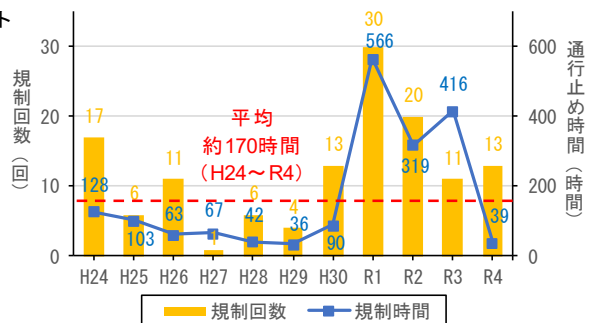
【国道 414 号 法面崩壊】
(令和 3 年 7 月 河津町梨本)



【国道 135 号 法面崩壊】
(令和 2 年 7 月 伊東市赤沢)

■伊豆地域の通行止め実績

(国道 135 号、国道 136 号、国道 414 号※)



出典：静岡県通行規制実績
(沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道 414 号は旧道除く

凡例

-: 事業中区間
- : 開通済区間
- : 開通済(有料区間)区間
- : 調査中区間
- 🌀: 推定最大津波高さ
- ✕: 津波浸水箇所(国道と推定津波浸水の交差箇所)
- 🌀: 推定津波浸水域

【道路施設影響度ランク】

影響度ランク	被害規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日~1週間
B	小	当日~3日
C	なし	—

出典：静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)(平成25年11月)

出典：内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(平成25年3月)より作成

しみず しんおきつ
清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

令和6年度当初：16.4億円

1. 事業の必要性及び概要

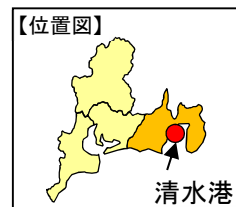
多くの製紙工場が背後に立地する清水港^{しみず}は、原材料であるパルプの輸入拠点となっており、パルプの輸入量が増加しています。また、背後圏のコンテナ貨物の取扱拠点となっており、特に東南アジア貨物が増加し、船舶が大型化しています。

一方、大型船が利用できる岸壁が限られており、非効率な輸送を強いられていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、新興津地区^{しんおきつ}において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

静岡県静岡市



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

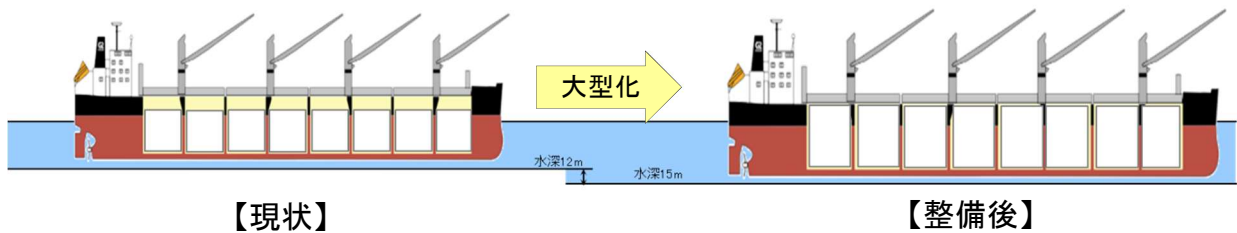
重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<海上輸送効率化への対応>

大型パルプ船による原産国から清水港への一括大量輸送、清水港を拠点とした全^{しみず}国へのトランシップ（積替）輸送による物流効率化が可能となり、静岡県^{しみず}の基幹産業である製紙産業の国際競争力の強化、地域経済の活性化を図ります。また、コンテナ貨物の増加、コンテナ船の大型化にも対応可能となります。

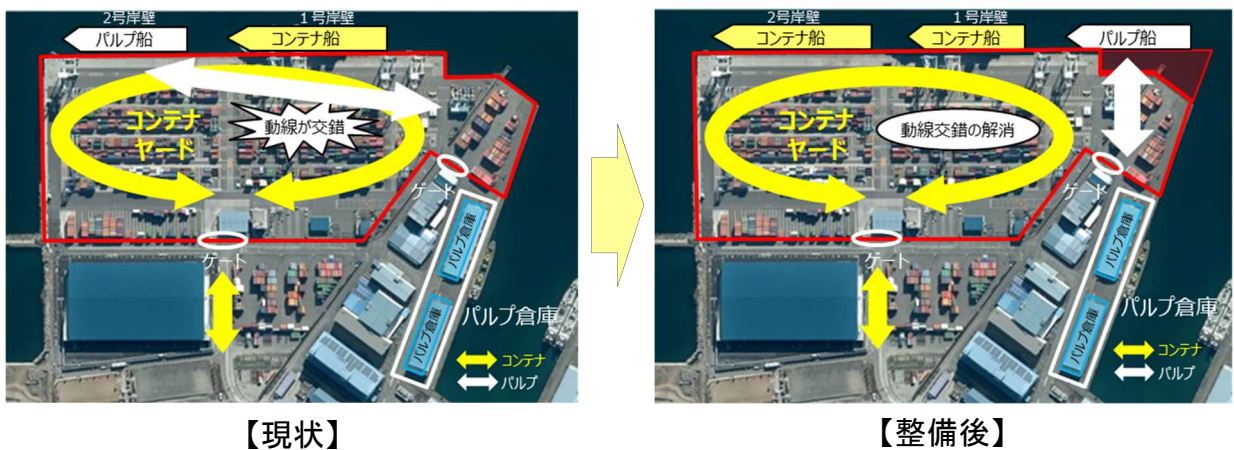
■日の出地区、興津地区(水深 12m)

■新興津地区(水深 15m)



<ターミナルの安全性の向上>

整備した岸壁にパルプ船が着岸することで、コンテナ荷役とパルプ荷役の動線の交錯が緩和され、安全かつ効率的な荷役が可能となります。



おまえざき めいわ
御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業

令和6年度当初：1.6億円

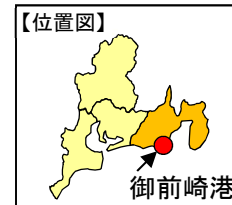
1. 事業の必要性及び概要

防波堤は、地震発生時の堤体沈下に伴う港内静穏度低下により岸壁荷役作業に支障をきたす恐れがあります。また、津波来襲時の防波堤倒壊により背後地域への浸水被害が拡大する恐れがあることから、災害対応力の向上が必要となっています。

このため、^{めいわ}女岩地区防波堤（A）において防波堤の改良を行います。

2. 事業箇所

おまえざき
静岡県御前崎市



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、防波堤の粘り強い構造への改良を実施します。



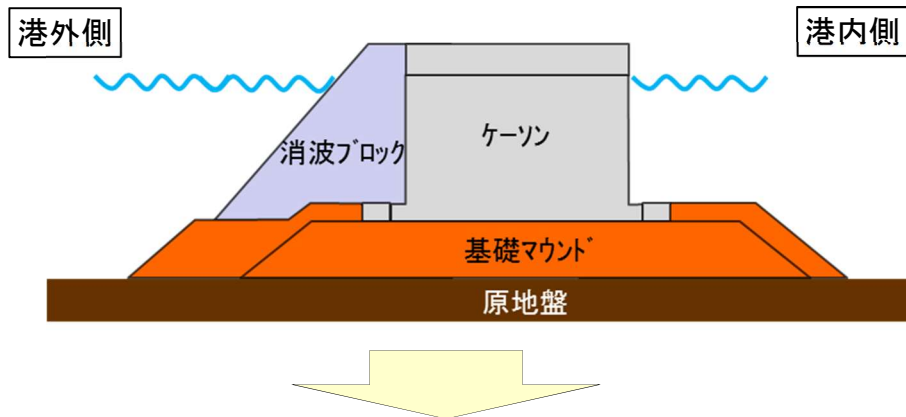
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

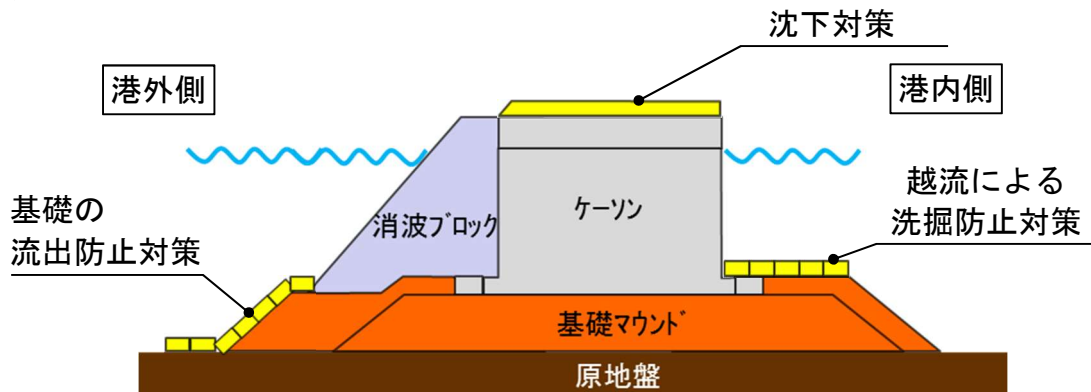
<防波堤の粘り強い化>

嵩上げによる沈下対策、港外側基礎の流出防止対策、越流による洗掘防止対策による粘り強い化により、津波来襲後においても港内静穏度を確保するとともに、津波来襲時における背後地域での浸水被害の低減を図ります。

【防波堤 粘り強い化対策前】



【防波堤 粘り強い化対策後】



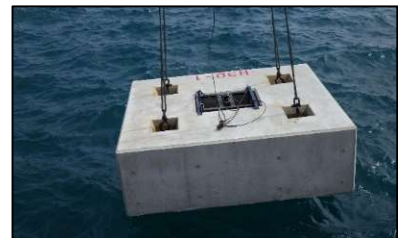
【対策イメージ】



沈下対策
(上部工嵩上げ)



基礎の流出防止対策
(被覆ブロック据付)



越流による洗掘防止対策
(根固方塊据付)

やはぎがわ すいげん
矢作川河川改修事業[水源地区]
矢作川鵜の首地区水位低下対策事業

令和6年度当初:10.1億円

1. 事業の必要性及び概要

とよた りゅうぐうばし うのくび
豊田市街地を流れる矢作川は、竜宮橋下流に鵜の首と呼ばれる狭窄部があり、平成12年の東海(恵南)豪雨では、狭窄部上流部において氾濫が発生しました。我が国有数のものづくり拠点を氾濫被害から守るため、河道掘削等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

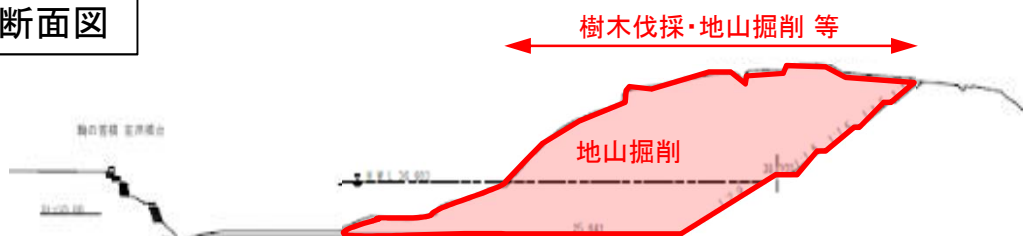
愛知県豊田市

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、鵜の首狭窄部の樹木伐採等を実施。



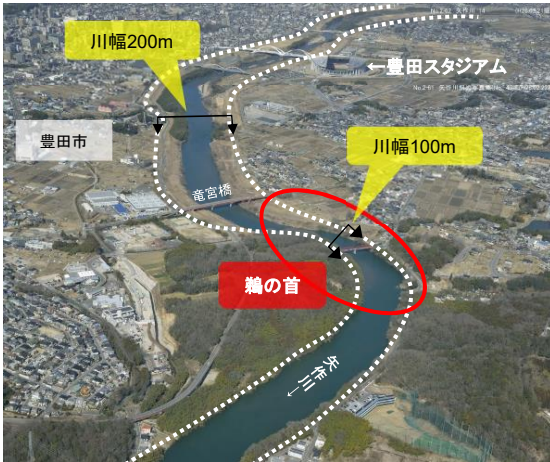
標準断面図



4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

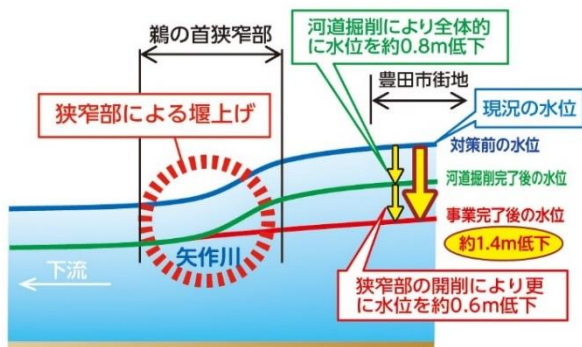
- 平成12年の東海豪雨(恵南豪雨)では、鵜の首狭窄部の影響もあり、上流の豊田市街地で大規模な浸水被害が発生しました。
(矢作川水系:被災家屋 約2,800棟、水害区域面積 約1,800ha)



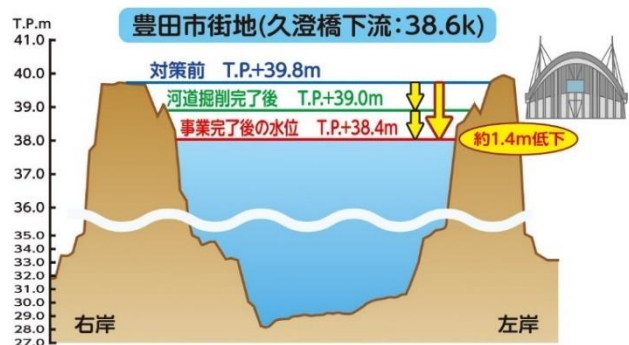
平成12年9月「東海豪雨(恵南豪雨)」の被害状況(豊田市森地区) ……………

- 狭窄部の河床掘削、狭窄部開削を実施することで、上流の豊田市街地(久澄橋下流:38.6k)で東海豪雨(恵南豪雨)において水位が約1.4m低下します。
- これにより、豊田市街地(鵜の首地区上流部区間)において東海豪雨(恵南豪雨)の被害が解消されます。

鵜の首狭窄部の整備イメージ



対策効果のイメージ(河川水位の縦断面図)



対策による水位低下効果(横断面図)

しょうないがわ びわじま
庄内川河川改修事業[枇杷島地区]
 庄内川枇杷島橋架替事業 (特定構造物改築)

令和6年度当初: 15. 5億円
 (岐阜県分: 2. 2億円、愛知県分13. 3億円)

1. 事業の必要性及び概要

名古屋市枇杷島地区は、狭窄部であるとともに県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障をきたしていることから、氾濫した場合には、広範囲の浸水被害が予想されます。

このため、枇杷島地区3橋梁の架替や築堤等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

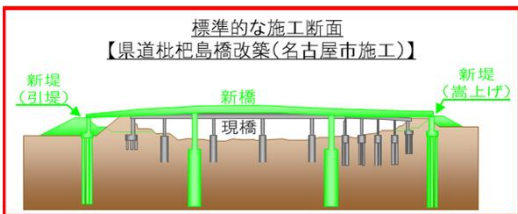
2. 事業箇所

愛知県名古屋市



3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、県道枇杷島橋の架替を実施。



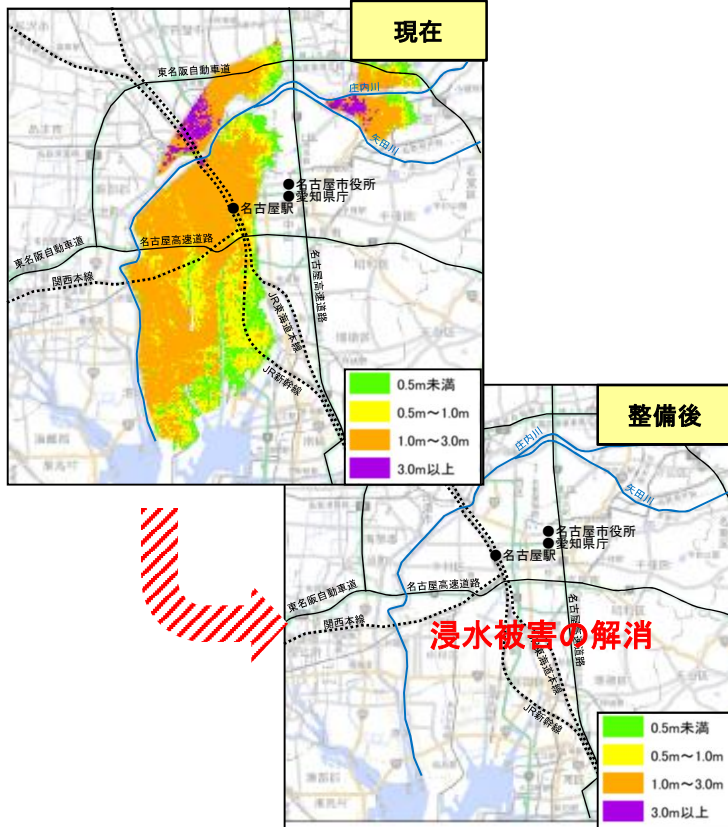
<庄内川枇杷島橋架替事業>
 (特定構造物改築)
 橋梁架替、堤防整備 等

4. 整備効果等

重点:①国民の安全・安心の確保

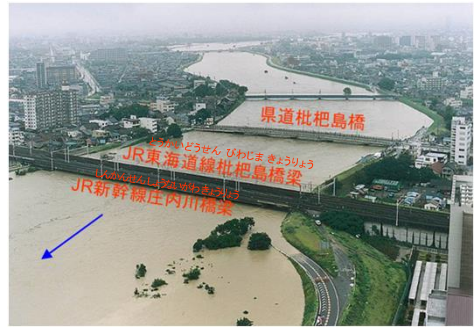
平成12年9月11日～12日に東海地方に甚大な被害を発生させた東海豪雨では、派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。県道枇杷島橋では、洪水が橋桁に衝突するなど、危険な状況でした。

本事業を含む整備計画を完了させることで、中下流域(愛知県区間)は、東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも、洪水を安全に流下させることが可能となります。



河川整備計画目標流量による浸水想定

平成12年9月東海豪雨の状況



■庄内川枇杷島橋架替事業(特定構造物改築)の進捗状況

- 令和3年10月より、県道枇杷島橋の架替工事に着手し、令和5年11月に県道枇杷島橋(仮橋)への切り回しが完了しました。令和6年度は、旧橋の撤去等を実施します。



したら
設楽ダム建設事業

令和6年度当初:154.1億円

1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、堤防決壊による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらし、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町(豊川水系豊川)

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、本体工事、付替道路工事等を実施。



設楽ダム完成予想図



工事用道路(廃棄岩骨材運搬路等)



本体工事(基礎掘削)



付替県道設楽根羽線(5号橋)

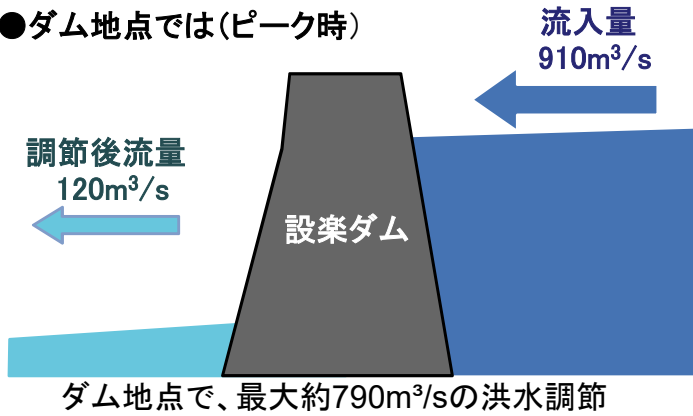
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となります。

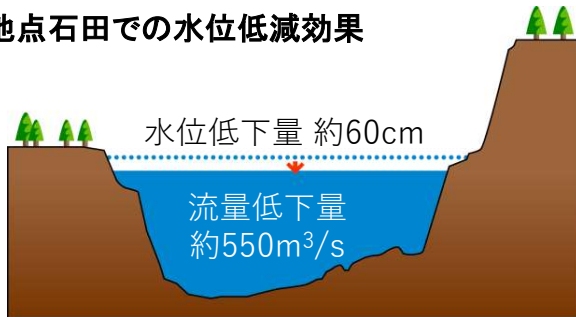
設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減します。

●ダム地点では（ピーク時）



昭和44年8月（旧一宮町江島）

●基準地点石田での水位低減効果



下流の基準地点の石田では、約550m³/sの流量を低減（約60cm水位を下げる）

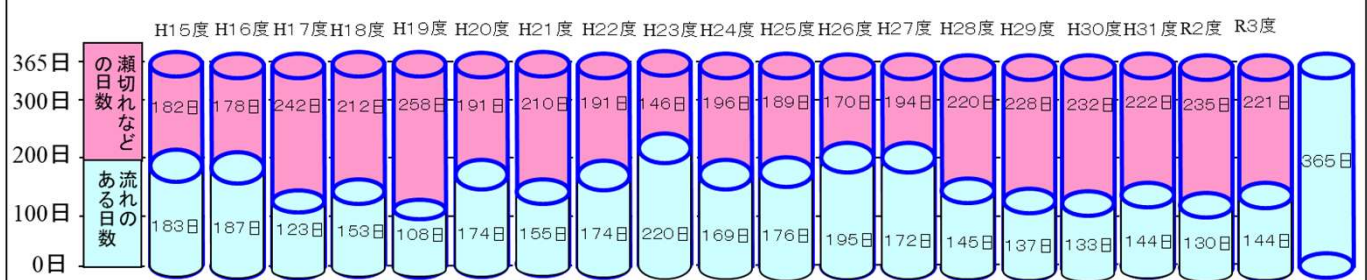
設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図ります。



（平成16年4月26日 0.0m³/s）大野頭首工下流



（平成16年4月29日 1.3m³/s）大野頭首工下流



出典：水資源機構

	国道474号 <small>さんえんなんしん</small> 三遠南信自動車道 国道23号 <small>がまごおり</small> 蒲郡バイパス 国道247号 <small>にしちた</small> 西知多道路
--	--

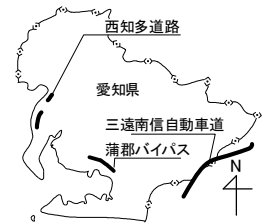
令和6年度当初【三遠南信自動車道】：159.0億円
 [愛知県分]：51.2億円
 【蒲郡バイパス】：85.0億円
 【西知多道路】：64.6億円

1. 事業の必要性及び概要

- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- 蒲郡バイパスは、高規格道路「名豊道路」の一部を構成し、国道1号の交通混雑の緩和、蒲郡市街部の交通安全確保等を目的に計画された道路です。
- 西知多道路は、中部国際空港と名古屋港及び高規格道路を連絡し、名古屋都市圏自動車道網を形成することで、国道247号の渋滞を緩和し、物流効率化によるものづくり産業の支援を目的に計画された道路です。

2. 事業箇所

- 三遠南信自動車道：長野県飯田市～静岡県浜松市
- 蒲郡バイパス：愛知県豊川市為当町～額田郡幸田町
- 西知多道路：愛知県東海市新宝町～東海市東海町
愛知県知多市南浜町～知多市日長



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 三遠南信自動車道【佐久間道路・三遠道路(延長27.9kmのうち愛知県14.5km)】

- 東栄IC～鳳来峡IC(延長7.1km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。

《 令和7年度開通予定 》

■ 蒲郡バイパス

- 豊川為当IC～蒲郡IC(延長9.1km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。

《 令和6年度開通予定(大規模切土工事が順調に進んだ場合) 》

■ 西知多道路【東海ジャンクション(延長2.0km)】【長浦～日長(延長1.6km)】

- 東海ジャンクション(延長2.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。

- 長浦～日長(延長1.6km)の用地買収等を推進。



三遠南信自動車道
佐久間道路・三遠道路 8号橋付近



蒲郡バイパス
蒲郡IC付近



西知多道路
東海ジャンクション

4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

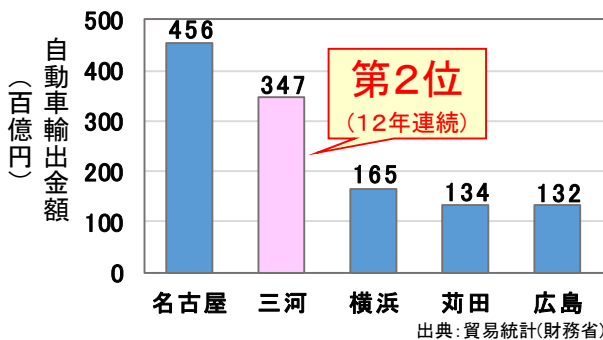
(蒲郡バイパス)道路と港湾の連携による地域産業の活性化！

- 名豊道路沿線では、新規企業による工業団地への進出や新たな工業団地開発等が進展。
- 名豊道路に直結する三河港は、完成自動車の輸出が12年連続で**全国第2位**である。
- 豊田市の自動車組立工場からは、**400便/日の完成車が名豊道路を利用して輸送**。
- **名豊道路が令和6年度に全線開通することで、自動車組立工場から三河港までの所要時間の短縮により輸送効率が向上し、地域産業の活性化に寄与。**

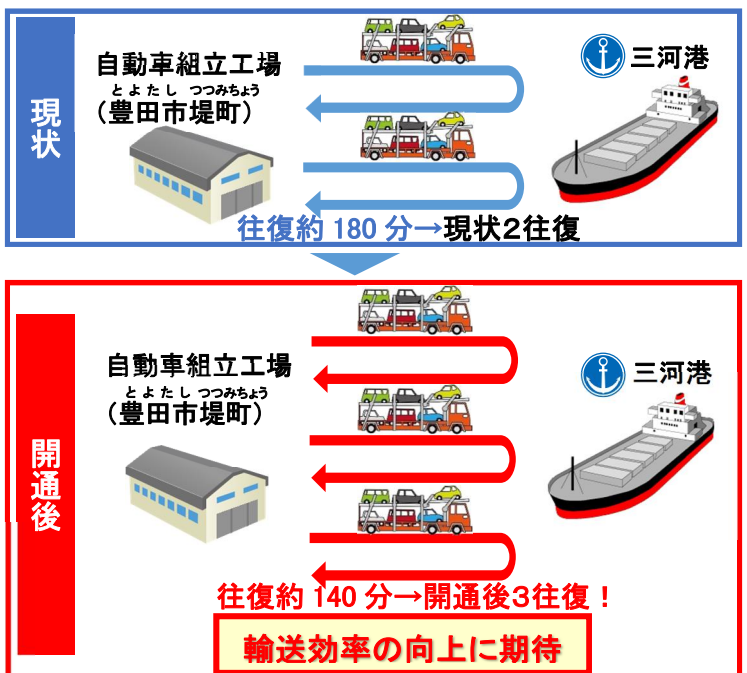
■名豊道路沿線の工業団地整備状況



■港湾別自動車輸送金額順位(令和5年)



■開通による効果:三河港への輸送効率の向上



速度条件:(現状)ETC2.0プローブ情報(令和4年10月平日)
 (開通後)既開通区間:ETC2.0プローブ情報(令和4年10月平日)
 暫定2車線開通区間・未開通区間:現行の規制速度(60km/h)

なごや
名古屋港ふ頭再編整備事業

令和6年度当初：116.2億円

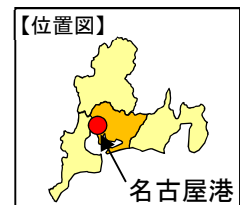
1. 事業の必要性及び概要

近年、自動車部品や産業機械などのコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展に加え、^{とびしま}飛島東側ターミナルの水深12m岸壁は供用後50年以上が経過し老朽化が進行しています。また、自動車運搬船の大型化の進展に加え、完成自動車取扱施設の分散による非効率な荷役が生じていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、^{とびしま}飛島ふ頭地区においてコンテナ貨物の取扱拠点の整備を、^{きんじょう}金城ふ頭地区において完成自動車の輸出拠点の整備を行います。

2. 事業箇所

愛知県^{なごや}名古屋市、^{とびしま}飛島村



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、^{とびしま}飛島ふ頭地区において岸壁の増深改良及び耐震強化岸壁等の整備を、^{きんじょう}金城ふ頭地区においてふ頭用地の連携した整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

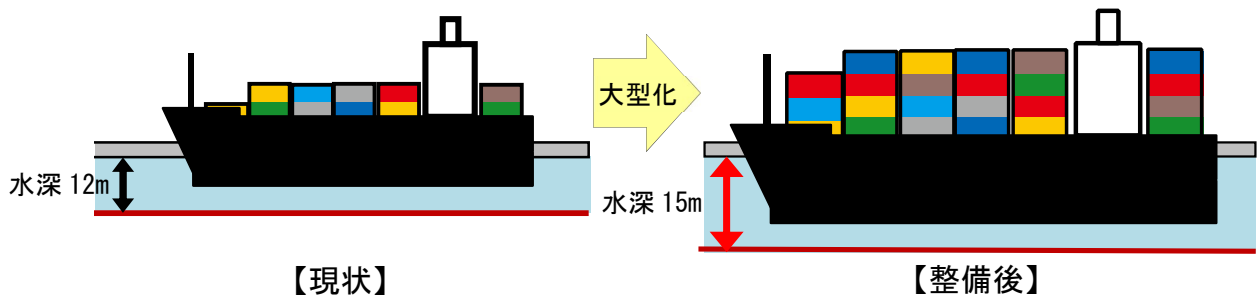
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<コンテナ船の大型化への対応>

コンテナ船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送が発生していることから水深15mへ増深することにより、一度に輸送できる貨物量が増加することで輸送コストの低減を図り、物流効率化を推進します。



<モータープールの集約>

自動車運搬船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送や荷さばき地等の不足・分散による横持ちが発生していることから、ふ頭の再編・集約化により、物流効率化を推進します。



みかわ じんの 三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業

令和6年度当初：3.1億円

1. 事業の必要性及び概要

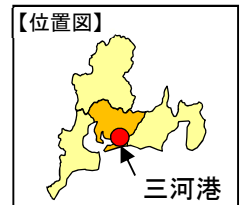
三河港の背後圏には、自動車関連をはじめとする多様な産業が立地しており、今後もコンテナ貨物及び完成自動車の取扱量増加が見込まれています。

一方、波浪の影響による船舶の動揺も大きく、高コスト・非効率な物流となっていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、神野地区において国際物流ターミナル整備を行います。

2. 事業箇所

愛知県豊橋市



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、防波堤の整備を実施します。

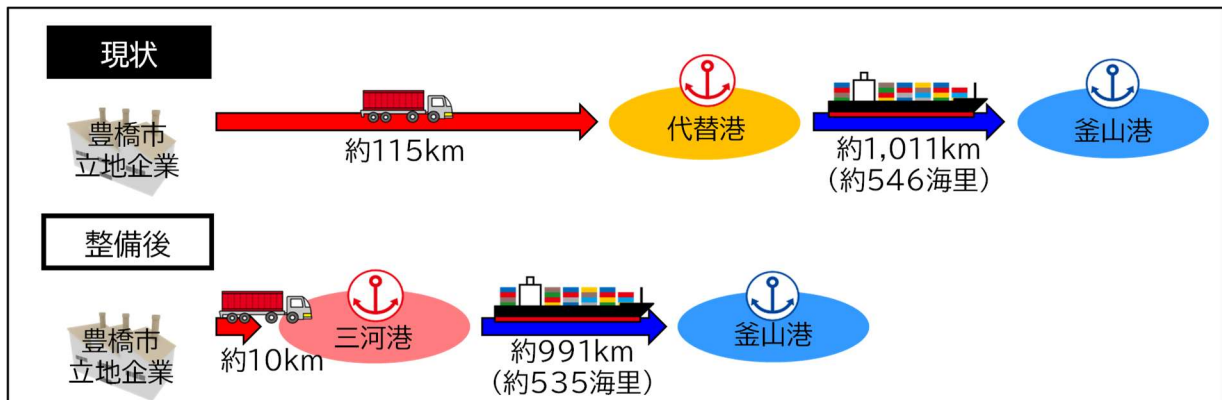


4. 整備効果

重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

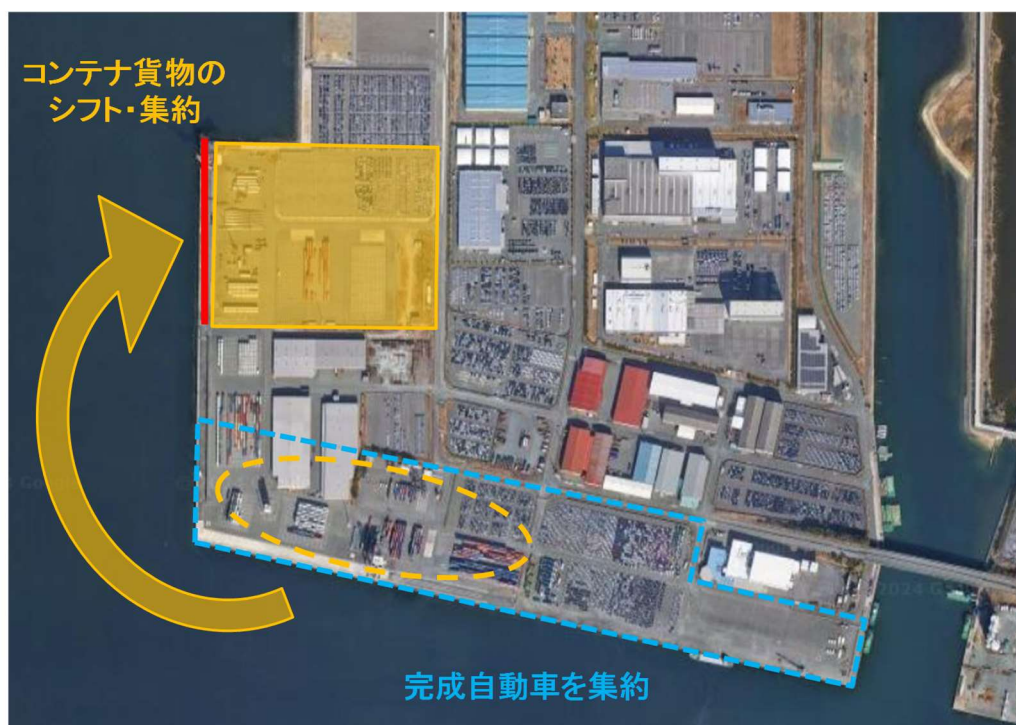
<コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たなコンテナターミナルの整備により、^{みかわ}三河港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



<ターミナルの効率化>

神野地区^{じんの}における他の岸壁では、コンテナ貨物や完成自動車等の貨物の混在により非効率な荷役となっています。コンテナ貨物を整備中のコンテナターミナルへシフトすることにより、コンテナ貨物や完成自動車がそれぞれ集約され、効率的な荷役が可能となります。



なごや

名古屋第4地方合同庁舎整備等事業（PFI手法による庁舎整備）

令和6年度当初：0億円

1. 事業の必要性及び概要

所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和7年度の完成を目指し、令和6年度は新庁舎整備に係る建設業務を実施する予定です。（令和4年1月事業契約締結）



※画像は事業者の提案イメージであり、実際とは異なる場合があります。

- 敷地
名古屋市中区三の丸2丁目6-2 敷地面積 6,582㎡
- 規模
延べ面積 25,703㎡
- 事業方式
PFI手法（BTO(Build-Transfer-Operate)方式）
- 完成予定
令和7年12月

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<防災拠点となる官庁施設の防災機能強化>

名古屋市三の丸地区に所在する中部経済産業総合庁舎及び名古屋農林総合庁舎は、いずれも老朽化による不具合が生じており、また、災害応急対策活動の拠点施設として十分な耐震性能を有していません。

本事業では、旧名古屋郵便貯金センター跡地に名古屋第4地方合同庁舎を整備することで、東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局（港湾空港関係）等、災害対策の指揮及び情報伝達等、災害応急対策活動を行う官署を集約し、上記の問題を解消するとともに、防災拠点機能をより強化し、大規模災害時の地域の防災拠点として災害に強い地域づくりに貢献します。

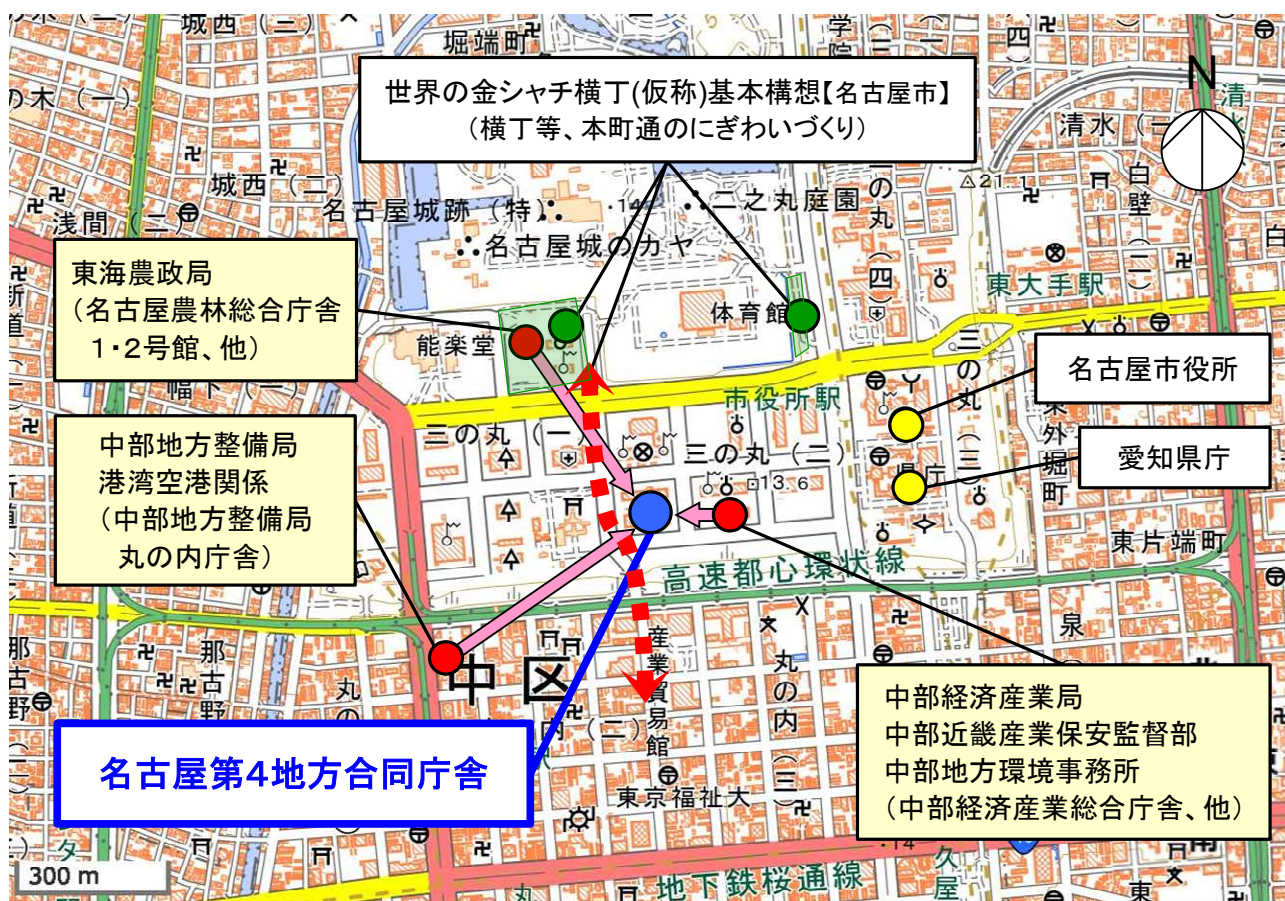
なお、新庁舎の整備によって、名古屋市が推進する「世界の金シャチ横丁（仮称）基本構想」エリア内にある東海農政局の早期移転を可能にし、まちづくりに寄与します。



現 名古屋農林総合庁舎



現 中部経済産業総合庁舎



くもずがわ すがせ そのむら
雲出川河川改修事業[須ヶ瀬・其村地区他]
雲出川須ヶ瀬・其村地区堤防整備事業 他

令和6年度当初:9.8億円

1. 事業の必要性及び概要

津市・松阪市の市街地を流れる雲出川水系には、雲出川と中村川、波瀬川の合流箇所は無堤部があり、平成26年8月洪水等において、度々浸水被害が発生していることから、「流域治水」の本格的な実践に向けて、令和5年3月に中村川・波瀬川等を特定都市河川に指定しました。

特定都市河川流域では、早期に治水安全度を向上するため、今年度から「流域治水整備事業」により、河川の整備を計画的・集中的に実施します。

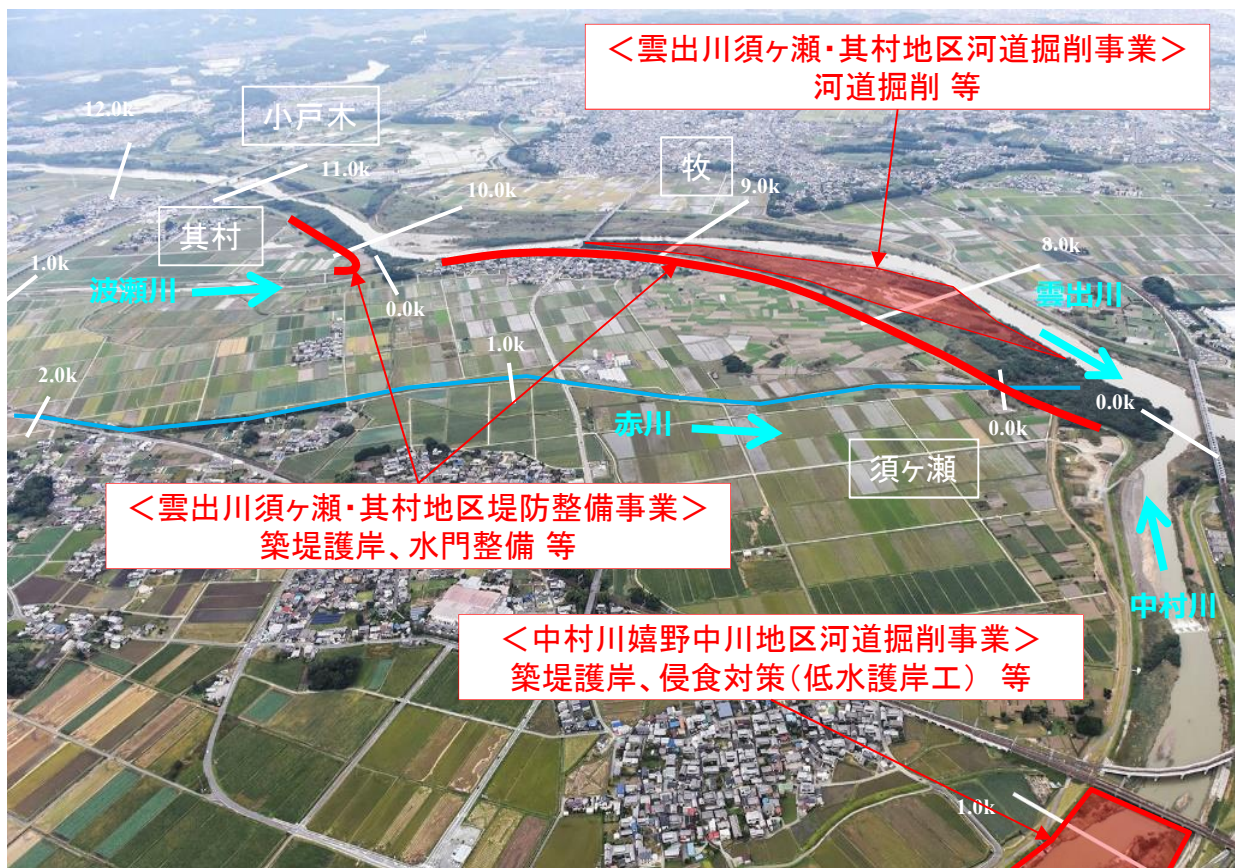


2. 事業箇所

三重県津市、松阪市

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

築堤護岸、河道掘削、侵食対策(低水護岸工)等を実施。



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 雲出川中流部では、平成21年10月(台風18号)洪水や平成26年8月(台風11号)洪水において、家屋浸水が生じるなど、度々浸水被害が発生しています。
- そのような中、河道等の整備のみでは早期の浸水被害解消が困難であることから、「流域治水」の本格的な実践に向けて、令和5年3月31日に一級河川雲出川水系中村川・波瀬川等の計8河川を特定都市河川に指定し、河道掘削・遊水地等のハード整備の加速化に加え、流域における貯留・浸透機能の向上、水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり等の浸水被害対策を流域一体で計画的に進めるため「流域水害対策計画」の策定を関係機関と進めています。



H21.10洪水 浸水状況

発生年月	原因	流量※1 (雲出橋地点)	被害状況※2
昭和34年9月	伊勢湾台風	約4,400m ³ /s	浸水面積2,531ha、被災家屋3,053棟
昭和46年9月	台風29号	約2,900m ³ /s	浸水面積1,121ha、被災家屋2,760棟
昭和49年7月	低気圧	約3,900m ³ /s	浸水面積2,589ha、被災家屋 617棟
昭和57年8月	台風10号	約5,400m ³ /s	浸水面積 977ha、被災家屋1,426棟
平成5年9月	台風14号	約3,600m ³ /s	浸水面積 272ha、被災家屋 242棟
平成16年9月	台風21号	約4,800m ³ /s	浸水面積 786ha、被災家屋 120棟
平成21年10月	台風18号	約3,900m ³ /s	浸水面積 449ha
平成26年8月	台風11号	約4,500m ³ /s	浸水面積 454ha、被災家屋 3棟
平成29年10月	台風21号	約3,800m ³ /s	浸水面積 419ha

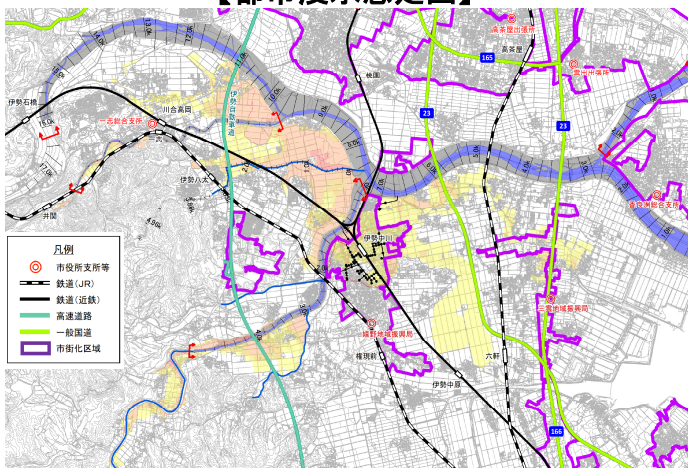
※1 流量は氾濫がないとした場合の計算値

※2 「水害統計」の値

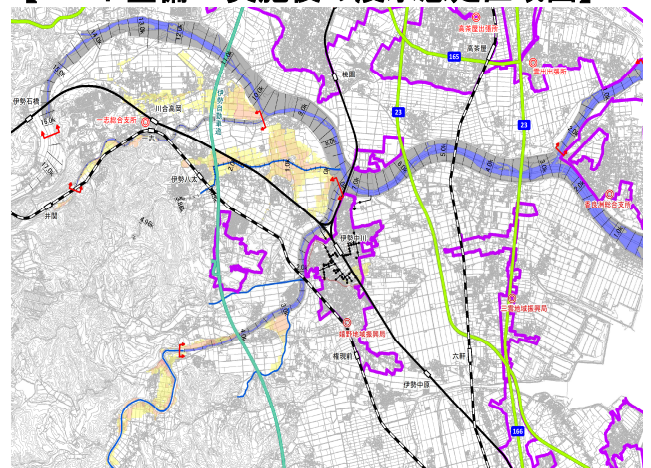
(但し、昭和34年(1959)9月、平成16年(2004)9月洪水は、三重河川国道事務所資料による)

- 戦後第1位となる流量を記録し、中村川・波瀬川・赤川の流域で多くの家屋浸水被害が発生した昭和57年8月洪水と同等の降雨が発生した場合には、洪水(外水氾濫)または雨水出水(内水氾濫)により、浸水面積約1,010ha、浸水戸数(世帯)約2,550世帯の浸水被害が発生すると想定されます。
- 「雲出川水系中村川・波瀬川・赤川 流域水害対策計画」に基づき、ハード整備を実施することで、浸水面積は約350haまで縮小し、浸水戸数(世帯)は約310世帯に低減するものと推定しています。

【都市浸水想定図】※3



【ハード整備※4実施後の浸水想定区域図】※3



※3 本浸水想定は、特定都市河川の中村川・波瀬川・赤川の洪水または雨水出水による浸水が想定される区域を示したものであり雲出川からの越水は考慮していない。

※4 流域水害対策計画に基づく河川整備(国・三重県)、下水道整備(津市、松阪市)等

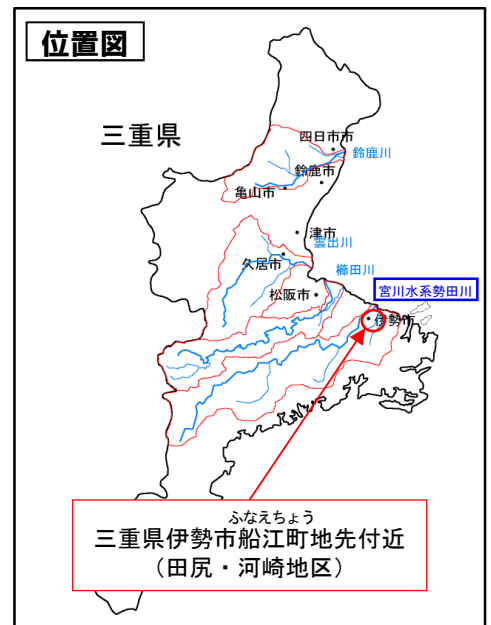
みやがわ たじり かわさき
宮川河川改修事業[田尻・河崎地区]
勢田川流域浸水対策緊急事業

令和6年度当初:9.4億円

1. 事業の必要性及び概要

伊勢市街地を流れる宮川水系勢田川は、平成29年10月台風21号により広範囲の浸水被害が発生したことから、勢田川及び^{ひのきじりがわ} 松尾川における浸水被害軽減を図るため、平成30年6月に勢田川流域等浸水対策実行計画を策定しました。

この実行計画に基づき、勢田川における河道掘削、松尾川排水機場のポンプ増強等を実施し、治水安全度の向上を図ります。



2. 事業箇所

三重県伊勢市

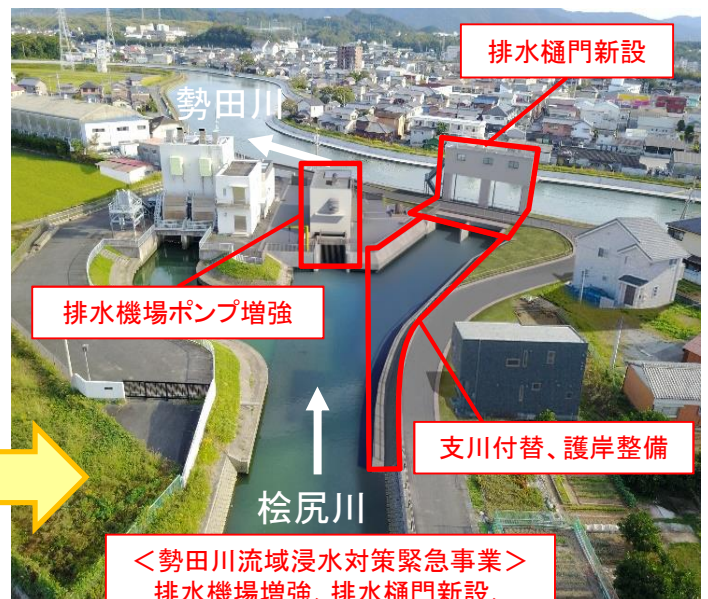
3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、松尾川排水機場のポンプ増強を実施。

事業実施前



事業実施後(イメージ)



松尾川排水機場 ポンプ排水能力

既設 $11.5 \text{ m}^3/\text{s}$ + 新設 $8.0 \text{ m}^3/\text{s}$ = 増強後 $19.5 \text{ m}^3/\text{s}$

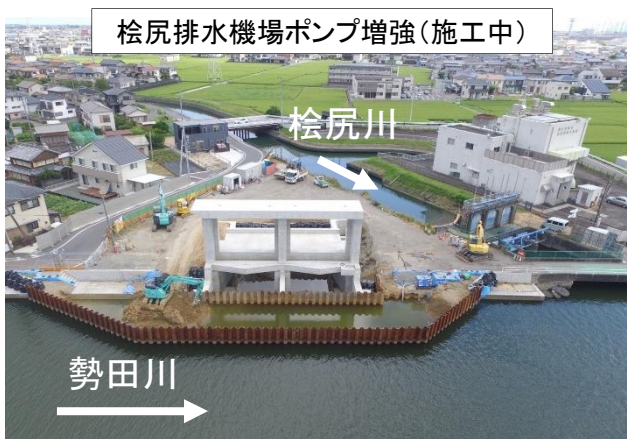
4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- **平成29年10月(台風21号)洪水**では、勢田川河口部の満潮と台風による高潮、大雨がほぼ同時に生起し、**伊勢市の中心市街地を含む広範囲で浸水被害が発生**しました。(浸水面積 約3,034ha)
- この被害を受け、「勢田川流域等浸水対策協議会」を設立し、「勢田川流域等浸水対策実行計画」を策定しました。
- 緊急的な堤防のかさ上げや河道掘削、排水機場ポンプ増強等の対策を実施することにより、**平成29年10月(台風21号)洪水に対して、床上浸水を解消**します。



■ 勢田川流域等浸水対策実行計画における国による対策の実施状況



みやがわ みやがわたまき
宮川総合水系環境整備事業 [宮川玉城地区]
 たまきちよう
玉城町かわまちづくり

令和6年度当初:0.02億円

1. 事業の必要性及び概要

みやがわ たまきちよう
 宮川の下流部に位置する玉城町は、観光・交流資源の魅力化、広域ネットワークの強化に取り組んでいます。

みやがわ たまきちよう
 宮川玉城地区では、国と玉城町が連携し、既存施設「たまき水辺の楽校」の更なるにぎわい向上のため、「宮川玉城地区水辺整備事業(親水護岸、散策路、多目的空間の整備等)」を推進します。



2. 事業箇所

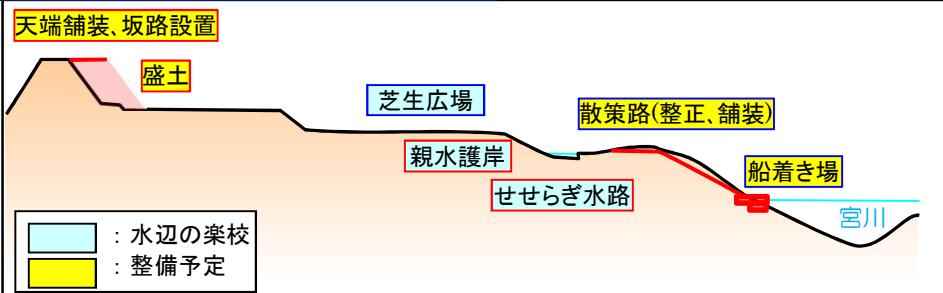
三重県 玉城町

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

利用実態調査を実施。



整備イメージ (将来; 横断イメージ)



水辺の楽校整備箇所 (国) ・親水護岸 ・せせらぎ水路 ・高水敷整備 等	整備予定 (国) ・盛土、坂路 ・親水護岸 等
(玉城町) ・芝生広場 ・駐車場 等	(玉城町) ・散策路 ・駐車場 ・船着き場 等

4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

- 玉城町では河川空間を利用して子どもたちが安全に自然体験や環境学習ができる場の整備を要望し、「水辺の楽校プロジェクト」に登録され、『たまき水辺の楽校』として整備されてきました。（令和元年5月完成）
- 玉城町では近年、観光入れ込み客数の減少傾向が見られる一方で、『たまき水辺の楽校』整備後は、キャンプやイベント等の新たな利用が増えていることを契機に、当該施設を発展させ、更なる利用活性化を図るため、『玉城町かわまちづくり計画』を新規登録しました。（令和5年8月）
- まちと水辺が一体となったにぎわいある空間づくりによる地域活性化を目指し、盛土（駐車場、トイレ）、散策路、親水護岸整備等を推進します。



■宮川玉城地区水辺整備事業の効果

- 整備後はキャンプやイベントの場として、さらに利用が拡大することが期待されます。
- 宮川の沿川に分布する歴史資源等と回遊させることで、まちの活性化に寄与することが期待されます。

水辺の憩いの場としての利用



オートキャンプ



サイクリングコース

環境教育の場としての利用



天体観測



水生生物調査

とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
 ほうせい
国道1号 北勢バイパス
 くまの きほうくまの
国道42号 熊野道路、紀宝熊野道路

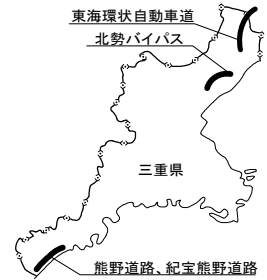
令和6年度当初【東海環状自動車道】：343.9億円
 【三重県分】：177.7億円
 【北勢バイパス】：24.2億円
 【熊野道路、紀宝熊野道路】：52.6億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 北勢バイパスは、国道1号・23号等の渋滞緩和、交通安全の確保及び地域開発の支援を目的に計画された道路です。
- 熊野道路・紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線の一部となって、高規格道路のミッシングリンク解消及び直轄国道とのダブルネットワーク化による道路ネットワーク機能強化を目的に計画された一般国道の自動車専用道路です。

2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 北勢バイパス：三重県三重郡川越町～四日市市
- 熊野道路、紀宝熊野道路：三重県熊野市大泊町～南牟婁郡紀宝町神内



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道

【北勢～四日市(延長14.4km)】 【養老～北勢(延長18.0km うち三重県9.0km)】

- 北勢IC(仮称)～大安IC(延長6.6km)の改良工事、橋梁工事等を推進。
《 令和6年度開通予定 》
- 養老IC～北勢IC(仮称)(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。
《 令和8年度開通予定 》
(用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要)

■ 北勢バイパス

- (市)日永八郷線～四日市市采女町(延長12.5km)の改良工事、舗装工事等を推進。
《 令和6年度開通予定(トンネル工事が順調に進んだ場合) 》

■ 熊野道路、紀宝熊野道路

- 熊野市大泊町～熊野市久生屋町(延長6.7km)のトンネル工事等を推進。
- 熊野市久生屋町～紀宝IC(仮称)(延長15.6km)の用地買収等を推進。



東海環状自動車道
北勢IC(仮称)付近



北勢バイパス
国道477号バイパス交差点付近



熊野道路
熊野大泊IC付近

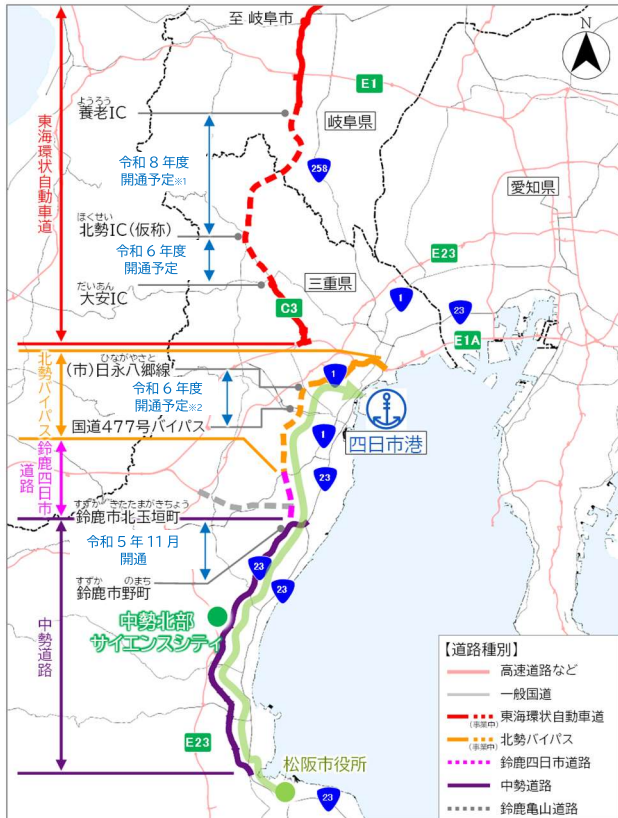
4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

(東海環状自動車道・北勢バイパス・鈴鹿四日市道路・中勢道路) 道路整備による物流効率化で地域経済の活性化を支援！

- ▶ 四日市港で取り扱う外貨コンテナ取扱量は、周辺の道路整備とともに増加傾向で推移しており、20年間で約1.5倍に増加。
- ▶ 三重県は製造業が盛んで、事業沿線自治体の製造品出荷額が三重県全体の約7割であることに加え、道路整備に伴って企業立地が進展。
- ▶ 今後の東海環状自動車道西回り、北勢バイパス開通により四日市港への所要時間が短縮することで、岐阜県をはじめとする広い圏域における物流の最適化や効率化を図り、ものづくり産業をけん引する中部圏の更なる活性化に寄与。

■事業箇所位置図

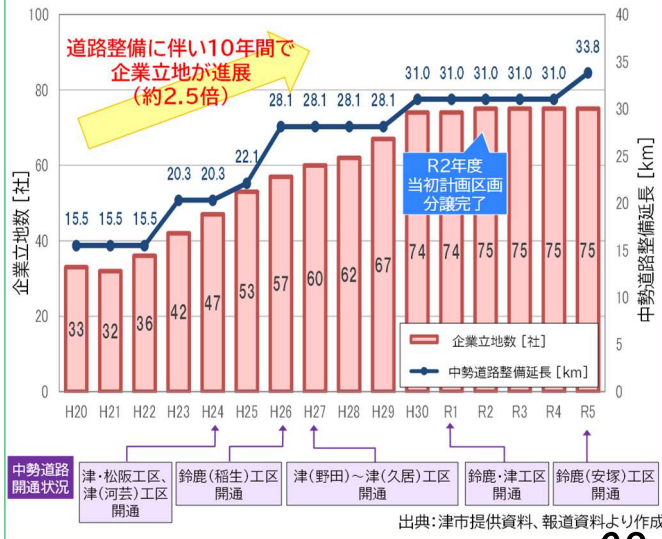


※1:用地取得等が順調な場合。
養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要
※2:トンネル工事が順調に進んだ場合

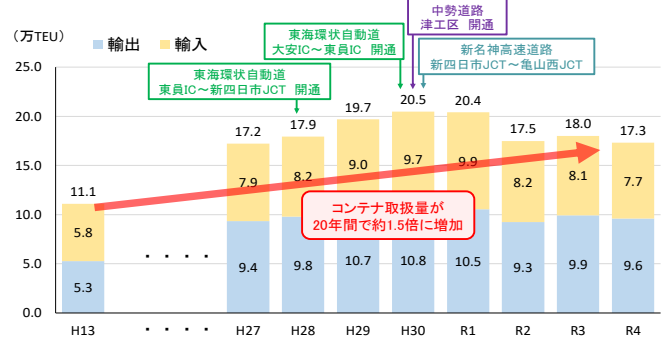
■事業沿線の企業立地推移

中勢北部サイエンスシティ(R2年度 分譲完了)

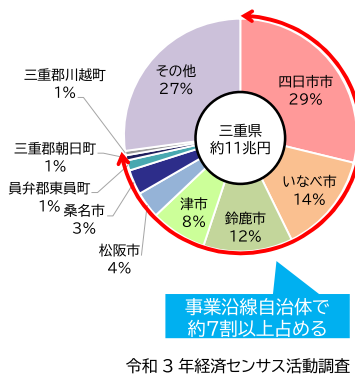
<中勢道路の延伸に伴う企業立地の推移>



■四日市港の外貨コンテナ取扱量の推移



■三重県の製造品出荷額等のシェア



■北勢BP、鈴四・中勢道路整備後の所要時間

(松阪市役所 → 四日市港)



現況 :ETC2.0 プローブ情報(2023年12月平日平均17時台(12月29日は祝日として設定))
整備後 :未開通区間(鈴鹿四日市道路、北勢バイパス)は規制速度(60km/h)にて算出

■東海環状自動車道開通後 所要時間短縮エリア図



よっかいち かすみがうら
四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

令和6年度当初：15.4億円

1. 事業の必要性及び概要

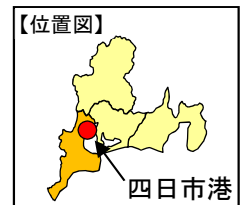
近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、^{かすみがうら}霞ヶ浦地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

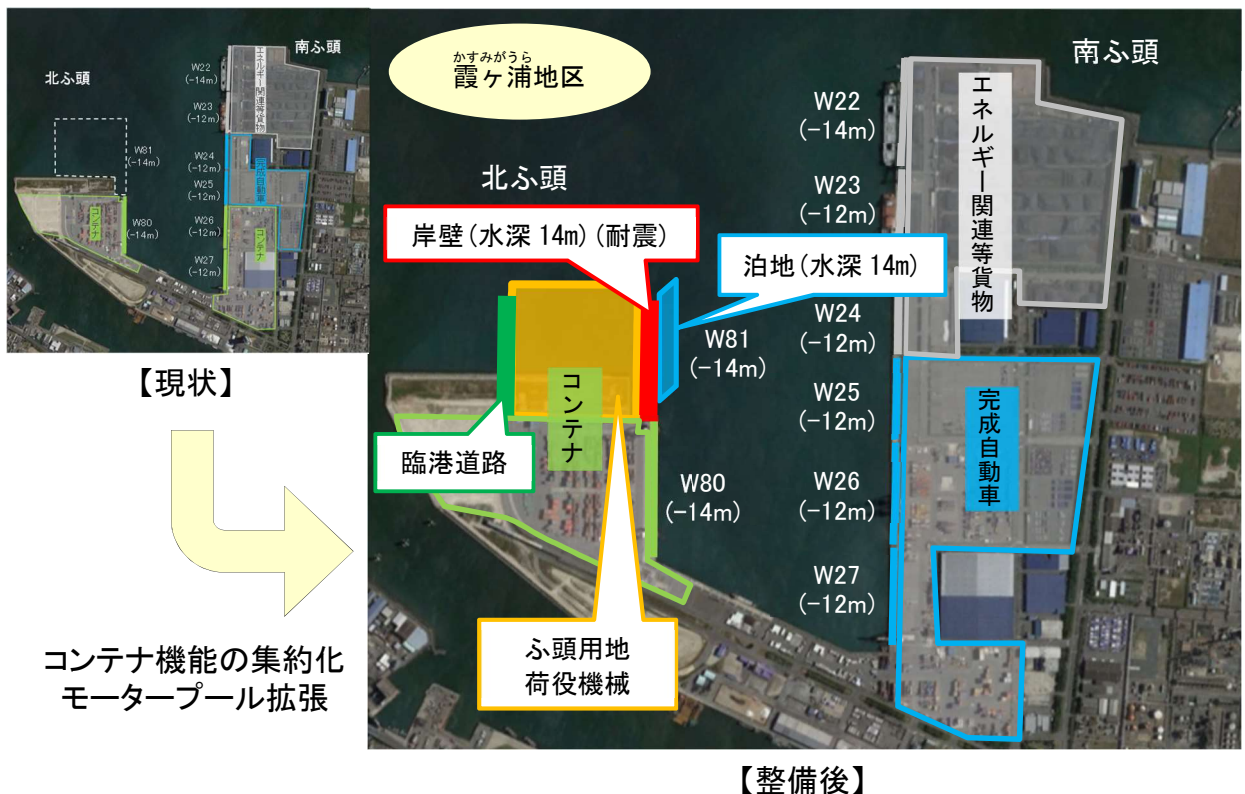
2. 事業箇所

よっかいち
 三重県四日市市



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、航路便数の増加が見込まれます。これにより、四日市港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



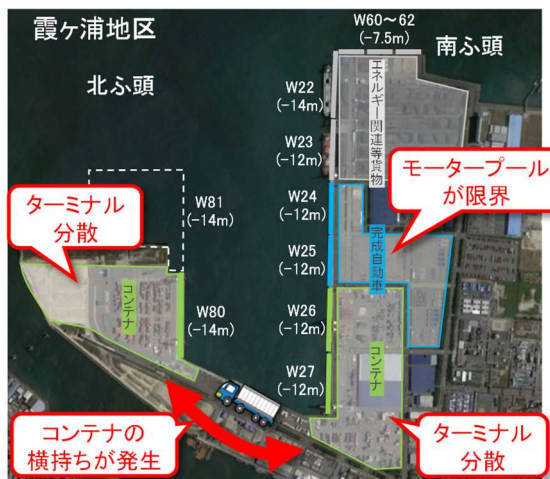
【現状】



【整備後】

<ターミナルの効率化>

霞ヶ浦地区の北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



【現状】



【整備後】

よっかいち
四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業

令和6年度当初：5.5億円

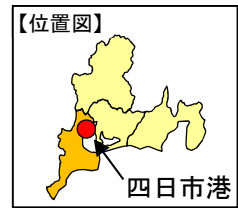
1. 事業の必要性及び概要

四日市港海岸の石原地区、塩浜地区の既存海岸保全施設は、施設直下に液状化層が存在するなど、大規模地震発生時には液状化等により海岸保全施設に変位が生じて防護機能が損なわれ、津波や高潮による甚大な浸水被害の発生が懸念されています。

このため、背後地域の貴重な生命・財産を守るべく、石原地区、塩浜地区において海岸保全施設の耐震対策等を行います。

2. 事業箇所

三重県四日市市



3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

令和6年度より新規着手し、海岸保全施設の耐震対策等を実施します。

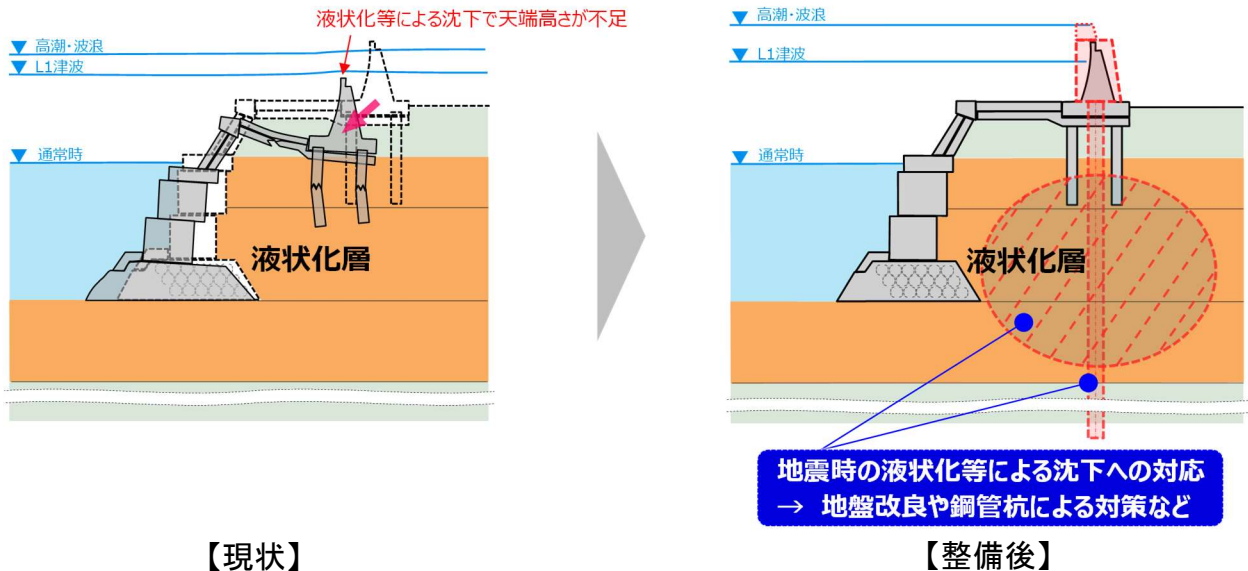


4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸保全施設の耐震対策等を図ることで液状化による沈下を防いで計画天端高さを確保し、津波（L1津波）・高潮（伊勢湾台風クラス）による浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。



本整備により、住宅地ならびに中部圏のエネルギー生産・供給や地域の最先端産業を支える事業所等が多数立地する四日市臨海部の大規模災害発生時における「地域住民の生命・財産の防護」及び「企業活動の維持」が見込まれます。

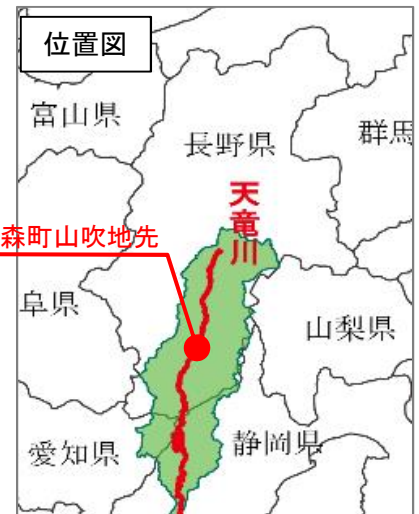


てんりゅうがわ やまぶき
天竜川上流河川改修事業[山吹地区]
天竜川山吹地区MIZBEステーション整備事業 他

令和6年度当初：6.7億円

1. 事業の必要性及び概要

てんりゅうがわ
天竜川において、戦後最大規模の洪水[昭和58年(1983)9月洪水]を安全に流下させるため、やまぶき山吹地区の河川堤防やMIZBEステーション等を整備し、ミズベ地域の治水安全性・防災機能の向上とともに、地域活性化を図ります。



2. 事業箇所

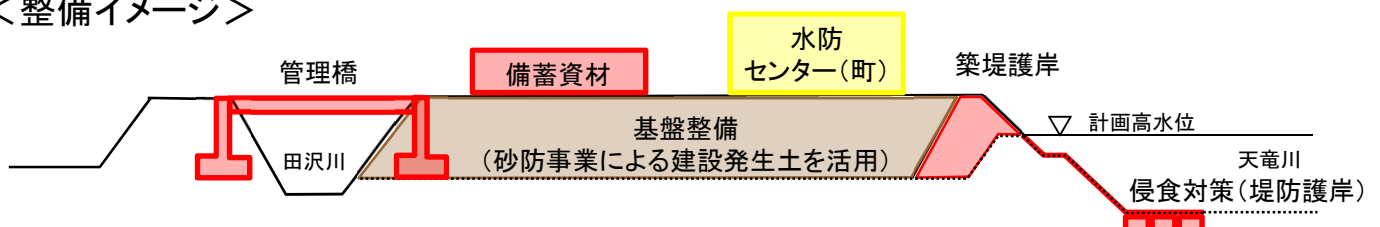
しもいな たかもりまち
長野県下伊那郡高森町

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

山吹地区の堤防整備や侵食対策を実施することともに、山吹地区MIZBEステーションの整備を推進。



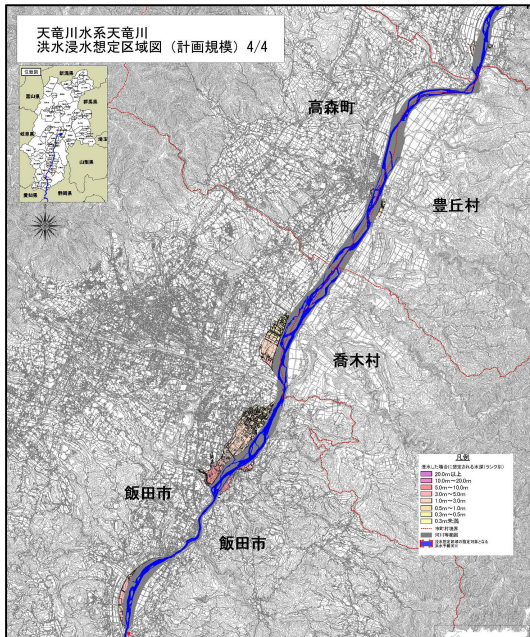
<整備イメージ>



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 天竜川上流域は、狭窄部と拡幅部が連続する急流河川で、中央構造線等多くの断層が縦断しており、崩壊しやすい地質と急峻な地形により大量の土砂が流出する特性があり、洪水時には河岸侵食などの危険性が高い区間になります。
- 天竜川上流域の下流部では、過去から規模の大きい氾濫被害が多く発生しており、ひとたび堤防が決壊した場合には、広範囲に浸水が想定され、沿川資産も大きいことから、超過洪水時の被害ポテンシャルが大きい区間になります。



天竜川上流域下流部(高森町～飯田市)
浸水想定区域図



平成18年7月豪雨河岸浸食状況



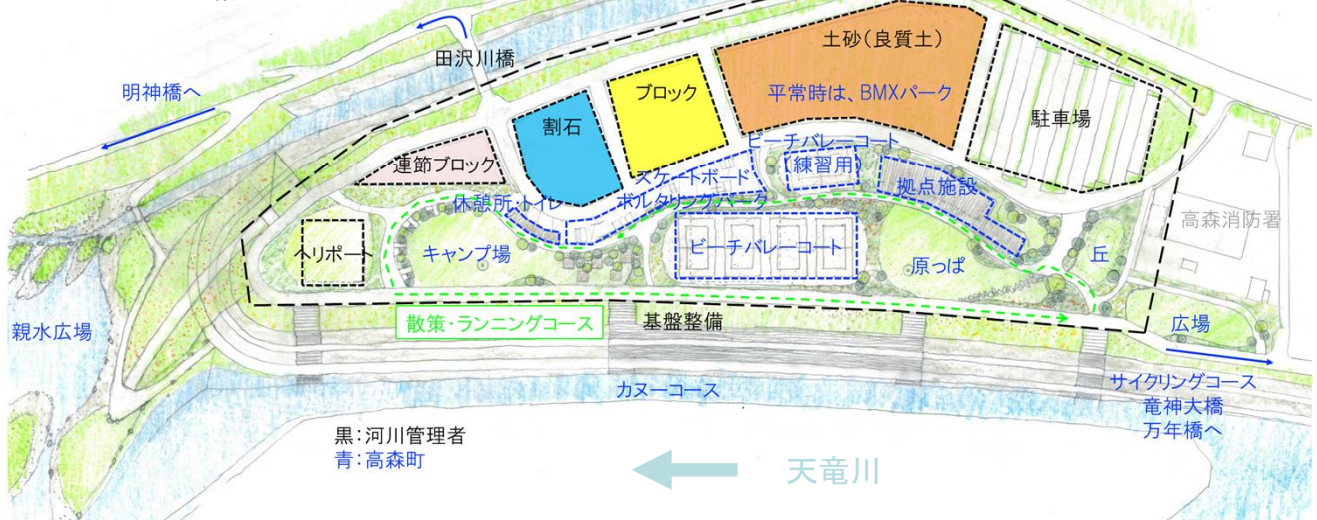
平成18年7月豪雨応急復旧状況



S58年台風10号災害浸水状況(飯田市松尾地区)

- 「MIZBEステーション」の整備により、天竜川の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うと共に、高森町が拠点施設を設置するなど地域の防災機能向上を図ります。
- 平常時においても、かわまち事業と連携し、レストランやショップ、キャンプ場などの地域活性化施設を整備し、地域の人々のレクリエーションや地域振興・賑わいの拠点となります。
- 今後、国民体育大会等のカーヌー、ビーチバレーボール競技の開催が予定されています。

MIZBEステーション整備イメージ図 サイクリングコース



木曾川水系直轄砂防事業(下在砂防堰堤工群)

令和6年度当初:27.6億円 (岐阜県分:11.4億円、長野県分:16.2億円)

1. 事業の必要性及び概要

木曾川直轄砂防流域は、流域周辺の地形が急峻であることに加え、源頭部となる中央アルプスの山々の風化が著しく、絶えず新たな土砂災害の危険が潜んでいる地域です。

直轄砂防流域の重要施設(主要公共施設等、要配慮者利用施設等、避難所、重要交通網)に対する土砂・洪水氾濫被害、土石流被害を軽減するため、砂防施設整備を進めています。



2. 事業箇所

長野県木曾郡大桑村

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、砂防堰堤工を実施。

【保全対象】 国道19号、JR中央本線 野尻集落(141戸)、下在郷公民館 など



崩壊地の状況



中流域の崩壊状況



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■想定される被害

- ・木曾川上流部は、急峻な地形で、季節による気温較差が大きく、風化によりもろく崩れやすい花崗岩を基盤岩としていること等から、崩壊地が広く分布しています。
- ・河床にも、崩落した土砂が厚く堆積しており、また、溪床勾配が急なため、洪水時には木曾川本川へ多量の土砂を流出させる危険性が高い状況にあります。
- ・そのため、毎年のように土砂災害が発生し、河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫被害や、土石流災害による人的、財産被害の発生が想定されます。

近年の災害等の状況

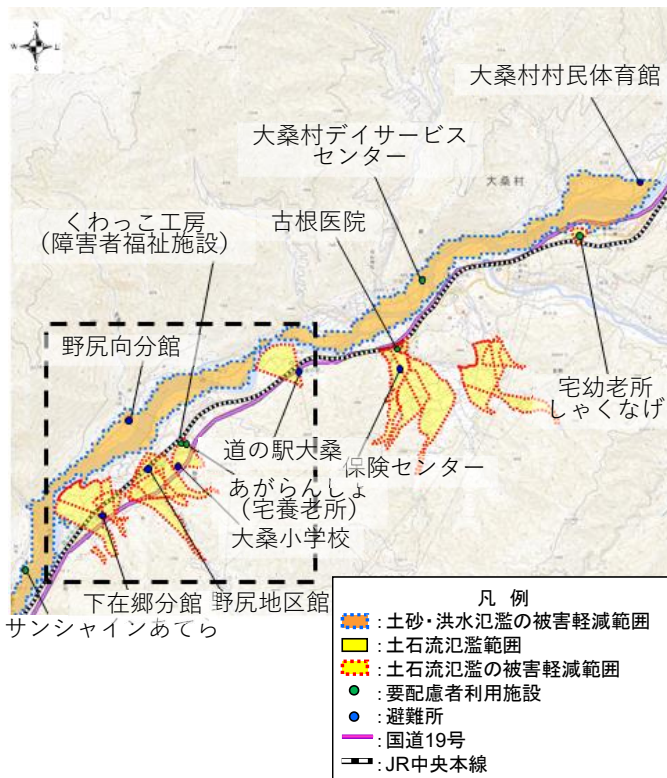
木曾川直轄砂防流域の木曾郡南木曾町なぎそまちでは、平成26年7月、台風8号接近に伴う豪雨により大規模な土石流が発生。

氾濫により死者1名、負傷者3名、家屋全壊10戸のほか、土砂流出により国道19号やJR中央本線が不通となる被害が発生しました（梨子沢土石流災害）。

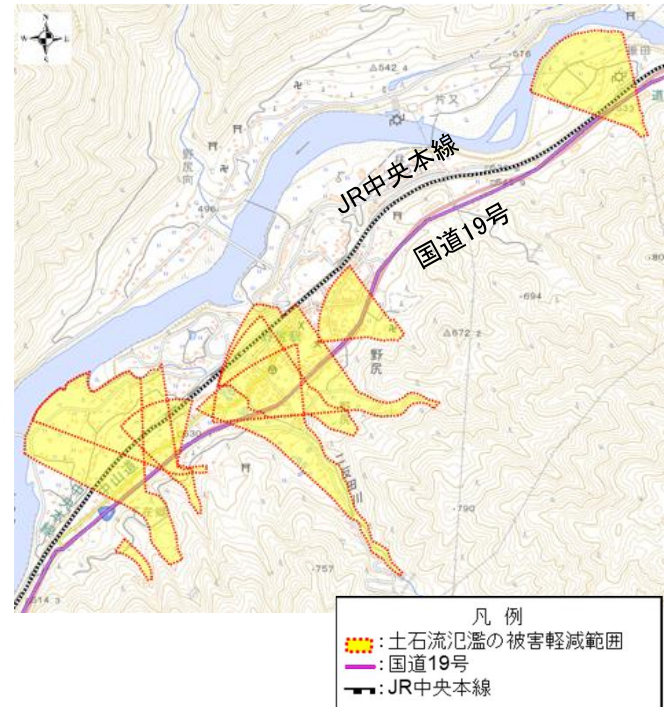


■災害発生時の影響（令和5年度事業評価説明資料より）

おおくわむら 大桑村周辺の氾濫範囲と 要配慮者利用施設・避難所の保全状況



おおくわむら のじり 大桑村野尻周辺の氾濫範囲と 重要交通網の保全状況



■事業効果

砂防施設の整備によって直轄砂防流域の重要施設（主要公共施設等、要配慮者利用施設等、避難所、重要交通網）に対する土砂・洪水氾濫被害、土石流被害を軽減します。

てんりゅうがわちゅうりゅう

天竜川中流地区直轄地すべり対策事業

令和6年度当初:7.8億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川中流地区には地すべりが多数存在しており、近年豪雨が増加傾向にあることや南海トラフ地震の発生確率が高くなっていることから、地すべり発生リスクが高まっています。

地すべりが発生した場合、地すべりによる直接被害や天然ダムの湛水・決壊により広域にわたり浸水・氾濫被害が発生し、基幹集落である平岡地区をはじめ、国・県道および鉄道等が被災する恐れがあるため、早期に地すべり対策工事を実施し、土砂災害の防止・軽減を図ります。



2. 事業箇所

しもいなぐん あなんちよう てんりゅうむら

長野県下伊那郡阿南町、天龍村

3. 令和6年度実施予定内容及び現在の実施状況

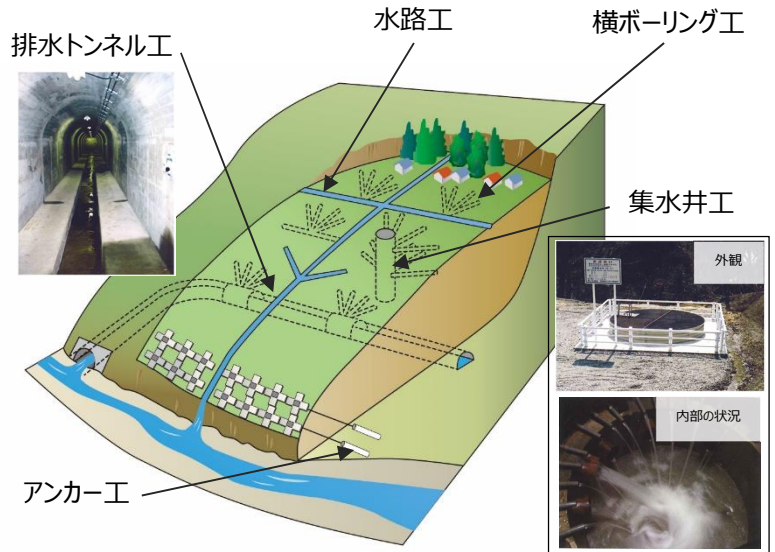
しゅうすいせい

引き続き、集水井工を実施。

■天竜川中流地区



■対策イメージ



■平岡地区全景



■開窪地区全景



凡例 ● 公共施設等 — 国道、県道 ≡ JR線 ○ 地すべりブロック

地すべりブロック：地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

地域の基幹的な集落である平岡地区を中心とした天竜川中流地区内の地すべり災害安全度が向上し、地すべりによる直接被害、天竜川の河道閉塞の湛水・決壊による土砂・洪水氾濫被害を防ぎます。

■災害発生時の影響



天然ダムの決壊による被害

・開窪地区

地すべりが発生し、開窪地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒決壊による氾濫により平岡地区が被災

地すべりによる直接的な被害

・平岡地区

地すべりが発生
⇒地すべりによる直接的な被害が平岡地区に発生

天然ダム上流域の湛水による被害

・中井侍地区

地すべりが発生し、中井侍地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒天然ダム上流域の湛水により平岡地区が浸水

■近年の土砂災害



■事業実施による効果

- 地すべり土塊の滑動に伴う、居住地・道路・鉄道・発電所等インフラの直接被害の防止
- 地すべりにより河道閉塞が発生した場合の、上流の湛水、下流の氾濫に伴う間接被害の防止
- 基幹集落機能（役場機能等）の保全（平岡地区）

【主な保全対象】

重要施設：天龍村役場、天龍村診療所、平岡発電所、深見浄化センター、早木戸発電所 等
幹線：国道418号、県道1号、JR飯田線 等
世帯数：378世帯

こしが
小渋ダム堰堤改良事業

令和6年度 新規着手

1. 事業の必要性及び概要

令和6年度当初:1.7億円

小渋ダムの土砂バイパストネルは、ダム貯水池への土砂流入を減少させ堆砂の進行を抑制すること、及びダム下流へ土砂を供給することによりダム下流河道の環境を改善することを目的として、平成28年度に完成し、試験運用を経て令和6年度より本運用を開始する予定です。

小渋ダム流域には中央構造線が縦断しており、脆弱な地質であることから、大量の土砂が生産され流入するため、土砂バイパストネルの効率的・安定的な土砂排砂機能の確保が課題となっています。

そのため、小渋ダムでは、中長期的なダム貯水池機能維持のための土砂バイパストネルにおける分派機能の向上対策、トンネル施設延命化のための貯砂堰における大粒径土砂捕捉対策を実施する堰堤改良事業に着手します。

2. 事業箇所

しもいな おおしかむら
長野県 下伊那郡 大鹿村

3. 令和6年度実施予定内容

土砂掘削、恒久堆砂対策施設の検討・設計等を実施。

<位置図>

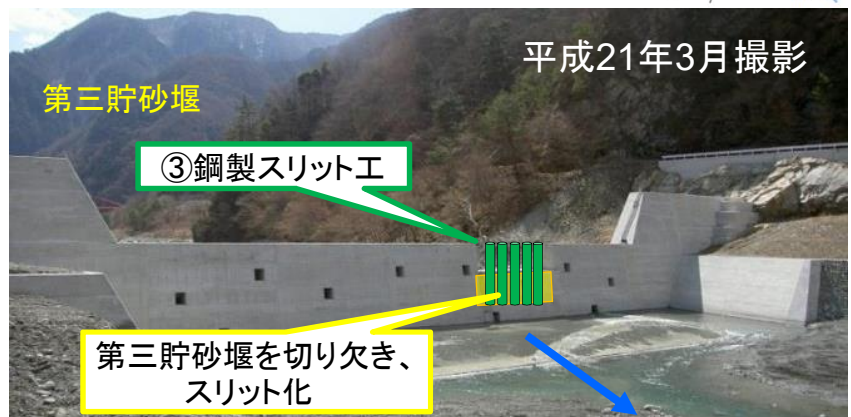


【土砂バイパストネル関連施設の概要】



<対策内容>

- ①:分派機能向上のための土砂掘削
- ②:大粒径土砂を捕捉するため 第三貯砂堰の上流側の土砂掘削
- ③:大粒径土砂を捕捉するため 第三貯砂堰の鋼製スリット化を実施



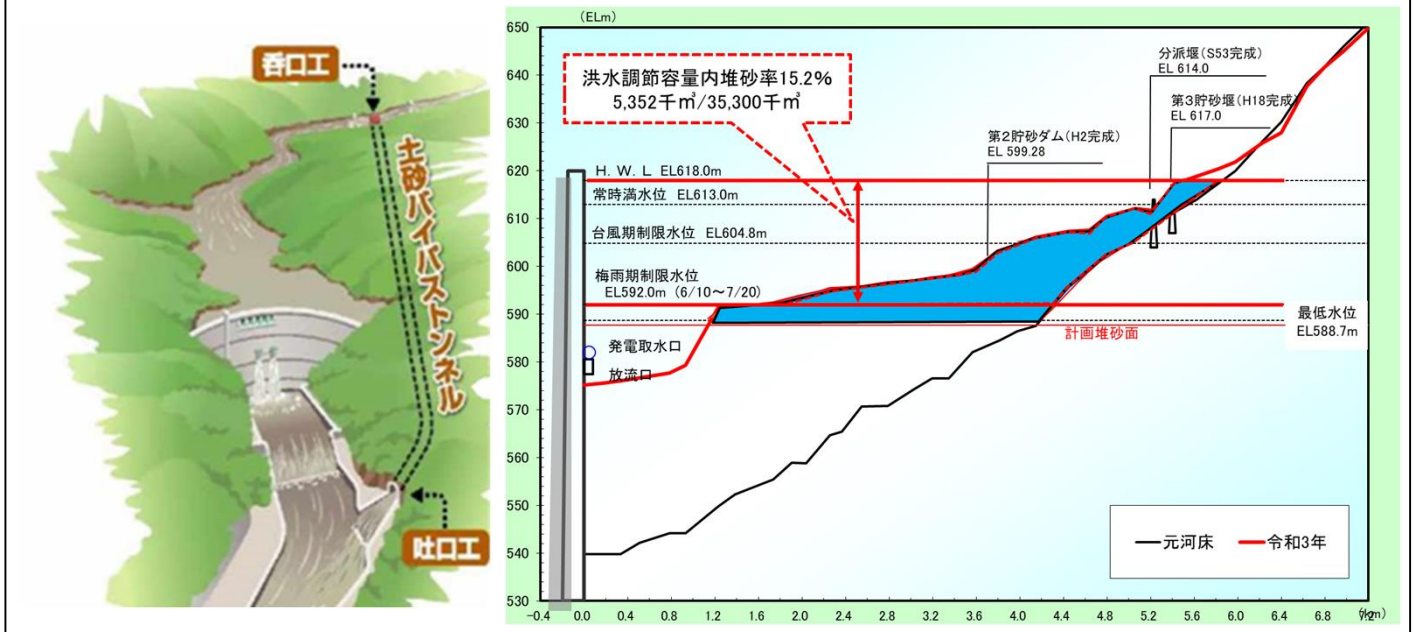
4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 中長期的なダム貯水池機能維持のための土砂バイパストンネルにおける分派機能の向上対策、トンネル施設延命化のための貯砂堰における大粒径土砂捕捉対策を実施し、土砂バイパストンネルの効率的・安定的な土砂排砂機能を確保する。

<堆砂状況>

- 小洪ダムでは、令和4年度末時点で計画堆砂量に対する堆砂率が115.4%に達しており、洪水調節容量内の堆砂率も15.2%となっている。

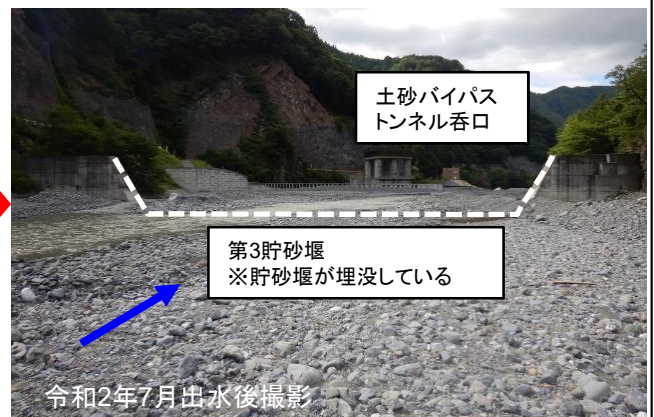


<土砂バイパストンネル運用時の状況(トンネル吐口部)>

令和2年の出水では、6/30 15:40 から7/16 11:30までの約2週間 (15日19時間50分)にわたり土砂バイパストンネルを運用した。トンネル内では、約500mm程度の巨石が確認されている。



<土砂バイパストンネル分派堰、貯砂ダムの状況>



国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道

令和6年度当初【三遠南信自動車道】：159.0億円

〔長野県分：77.7億円〕

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道は、ちゆうおうどう 中央道、しんとうめい 新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道：長野県 いいだ 飯田市～静岡県 はまつ 浜松市

3. 令和6年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道

【いいだか 飯喬道路(延長22.1km)】

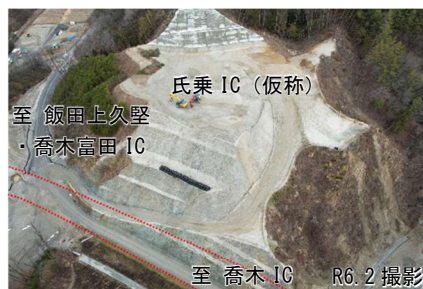
- いいだかみひさかた 飯田上久堅・たかぎとみだ 喬木富田IC～たかぎ 喬木IC(延長7.5km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。

【あおくずれとうげ 青崩峠道路(延長5.9km うち長野県3.3km)】

- こおろし 小嵐IC(仮称)～みさくぼきた 水窪北IC(仮称)(延長5.9km)の改良工事、トンネル工事、トンネル設備工事等を推進。



さんえんなんしん 三遠南信自動車道
いいだか 飯喬道路 3号橋付近



さんえんなんしん 三遠南信自動車道
いいだか 飯喬道路 うじのり 氏乗IC(仮称)付近



さんえんなんしん 三遠南信自動車道
あおくずれとうげ 青崩峠道路 長野県側坑口

4. 整備効果

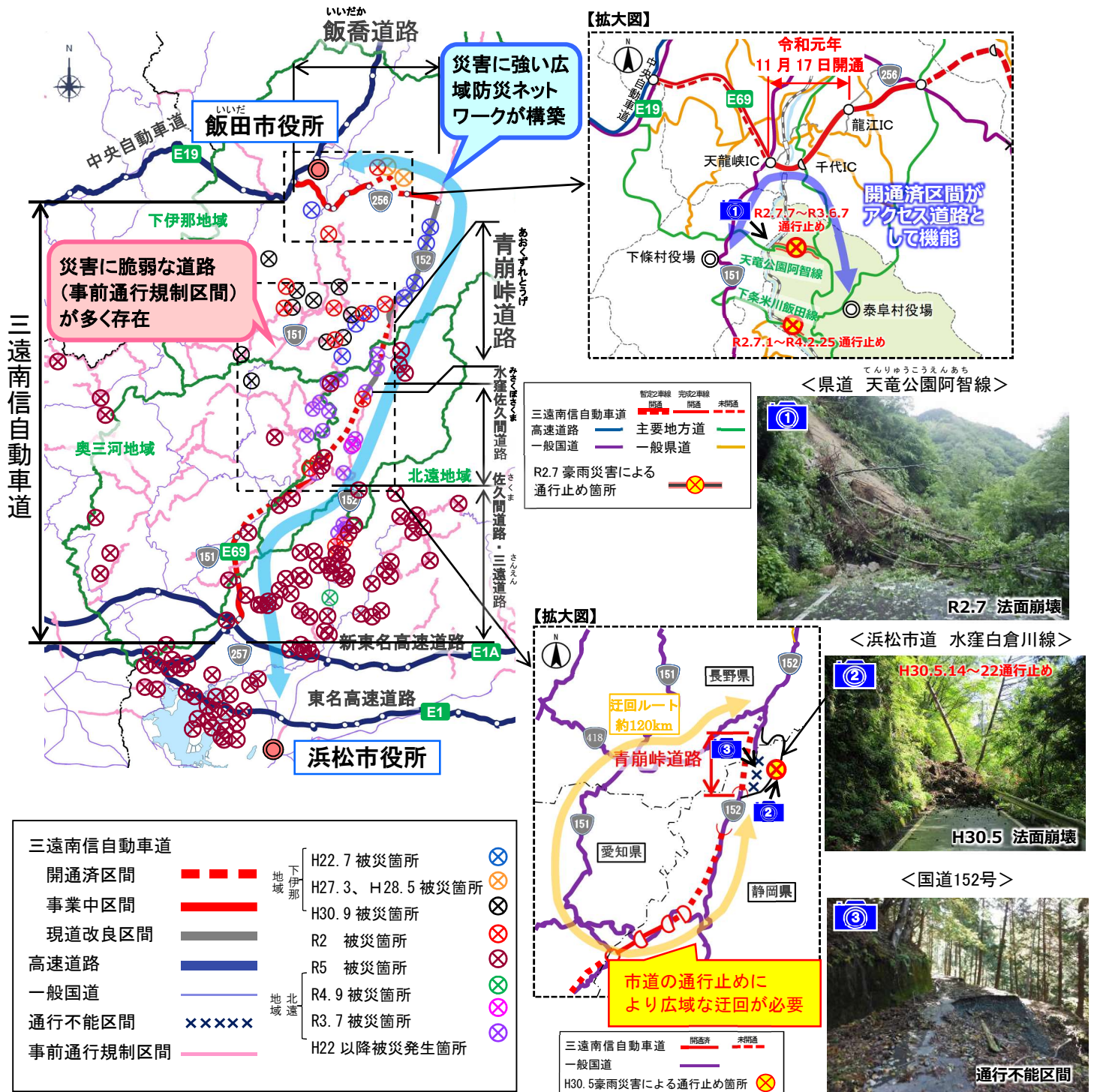
重点：①国民の安全・安心の確保

(三遠南信自動車道)

災害に強い広域防災ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 長野県と静岡県境付近は、**事前通行規制区間が多く、通行止めを伴う災害が頻発し、被災時には広域な迂回が必要。**
- 令和2年7月豪雨では、県道の複数区間で通行止めが発生したが、開通済の飯喬道路が泰阜村へのアクセス道路として機能。
- **三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、「災害に強い国土幹線道路ネットワークが構築」。**

■北遠・奥三河地域と下伊那地域の災害等による通行止め状況



3-3. 施策事例（個 票）

個票一施1

【事業主体：国】

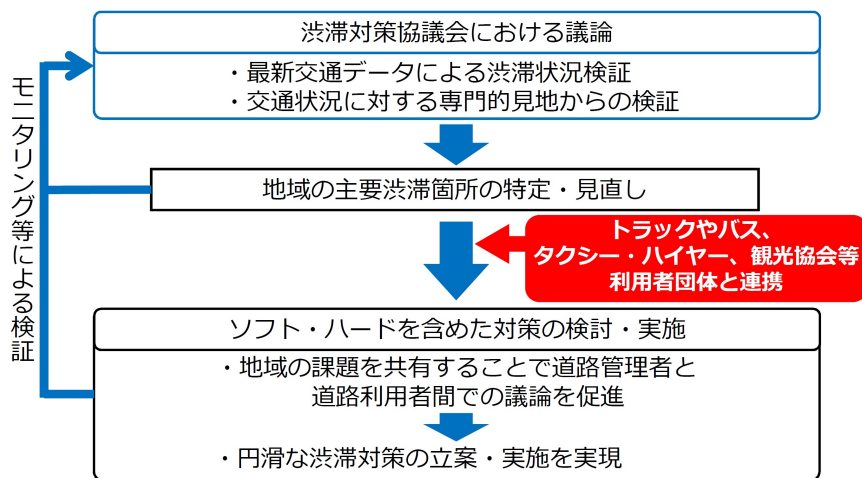
官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



2. 主な事業箇所・事業内容

いわい
国道1号岩井IC（静岡県磐田市）



《《オフランプの車線拡幅を予定》》

くりまなかやまちょう
国道23号栗真中山町交差点（三重県津市）



《《右折レーン延伸を予定》》

4. 県別の整備箇所事例一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額	
河川関係	庄内川河川改修事業(多治見市 豊岡地区 土岐川豊岡地区堤防整備事業)	国	2.2億円	
	木曽川下流河川改修事業(海津市 本阿弥新田地区 揖斐川本阿弥新田地区堤防整備事業 他)	国	5.0億円	
	木曽川上流河川改修事業 (大垣市 横皆根地区 牧田川及び新旧水門川排水機場改修事業(特定構造物改築) 他)	国	29.2億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(羽島市 東加賀野井地区 自然再生 他)	国	2.2億円	
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市 豊岡地区上流部地区 水辺整備)	国	0.7億円	
	新丸山ダム建設事業	国	162.2億円	
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 和田沢砂防堰堤 他)	国	11.4億円	
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 寺下第3砂防堰堤改築 他)	国	5.6億円	
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 三倉大谷第1砂防堰堤 他)	国	18.0億円	
	大谷川大規模特定河川事業(大垣市 JR橋梁移設 他)	県	5.6億円	
	内ヶ谷ダム建設事業	県	17.5億円	
	事業間連携砂防等事業(山県市 向仙谷 砂防堰堤工 他)	県	4.0億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	2.6億円	
道路関係	国道475号 東海環状自動車道	国	166.2億円	山県IC～大野神戸IC R6年度開通予定※1 養老IC～北勢IC(仮称) R8年度開通予定※2
	国道158号 中部縦貫自動車道	国	45.8億円	高山東道路(平湯～久手) R6年度新規事業化
	国道 19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)	国	37.2億円	
	国道 21号 岐大バイパス	国	13.0億円	
	国道 41号 上麻生防災	国	6.6億円	
	国道 41号 屏風岩改良	国	4.7億円	
	国道 41号 門原防災	国	14.9億円	
	国道 41号 石浦バイパス	国	1.0億円	
	国道156号 岐阜東バイパス	国	16.8億円	
	国道156号 郡上大橋架替	国	1.7億円	
	国道 19号 交通安全対策(落合清水平地区歩道整備)	国	0.40億円	R6年度新規事業化
	国道 21号 交通安全対策(那加大東町交差点改良)	国	0.87億円	R6年度新規事業化
	国道156号 交通安全対策(芥見大船交差点改良)	国	0.98億円	R6年度新規事業化
国道156号 交通安全対策(大島歩道整備)	国	1.98億円		
国道258号 大垣電線共同溝	国	3.7億円		
公園関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) [木曽三川公園センター 等]	国	4.2億円	

※1 糸貫IC～大野神戸ICは、橋梁工事で遅れが生じたため、開通が最大で半年程度遅れる可能性

※2 用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(沼津市 大平地区 狩野川大平地区堤防整備事業 他)	国	11.7億円	R6年度新規着手
	安倍川河川改修事業(静岡市 下河原地区 安倍川下川原地区河道掘削事業)	国	2.1億円	
	大井川河川改修事業(焼津市、吉田町 飯淵・川尻地区 大井川飯淵・川尻地区河道掘削事業 他)	国	4.6億円	
	菊川河川改修事業(掛川市 川久保地区 下小笠川水位低下対策事業 他)	国	5.0億円	R6年度新規着手
	天竜川下流河川改修事業(浜松市、磐田市 中野町・池田地区 天竜川中野町・池田地区水位低下対策事業)	国	3.4億円	
	狩野川総合水系環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.4億円	
	大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.2億円	
	天竜川ダム再編事業	国	9.0億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 松沢川砂防堰堤群 他)	国	8.3億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川源頭部 他)	国	30.8億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	7.6億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	23.1億円	
	長島ダム堰堤改良事業	国	2.1億円	R6年度新規着手
	敷地川大規模特定河川事業(磐田市 河道掘削工)	県	2.7億円	R6年度新規事業化
	事業間連携砂防等事業(静岡市 口坂本No.2 集水ポーリング工 他)	県	2.0億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	17.4億円	
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	32.6億円	
	国道474号 三遠南信自動車道	国	30.2億円	
	国道 1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	6.0億円	
	国道 1号 静岡バイパス	国	66.3億円	
	国道 1号 藤枝バイパス	国	28.5億円	
	国道 1号 島田金谷バイパス	国	14.6億円	旗指IC～大代IC R6年度開通予定
	国道 1号 浜松バイパス(長鶴～中田島)	国	1.1億円	
	国道139号 富士改良	国	15.2億円	
	国道246号 裾野バイパス	国	1.0億円	
	国道 1号 交通安全対策(エコパ北交差点改良)	国	0.09億円	R6年度新規事業化
	国道 1号 交通安全対策(大池IC改良)	国	2.69億円	
	国道139号 交通安全対策(広見IC交差点改良)	国	1.50億円	
	国道139号 交通安全対策(富士宮地区通行空間整備)	国	0.30億円	
国道139号 交通安全対策(富士宮地区(根原)通行空間整備)	国	0.20億円		
国道246号 交通安全対策(裾野地区歩道空間改善)	国	2.45億円		
国道139号 小泉電線共同溝	国	1.4億円		
港湾関係	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	国	16.4億円	
	清水港袖師地区岸壁改良事業	国	1.2億円	
	清水港富士見地区岸壁改良事業	国	0.5億円	
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.3億円	
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	4.8億円	
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	1.6億円	
	田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	2.0億円	
下田港防波堤整備事業	国	3.7億円		
海岸関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	13.0億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	13.5億円	
	相良須々木海岸津波対策緊急事業	県	1.3億円	
	海岸メンテナンス事業(静岡市 老朽化対策)	県	0.2億円	
官庁 官籍 関係	静岡地方合同庁舎・静岡法務総合庁舎(耐震改修)	国	4.7億円	
	御前崎港湾合同庁舎(自家発電設備改修等)	国	1.4億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額	
河川関係	豊川河川改修事業(豊川市 三上地区 豊川賀茂霞浸水被害対策事業 他)	国	5.3億円	
	矢作川河川改修事業(豊田市 水源地区 矢作川鶴の首地区水位低下対策事業 他)	国	10.1億円	
	庄内川河川改修事業(名古屋市長瀬市 枇杷島・西枇杷島地区 庄内川枇杷島橋架替事業 他)	国	13.3億円	
	木曽川下流河川改修事業(愛西市 福原地区 木曽川福原地区河川防災ステーション整備事業 他)	国	2.5億円	
	木曽川上流河川改修事業(一宮市 起・小信中島地区 木曽川起・小信中島堤防整備事業)	国	2.3億円	
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.4億円	
	矢作川総合水系環境整備事業(豊田市 白浜地区 水辺整備 他)	国	1.6億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(愛西市 上之輪新田等地区 自然再生 他)	国	1.8億円	
	矢作ダム再生事業	国	3.1億円	
	設楽ダム建設事業	国	154.1億円	
	柳生川大規模特定河川事業(豊橋市 地下河川整備 他)	県	11.0億円	
	堀川事業間連携河川事業「100mm/h安心プラン」(名古屋 護岸整備 他)	市	12.1億円	
	事業間連携砂防等事業(設楽町 神谷沢 砂防堰堤工 他)	県	6.0億円	
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	11.3億円	
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	51.2億円	東栄IC～鳳来峡IC R7年度開通予定
	国道 1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	3.8億円	
	国道 23号 豊橋バイパス	国	5.6億円	
	国道 23号 蒲郡バイパス	国	85.0億円	豊川為当IC～蒲郡IC R6年度開通予定*
	国道 23号 岡崎バイパス	国	1.0億円	
	国道 41号 名濃バイパス	国	2.6億円	
	国道153号 豊田北バイパス	国	5.3億円	
	国道153号 伊勢神改良	国	15.8億円	
	国道155号 豊田南バイパス	国	23.2億円	
	国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)	国	52.0億円	
	国道247号 西知多道路(長浦～日長)	国	12.6億円	
	国道302号 名古屋環状2号線	国	44.3億円	
	国道 1号 交通安全対策(豊橋地区事故対策)	国	0.60億円	
	国道 1号 交通安全対策(豊川地区交差点改良)	国	0.50億円	R6年度新規事業化
	国道 1号 交通安全対策(ほたる橋南交差点改良)	国	0.18億円	
	国道 19号 交通安全対策(名古屋熱田地区自転車通行空間整備)	国	0.36億円	R6年度新規事業化
	国道153号 交通安全対策(小田木歩道整備)	国	0.40億円	
国道302号 交通安全対策(西之川交差点改良)	国	0.20億円	R6年度新規事業化	
国道 1号 岡崎朝日町電線共同溝	国	4.5億円		
国道302号 鳴海Ⅱ共同溝	国	9.1億円		
港湾関係	名古屋港ふ頭再編整備事業	国	116.2億円	
	名古屋港金城ふ頭地区岸壁改良事業	国	1.2億円	
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	3.1億円	R6年度完成予定
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	1.5億円	
	衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	2.1億円	
	衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.6億円	
海岸関係	衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	0.5億円	
	田原海岸津波対策緊急事業	県	2.6億円	
公園関係	海岸メンテナンス事業(常滑市 老朽化対策 他)	県	2.1億円	
	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) 〔ワイルドネイチャープラザ 等〕	国	0.2億円	
官庁 宮緒 関係	名古屋第4地方合同庁舎整備等事業(新築等、PFI事業)	国	0億円	R7年度完成予定
	名古屋港湾合同庁舎別館(自家発電設備、受変電設備改修)	国	2.7億円	
	豊橋地方合同庁舎(受変電設備改修、建具改修、エレベーター改修等)	国	7.9億円	

※ 大規模切土工事が順調に進んだ場合

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額	
河川関係	木曾川下流河川改修事業(桑名市 深谷地区 揖斐川深谷地区堤防整備事業 他)	国	14.0億円	
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 鈴鹿川塩浜地区河道掘削事業 他)	国	5.2億円	
	雲出川河川改修事業(津市、松阪市 須ヶ瀬・其村地区 雲出川須ヶ瀬・其村地区堤防整備事業 他)	国	9.8億円	
	榑田川河川改修事業(松阪市 清水地区 榑田川清水地区堤防整備事業)	国	1.3億円	
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	9.4億円	
	木曾川総合水系環境整備事業(桑名市 木曾・揖斐川河口部地区 自然再生 他)	国	0.9億円	
	榑田川総合水系環境整備事業(松阪市 榑田川中流部地区 自然再生)	国	0.1億円	
	宮川総合水系環境整備事業(玉城町 宮川玉城地区 水辺整備)	国	0.02億円	
	三滝新川大規模特定河川事業(四日市市 河道掘削工 他)	県	1.8億円	
	鳥羽河内ダム建設事業	県	6.0億円	
事業間連携砂防等事業(尾鷲市 太田 砂防堰堤工 他)	県	5.5億円		
河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	8.4億円		
道路関係	国道 42号 熊野道路	国	43.4億円	
	国道 42号 紀宝熊野道路	国	9.2億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	177.7億円	北勢IC(仮称)~大安IC R6年度開通予定 養老IC~北勢IC(仮称) R8年度開通予定 ^{※1}
	国道 1号 桑名東部拡幅	国	21.7億円	
	国道 1号 北勢バイパス	国	24.2億円	(市)日永八郷線 ~国道477号BP R6年度開通予定 ^{※2}
	国道 1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業	国	10.6億円	
	国道 23号 鈴鹿四日市道路	国	4.1億円	
	国道 23号 中勢道路	国	4.6億円	
	国道 42号 松阪多気バイパス	国	5.5億円	
	国道 23号 交通安全対策(白塚漁港入口交差点改良)	国	0.50億円	R6年度新規事業化
	国道 23号 交通安全対策(栗真中山町交差点改良)	国	0.80億円	R6年度新規事業化
	国道 23号 交通安全対策(藤方交差点改良)	国	0.55億円	R6年度新規事業化
	国道 25号 交通安全対策(伊賀一之宮IC下りオンランプ改良)	国	0.30億円	R6年度新規事業化
国道 25号 交通安全対策(板屋IC下りオフランプ改良)	国	1.64億円	R6年度新規事業化	
国道 42号 交通安全対策(御浜下市木地区歩道整備)	国	0.30億円	R6年度新規事業化	
国道 1号 富士電線共同溝	国	2.0億円		
港湾関係	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業	国	15.4億円	
	四日市港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	2.5億円	
海岸関係	四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	5.5億円	R6年度新規事業化
	上野・白塚海岸海岸保全施設整備連携事業	県	1.2億円	
	海岸メンテナンス事業(熊野市 老朽化対策 他)	県	2.2億円	
公園関係	国営木曾三川公園(国営公園整備事業) [桑名七里の渡し公園 等]	国	0.3億円	
官庁宮緒関係	四日市港湾合同庁舎(建具改修・給排水設備改修等)	国	0.8億円	
	鳥羽運輸総合庁舎(外壁改修)	国	0.3億円	

※1 用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要
 ※2 トンネル工事が順調に進んだ場合

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額	
河川関係	天竜川上流河川改修事業(高森町 山吹地区 天竜川山吹地区MIZBEステーション整備事業 他)	国	6.7億円	
	天竜川水系直轄砂防事業(松川町 片桐松川床固工群 他)	国	49.0億円	
	木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 下在砂防堰堤工群 他)	国	16.2億円	
	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	7.8億円	
	此田地区直轄地すべり対策事業	国	1.4億円	
	小渋ダム堰堤改良事業	国	1.7億円	R6年度新規着手
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	77.7億円	
	国道 19号 数原改良	国	5.0億円	
	国道153号 伊駒アルプスロード	国	2.8億円	
	国道 19号 交通安全対策(棧地区歩道設置)	国	5.10億円	

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額
河川関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	5.7億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R6当初配分額
道路関係	国道25号 名阪道路	国	1.0億円

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR6当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(参考資料)

水道整備・管理行政の移管について

令和5年5月に「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律」が成立し、令和6年4月に水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管され、一部の事務を地方整備局等が担うこととなりました。

近年の水道整備・管理行政では、人口減少社会の到来に伴う事業者の経営環境の悪化や、施設の老朽化、災害の激甚化による施設被害等が課題となっており、早急な対応が求められています。このため、同様な課題を抱える下水道と一体となって、相乗効果を発揮しつつ、上下水道一体で取り組む体制を構築するなど、機能強化を図っていきます。

生活衛生機能強化法の概要

1. 水道整備・管理行政の機能強化
 - 水道に関する水質基準の策定その他の水質又は衛生に関する事務は環境省に、それ以外は国土交通省に移管
 - 国土交通省に移管された事務の一部を地方整備局長又は北海道開発局長に委任
 - 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法及び社会資本整備重点計画法の対象施設に水道を追加
2. 所掌事務等の見直し
 - 厚生労働省、国土交通省、環境省の所掌事務等に係る規定について所要の見直しを実施
3. 施行期日
 - 令和6年4月1日

「中部圏大規模断水対策協議会」の設立

1. 協議会趣旨
中部地方において、南海トラフ地震や内陸直下型地震等の地震災害を起因とした大規模断水時には、給水車が不足することが想定されている。そのため給水車に依存せず現実的な応急給水確保対策のとりまとめを行う。

2. 第1回協議会の開催

令和6年3月19日(火)に第1回協議会を開催。

能登半島地震における水道関係災害の対応状況を共有するとともに、中部圏における取組状況と課題等について、意見交換を実施。



「中部圏大規模断水対策協議会」委員

国土交通省中部地方整備局河川部長【会長】

長野県環境部長

岐阜県健康福祉部長

静岡県くらし・環境部理事(水資源担当)

愛知県建設局技監

三重県環境共生局長

名古屋市上下水道局長

岐阜市上下水道事業部長

静岡市上下水道局長

豊橋市上下水道局長

津市上下水道管理局长

○オブザーバー

(一社)中部経済連合会 産業基盤強化推進部長

○事務局

中部地方整備局河川部

(参考資料)

令和6年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

愛知県 名岐道路(一宮～一宮木曾川)
静岡県・愛知県 浜松湖西豊橋道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

愛知県 一宮西港道路
静岡県 静岡南北道路 長沼立体

国道23号(十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークのあり方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて、神奈川県及び静岡県と連携して、東名、新東名、国道1号の代替性など、広域的な視点も含めた道路として求められる機能や役割について検討を進めます。

岳南地域(富士市・富士宮市)については、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に係る調査を静岡県等の関係機関と連携して進めます。

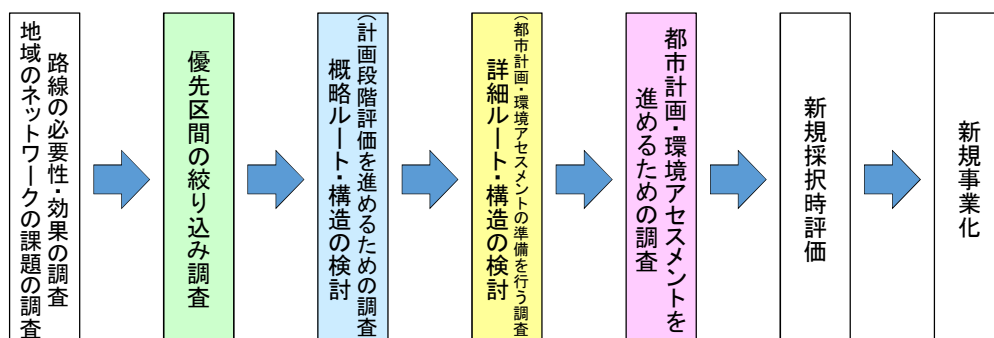
小松白川連絡道路について、石川・岐阜間のネットワークのあり方について、石川県及び岐阜県と連携して検討を進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和6年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

静岡駅及び津駅周辺において、関係自治体と連携し、地域の意向を把握しつつ、交通拠点における機能強化・再編の必要性等の調査を実施します。

さらに、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

